

学生生活実態調査報告書

平成 30 年 度

新潟大学大学教育委員会
学生支援専門委員会

学生生活実態調査報告書の刊行に当たって

学生生活実態調査は、本学学生の勉学・研究、日常生活上の意識及び生活実態を把握することで、本学学生に対する福利厚生、修学支援、課外活動支援、授業・研究環境整備等の施策立案及び改善を行うための基礎データ収集を目的としており、平成6年以来、4年ごとに実施し、今回の調査は第7回目となります。

前回、平成26年の調査以降、本学では、能動的学修の拡充や学位プログラム化を行う体制を強化するため、教育・学生支援機構を再編し、「学位プログラム支援センター」を新設するとともに、学生支援センターに能動的学修を支援する「学外学修支援部門」を設置し、同部門に特任助教1名を配置しました。さらに、多様な学修プログラム実施のための教育環境整備の一つとして、クォーター制を導入し、それに対応できるよう、履修機会を確保するため、定員の空きのある科目への追加登録機能の付与、特に聴講したい科目については3科目まで抽選等において聴講許可となる確率が高まる機能の付与など、教務システムの改修を行いました。クォーター化導入率は、平成29年度の25.8%から平成30年度は45.1%へ大幅に向上しました。

また、本学の学生支援、大学広報、国際交流等の業務に学生を運営補助者として従事させ、これに対して謝金を支払うことにより、学生の経済的支援と就業意識の醸成、並びに学生の視点に立った学生支援を実現することを目的として「新潟大学学内ワークスタディ制度」を実施しました。平成30年度より大学院学生向けの新たな給付型奨学金制度「新潟大学博士課程奨学金」を開始しました。

今回の調査結果の全体的な傾向としては、課外活動施設、福利厚生・共通施設、及び屋外環境施設は比較的高い満足度であったのではないかとと言えます。一方で、カリキュラム、施設の一部老朽化（キャンパス間の格差）について、検討を要する要望も多く見受けられます。

また、本調査に対する学生からの回答率については、全学生を対象に行った結果、低い水準であったことから、次回以降の調査においては、これらについての対応も検討する必要があると考えられます。

以上が今後重点的に取り組むべき課題となります。

最後になりますが、今回の調査実施にあたって、多忙な時間を割いて調査を担当された大学教育委員会学生生活実態調査専門部会（廣部俊也部会長）の委員ならびに学務部の事務担当者、アンケートに協力していただいた学生諸君など、関係者のご協力とご尽力に感謝いたします。

令和元年9月

副学長（学生支援・就職支援担当）

箕 口 秀 夫

目 次

序 章	調査の概要	
	1 調査の目的	1
	2 調査の組織	1
	3 調査の対象	1
	4 調査の時期	1
	5 調査の方法	1
	6 回答状況	1
	7 調査項目と集計方法	2
第 1 章	所属学部・研究科等について	
	1 所属学部・研究科	3
	2 学年	4
	3 性別	4
第 2 章	家庭状況等について	
	1 実家の所在地	5
	2 家族の人数	7
	3 授業料負担者	8
	4 主な家計支持者の年間収入	8
第 3 章	住居・通学・食事について	
	1 住居所在地	10
	2 住居区分	10
	3 通学方法とその所要時間	11
	4 自動車の所有	12
	5 食事	12
第 4 章	収入・支出について	
	1 収入（月額）	15
	2 支出	18
第 5 章	アルバイトについて	
	1 アルバイトの経験	23
	2 アルバイトの理由	23
	3 アルバイトの職種	24
	4 アルバイトの日数	25

5	アルバイトの時間	26
6	アルバイト収入の使途	26
7	アルバイトと学業	27
第 6 章	課外活動について	
1	サークルの加入状況	29
2	サークルに加入した理由	29
3	サークル活動と学業	30
4	サークル活動の日数と時間	31
5	課外活動施設の満足度	32
6	サークルに加入していない理由	33
第 7 章	健康・悩みについて	
1	喫煙と使用しているタバコの種類	35
2	大学の敷地内での受動喫煙	35
3	飲酒頻度	36
4	アルコールの一气飲みの強要	36
5	悩み	37
6	悪徳商法や詐欺被害	40
第 8 章	大学生活について	
1	新潟大学と所属する学部・研究科の教育理念・教育目標	41
2	登校日数	42
3	自習時間	44
4	学業以外の過ごし方	46
5	ボランティア活動	46
6	海外旅行	48
7	読書	50
8	本学に入学した理由	51
9	大学生活において重視していること	53
10	新潟大学に対する満足度	55
11	新潟大学の魅力	56
第 9 章	大学の施設・設備について	
1	施設の広さや機能（質）の満足度	58
2	図書館の利用頻度、利用目的及び満足度	59
3	I C T環境（インターネット、メール等）	61
4	施設等に対する不満	61

第 10 章	授業について	
1	カリキュラムに対する満足度	63
2	授業への出席、授業の理解度及び授業に対する満足度	63
3	授業内容にわからないことがあった場合の対処法	65
4	授業に満足していない理由	65
5	教育研究指導に対する満足度〔大学院学生〕	66
6	教育研究環境（施設・設備等）に対する満足度〔大学院学生〕	66
第 11 章	大学に対する意見・要望について	
1	大学全般	68
2	学部・研究科	68
3	教育・研究	69
4	事務職員の対応	70
5	施設の整備、利用	70
6	福利・厚生	72
7	本アンケート	73
8	その他	73
○	学生生活実態調査調査票	75

※学生生活実態調査単純集計については、Web版で確認できます。

序 章 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、本学学生の勉学・研究、日常生活上の意識及び生活実態を把握することにより、本学学生に対する福利厚生、修学援助、授業・研究環境、課外活動等の施策立案及び改善を行うための基礎資料を得ることを目的として実施した。

2 調査の組織

新潟大学大学教育委員会学生支援専門委員会の下に学生生活実態調査専門部会を設け、平成30年8月3日に発足した同専門部会が作業にあたった。

	氏 名	所属・職名	執筆 章
専門部会部会長	廣部 俊也	人文社会科学系（人文）・准教授	序章・第11章
委 員	道上 真有	人文社会科学系（経済）・准教授	第1・2章
委 員	吉田 正之	人文社会科学系（法）・教授	第3・4章
委 員	平松 庸一	人文社会科学系（院技経）・准教授	第5・6章
委 員	橘 輝	保健管理センター・講師	第7章
委 員	佐藤 弘恵	保健管理センター・講師	第7章
委 員	藤井 雅寛	医歯学系（院医歯（医））・教授	第8章
委 員	鈴木 利哉	医歯学系（院医歯（医））・教授	第9・10章
委 員	五島 讓司	教育・学生支援機構・准教授	データ提供

3 調査の対象

平成30年10月1日在籍の学部学生（経済学部夜間主コースを除く。）及び大学院生（技術経営研究科及び教育学研究科教育実践開発専攻（教職大学院）を除く。）全員を対象に調査を行った。

ただし、休学者及び外国人留学生は対象外とした。

4 調査の時期

平成30年10月1日（月）現在での状況を、11月7日（水）から11月22日（木）まで調査を実施した。

5 調査の方法

上記実施時期は、今回から調査方法を変更し、学務情報システムを利用したWeb入力による悉皆調査となったため設定された。

調査対象学生に対し、学務情報システムの「連絡通知」機能を利用して、学務部学生支援課から調査の協力依頼を行った。依頼は一回のみ行い、リマインダーは発していない。

6 回答状況

回答者総数は1,033人（回答率9.02%、前回調査の回答者総数は553人）で、内訳としては、学部学生

938人（回答率9.6%）、大学院生95人（回答率5.8%）であった。詳細は下表のとおりである。なお、前回調査の回答率は19.2%であり、それと比べると今回の回答率は半分以下であるが、回答者総数は2倍近くあり、一定の傾向をつかむためのデータとして有効性を確保しえたと判断されたので、追加調査などは行われていない。また、今回、大学院生については回答の絶対数が少数であるため、以下各所の記述は、概ね学部生の回答に組み込んでの分析に基づき行われている。

学生生活実態調査 学部研究科別 対象者数及び回答状況一覧

学 部	学生数 (A)	休学者等数 (B)	留学生等数 (C)	(A)－((B) + (C))	回答者数	回答率
人文学部	1,005	22	25	958	110	11.5%
教育学部	1,250	19	14	1,217	69	5.7%
法学部	789	13	17	759	72	9.5%
経済学部（※夜間主コースは除く。）	1,269	23	20	1,226	115	9.4%
理学部	885	22	7	856	99	11.6%
医学部（医学科）	781	12	2	767	63	8.2%
医学部（保健学科）	676	4	3	669	104	15.5%
歯学部	347	11		336	14	4.2%
工学部	2,259	43	54	2,162	183	8.5%
創生学部	141	1		140	42	30.0%
農学部	734	9	6	719	67	9.3%
学 部 計	10,136	179	148	9,809	938	9.6%
教育学研究科	37	2	19	16	0	0.0%
現代社会文化研究科	143	3	101	39	11	28.2%
自然科学研究科	967	11	38	918	47	5.1%
保健学研究科	55	1	1	53	3	5.7%
医歯学総合研究科（医科学）	37	2	4	31	3	9.7%
医歯学総合研究科（口腔生命）	11	0	0	11	0	0.0%
大学院（修士・博士前期）計	1,250	19	163	1,068	64	6.0%
現代社会文化研究科	95	23	40	32	6	18.8%
自然科学研究科	181	17	41	123	11	8.9%
保健学研究科	35	8	2	25	3	12.0%
医歯学総合研究科（医）	330	33	18	279	5	1.8%
医歯学総合研究科（歯）	121	2	9	110	5	4.5%
医歯学総合研究科（口腔生命）	11	1		10	1	10.0%
大学院（博士・博士後期）計	773	84	110	579	31	5.4%
合 計	12,159	282	421	11,456	1,033	9.02%

7 調査項目と集計方法

設問は全部で74問あり、これらについて単純集計及びクロス集計を行った。また、問29、問57、問58、問61、問62、問63、問64、問65、問71、問74及び最後に「上記以外の意見・要望」について自由記述欄を設けた。（具体的調査項目については、P75～P80に掲載）

第1章 所属学部・研究科等について

1-1 所属学部・研究科

新潟大学全学生に対して、学務情報システムに掲載されたアンケートに入力する形でのアンケート調査が実施された。総回答率は前回の19.2%から大きく下がり9.02%にとどまった。全回答者数（N＝1,033）のうち、学部学生の回答者数が90.8%、大学院生の回答者数が9.2%と、特に今回は大学院生の回答者数が非常に少なかった。このことから大学院生の回答については、修士・前期博士と博士・後期博士を合計した回答者数で分析を行った。

図1-1は、実際に調査に回答した学生数が、各学部・研究科の在籍学生数（休学・留学生等を除く）に占める割合を示したものである。各学部・研究科で在籍学生数に対する回答者数の割合でみて、回答率が高かったのは、創生学部30.0%、現代社会文化研究科23.9%、医学部保健学科15.5%であった。

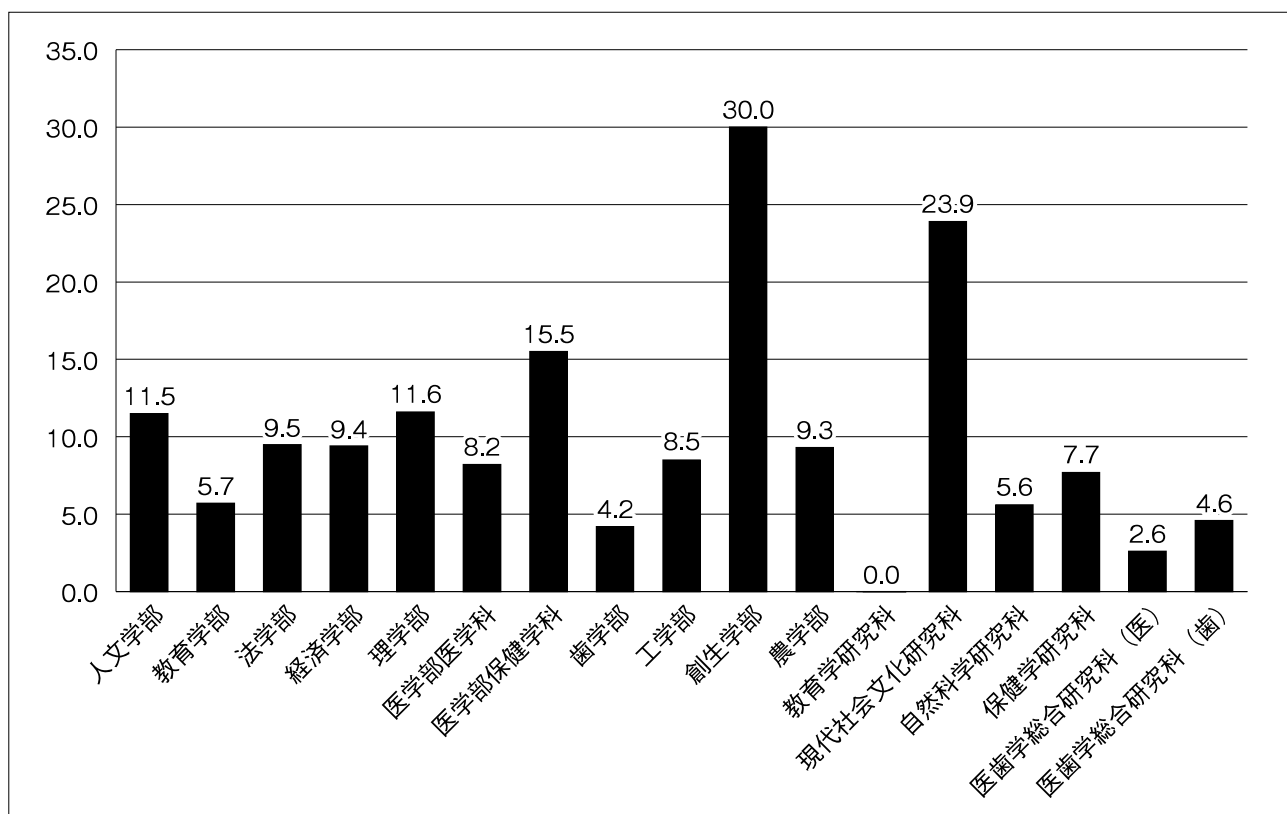


図1-1 ■ 回答者数／在籍者数（休学・留学生等を除く） (%)

図1-2は、各部局の学生の回答割合が、各部局の在籍者数でみた全体構成と比例しているかどうかを示している。在籍者数の全体構成割合と回答した学生の相対割合はそれほど比例しておらず、図1-1でみた創生学部、現代社会文化研究科、医学部保健学科、医学部医学科に加え、理学部、人文学部、法学部、保健学研究科の回答率も高いことがわかる。他方で、教育学部、経済学部、工学部、自然科学研究科では、在籍者数の全体構成割合に比べると回答者数の相対割合が低かった。

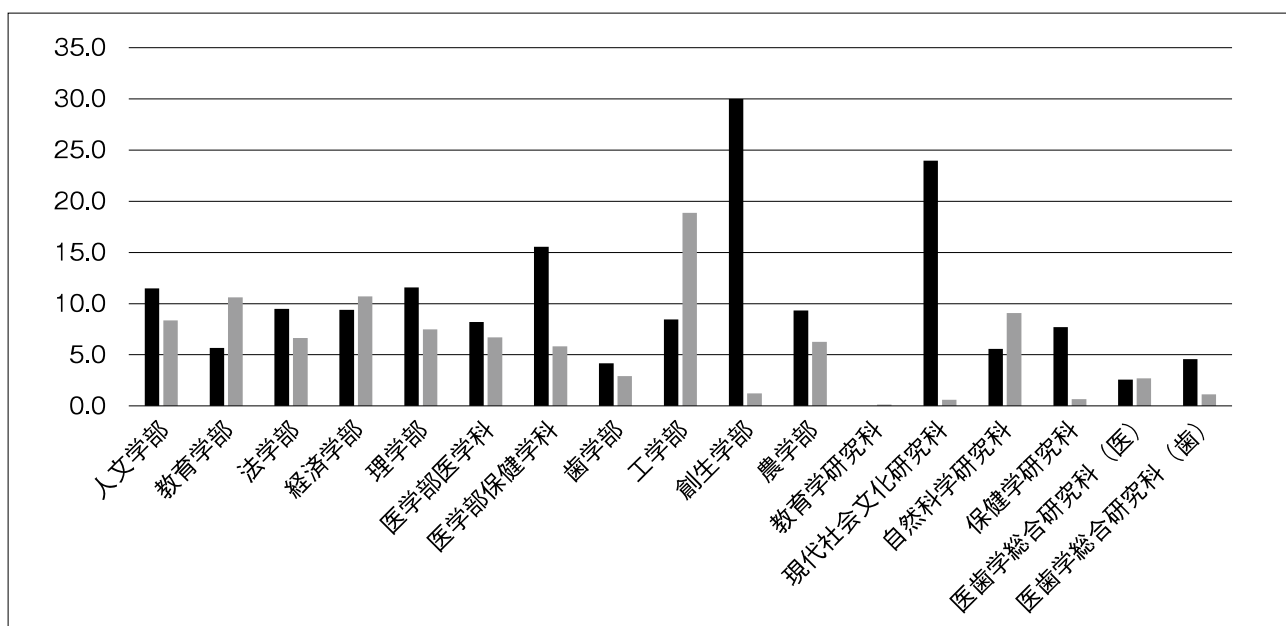


図 1-2 ■回答者数 / 在籍者数 (休学・留学生等を除く) (%) ■回答者数 / 全在籍者数 (%)

1-2 学年

表 1-1 は、回答者の学年別でみた構成割合を示している。今回の調査では、大学院修士・博士の区別をせず、1年生から6年生までの6者択一の回答結果を集計した。1年生の回答率が一番高く、学年が上がるにつれて回答率が下がっている。1-1の所属学部・研究科の分類で、学部創設2年目の創生学部の回答率が最も高い要因の一つには、この1年生、2年生の回答率が高いことと関係していると考えられる。

表 1-1 回答学生の学年内訳

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	総計
473	251	184	117	6	2	1,033
45.8%	24.3%	17.8%	11.3%	0.6%	0.2%	100.0%

1-3 性別

回答学生の性別内訳は、男性は54.5%と女性の45.5%で、前回同様男性の方が女性を上回った。前回調査と比べると（男性59.1%、女性40.9%）、今回は女性の回答割合が5ポイント上昇した。

表 1-2 回答学生の性別内訳

男	女	総計
563	470	1,033
54.5%	45.5%	100.0%

(参考) 全学生のうち回答学生の性別内訳

男	女
7,605	4,636
563	470
7.4%	10.1%

第2章 家庭状況等について

2-1 実家の所在地

全回答学生の実家の所在地についての質問項目に、今回の調査から新たに「外国」の選択肢が追加された。図2-1は、回答学生の新潟県内、県外、外国の出身構成比を示している。県内出身者38.3%、県外出身者58.3%、外国出身者3.4%であった。

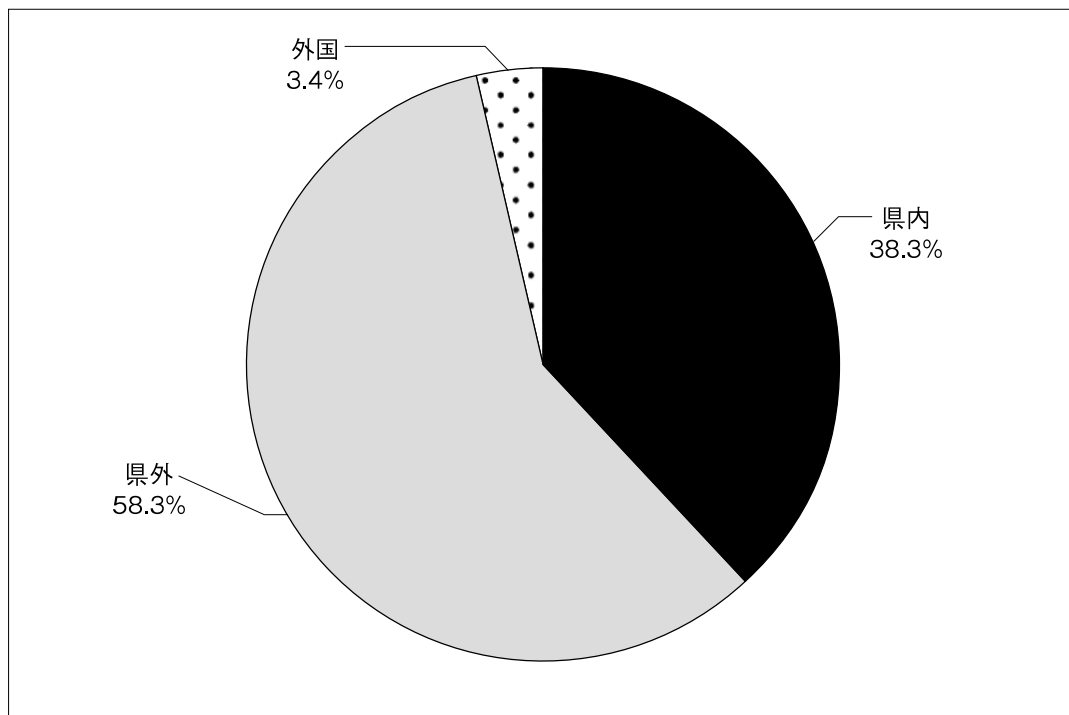


図2-1 回答学生の県内・県外出身者の構成比 (N=1,033)

県内出身回答学生の詳細を示したのが、図2-2である。新潟市出身者が42.9%と最も多く、次に中越地方出身者30.3%、新潟市を除く下越地方出身者が16.4%と続いた。

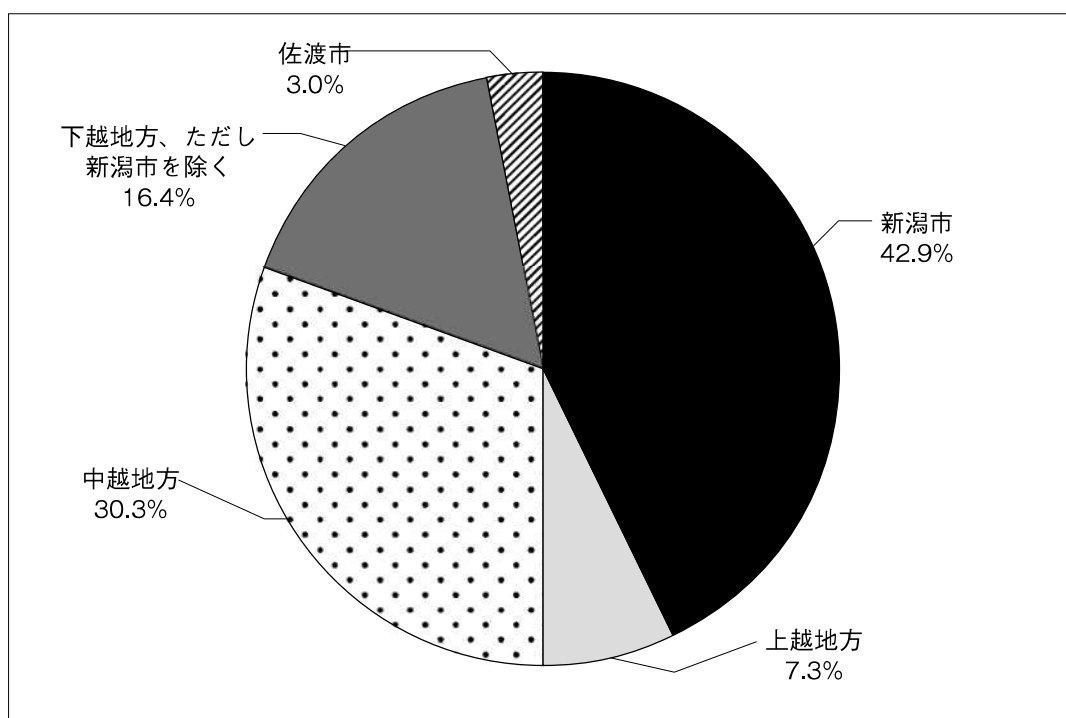


図 2 - 2 県内出身回答学生の内訳 (N=396)

県外出身者の出身地方別構成比を図 2 - 3 に示す。地方別では、東北35.9%、関東27.2%、北陸11.1%、中部9.4%、その他6.9%、外国5.5%、北海道3.9%の順であった。

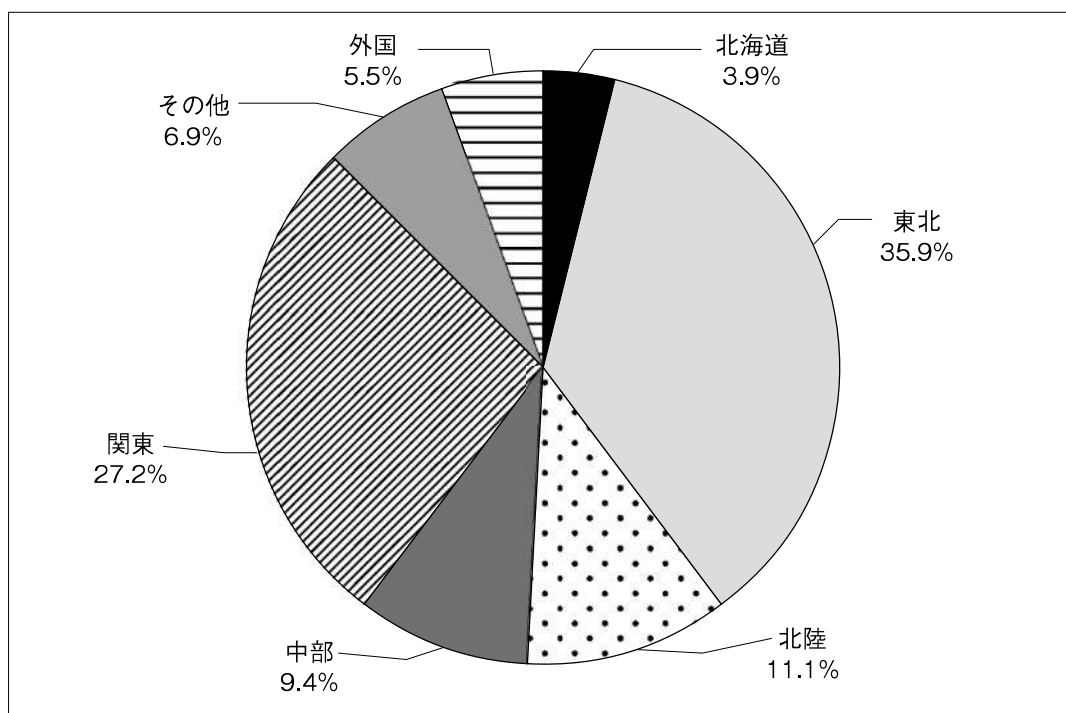


図 2 - 3 回答学生の県外出身者の内訳 (N=637)

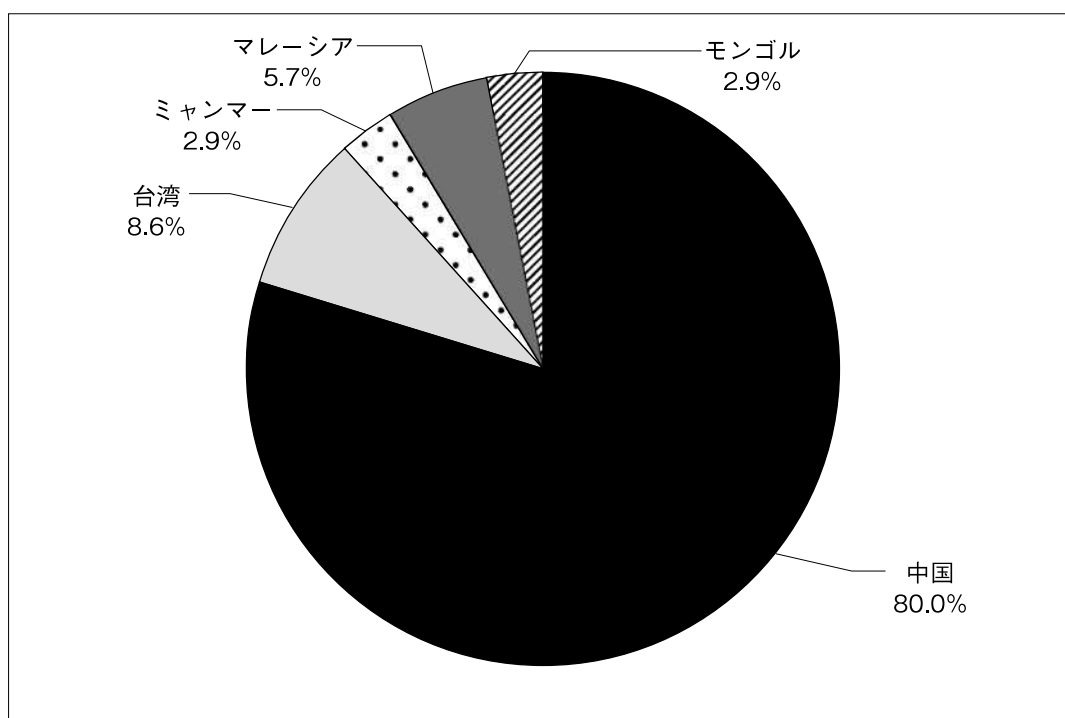


図 2 - 4 回答学生の外国出身者の内訳 (N=35)

図 2 - 4 は、今回の調査から新たに質問項目に加わった、外国出身回答学生の内訳である。中国出身者が80.0%と圧倒的に多く、そのほかは台湾8.6%、マレーシア5.7%、ミャンマー、モンゴルがそれぞれ2.9%であった。

2 - 2 家族の人数

回答学生の家族人数内訳を図 2 - 5 に示す。縦軸が家族の人数で、横軸が回答者数である。割合が高い方から 4 人が33.5%、3 人が23.0%、5 人が19.1%、6 人が11.0%、2 人が6.1%、1 人が3.4%、7 人が3.0%の順であった。この結果、わずかな差で 1 人が 7 人家族を上回った。

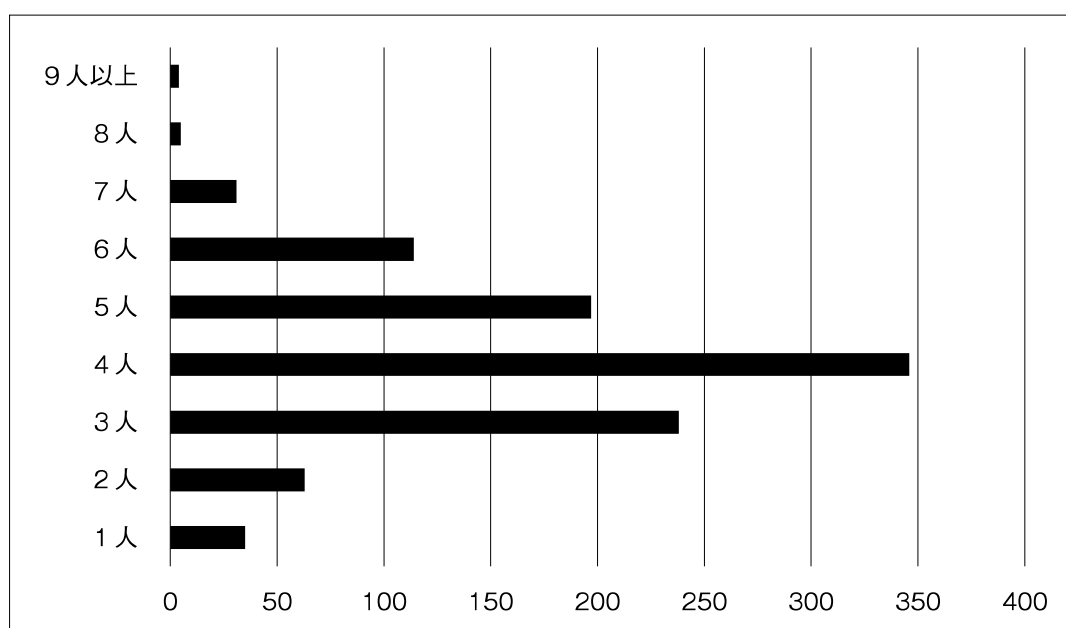


図2-5 回答学生の家族人数の内訳 (N=1,033)

2-3 授業料負担者

表2-1は回答学生の授業料負担者を示している。家計支持者（保護者）が圧倒的多数であったが、学生自身が負担するケースも9.6%みられた。

表2-1 授業料負担者

本人	家計支持者 (あなたの保護者)	家計支持者 以外の家族	その他	計
99	896	18	20	1,033
9.6%	86.7%	1.7%	1.9%	100.0%

2-4 主な家計支持者の年間収入

回答学生の家庭における年間収入の比率を図2-6に示す。200万円未満10.6%、200万円～400万円未満21.3%、400万円～600万円未満26.2%、600万円～800万円未満22.3%、800万円～1000万円未満10.6%、1000万円以上が9.1%であった。前回の調査結果で、全体的に年間収入の低下減少が窺われたことから、今回の調査では、400万円未満のうち、200万円未満の区分が追加され、200万円～400万円未満の区分と分けて質問された。

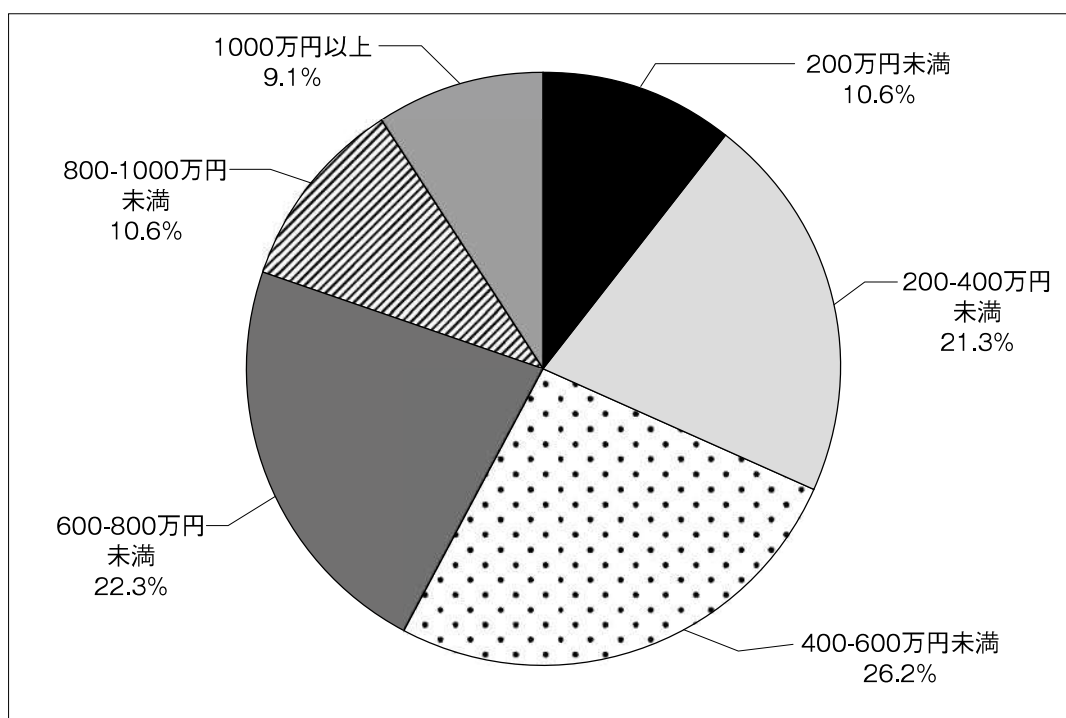


図 2 - 6 回答学生の主な家計支持者の年間収入 (N=1,033)

第3章 住居・通学・食事について

問8～問13-3では、住居、通学方法、食事に関する質問を行った。以下、それぞれについて結果を記す。

3-1 住居所在地

学生の住居所在地については、図3-1のとおりであった。

「五十嵐・大学南・内野」地区に居住する学生は69.2%、「大野、新通、槇尾地区」に居住する学生は0.4%、坂井、坂井輪、寺尾地区に居住する学生は2.2%、「旭町地区」に居住する学生は10.1%、「公共交通機関で1時間以内」の地区に居住する学生は8.7%、「その他」に居住する学生は9.4%であった。

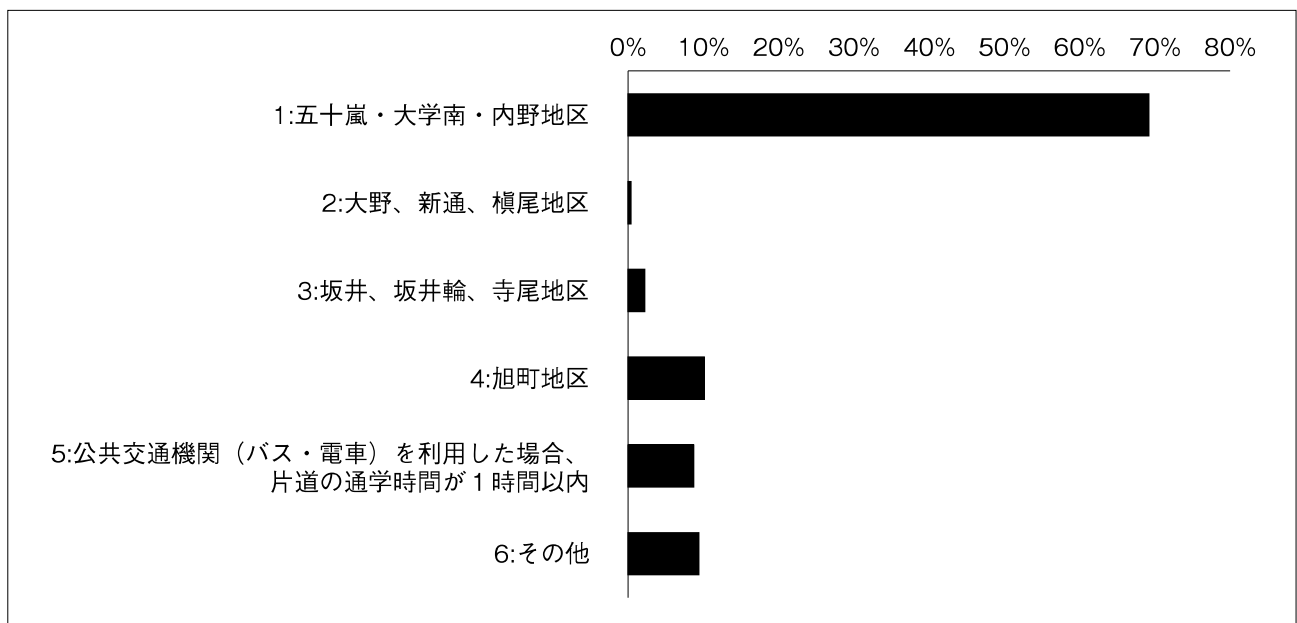


図3-1 住居所在地

3-2 住居区分

住居区分は図3-2のような結果であった。自宅から通学する学生は17.8%であった。

自宅以外の大半は、「台所・バス・トイレ付きアパート・マンション」であり、71.8%を占める。反対に台所・バス・トイレといった施設の一部（あるいは全部）を共同利用する形態の「アパート」や「貸間および下宿」に居住する学生の割合は2.8%である。そのほか、「学生寮」入居は7.6%、「親戚・知人宅」が0.5%、「その他」が0.3%であった。

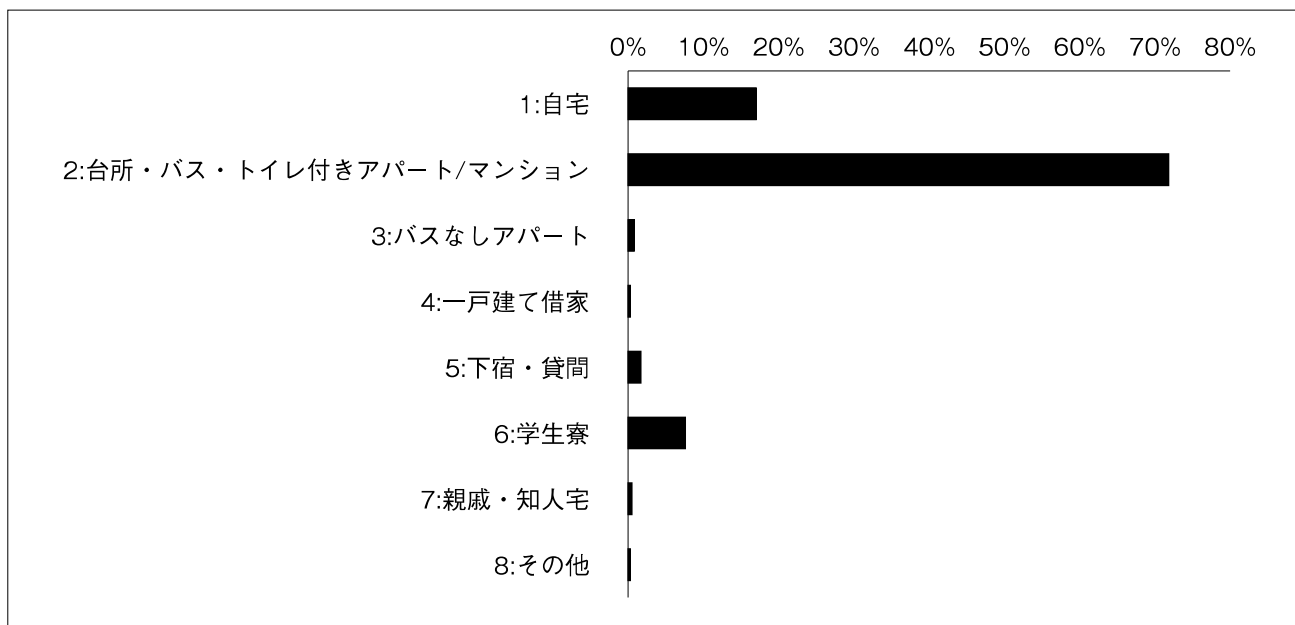


図 3－2 居住形態

3－3 通学方法とその所要時間

図 3－3 に通学方法、図 3－4 に通学に要する片道時間を示した。通学方法については、徒歩のみが 47.8% で最も多く、次いで自転車 が 31.5%、公共交通機関が 15.3%、自動車 が 4.5%、オートバイ・スクーターが 0.9% となった。

徒歩と自転車で 79.3% を占める。回答者の約 7 割が大学近辺居住であるから（図 3－1）、この結果になったと推察できる。

通学に要する時間を見ると、81.2% が 30 分未満としている（図 3－4）。

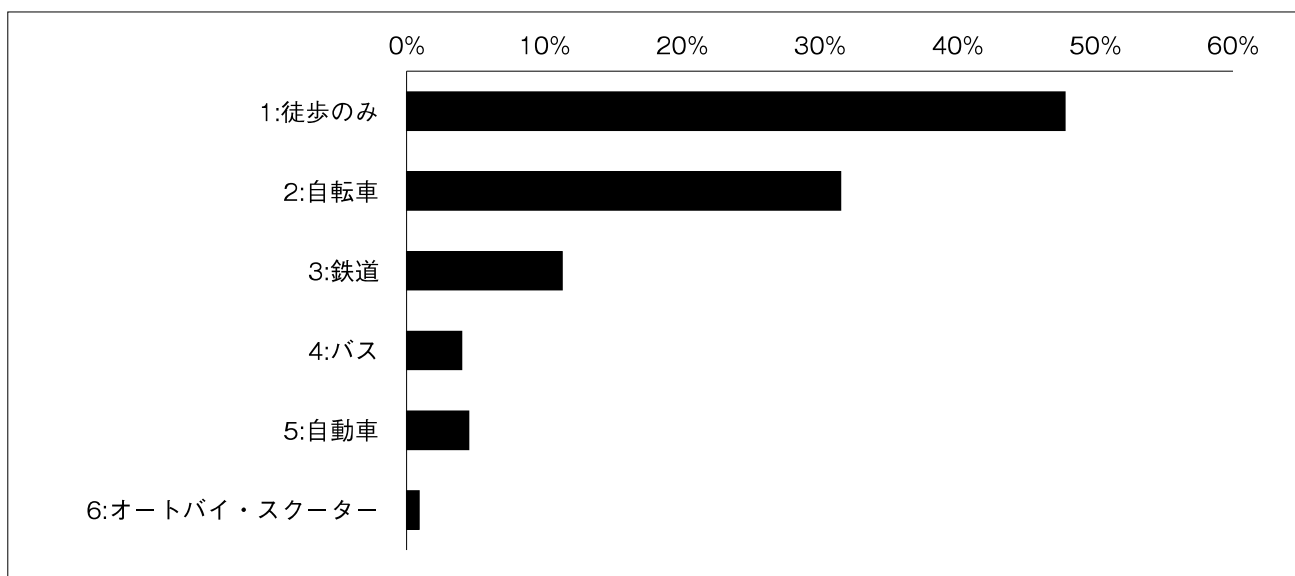


図 3－3 通学方法

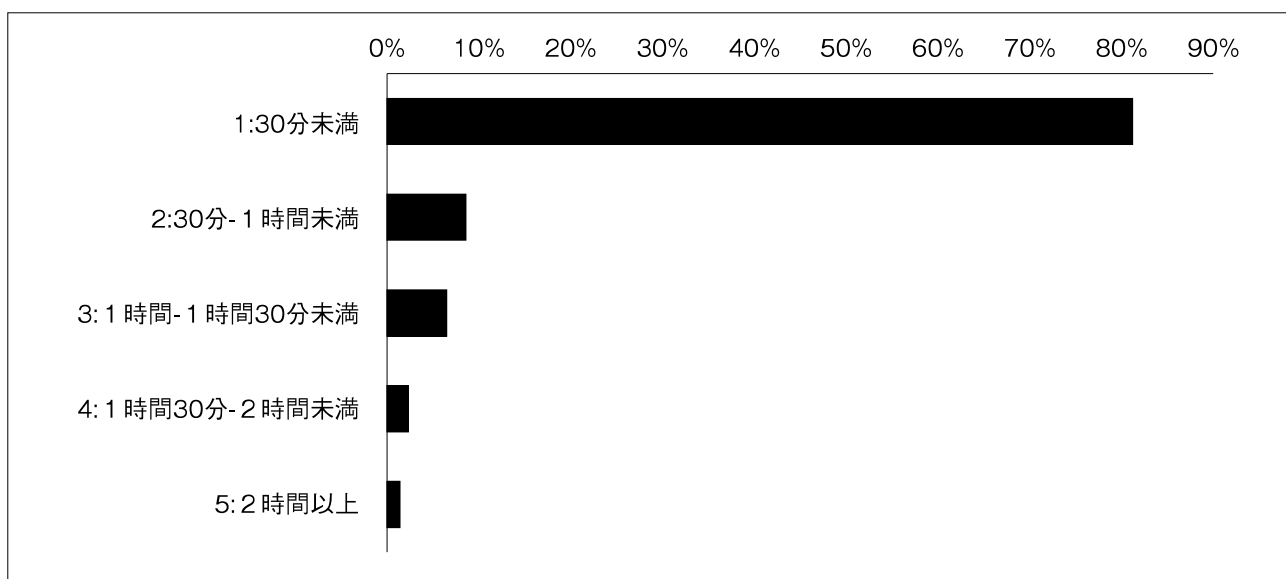


図3－4 通学に要する時間

3－4 自動車の所有

今回の調査では、自動車の所有について尋ねた。結果が図3－5で、学生の28.6%が主に自分が使用できる自動車を所有していると回答した。

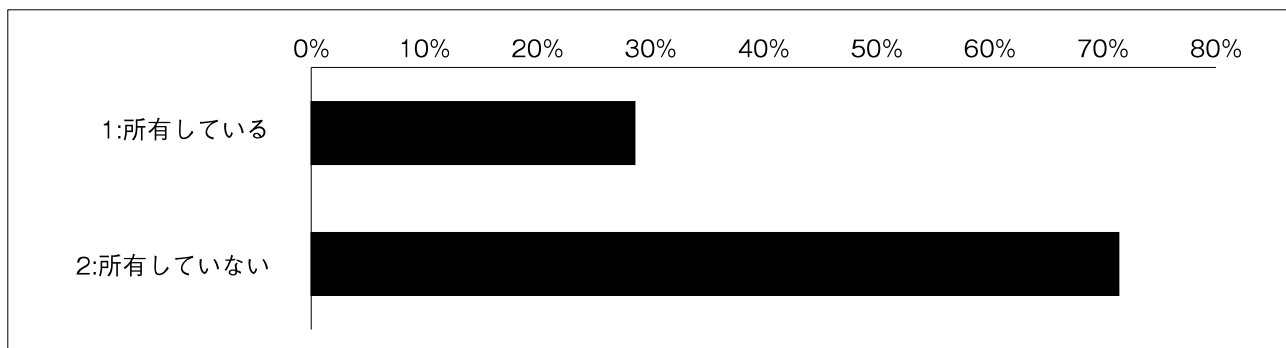


図3－5 主に自分が使用できる自動車を所有しているか

3－5 食事

朝食を自宅あるいは自炊でとる学生は65.3%を占めている。一方、朝食をとらない学生は18.7%であった。

そのほか、コンビニ等で購入する学生は8.9%、生協で購入する学生は1.7%、学生食堂を利用する学生は2.9%、学外の食堂等を利用する学生は0.4%、その他2.1%であった。

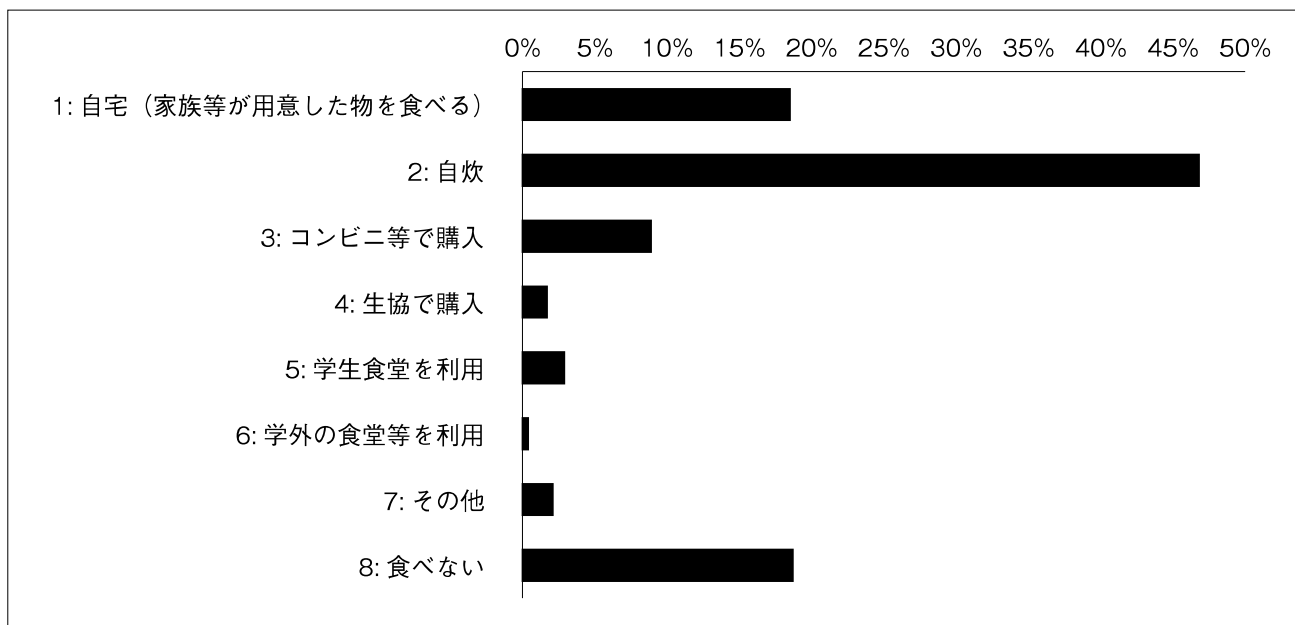


図3－6 朝食の実態

昼食を学生食堂でとる学生の割合は33.5%で最も割合が高く、学外の食堂等を利用する割合である5.1%を加えると、38.6%となる。他方、自宅あるいは自炊でとる学生の割合は32.5%であり、こちらも比較的高率であった。

そのほか、コンビニ等や生協で購入する学生は23.8%、その他が3.7%であったが、昼食をとらない学生も1.4%存在する。

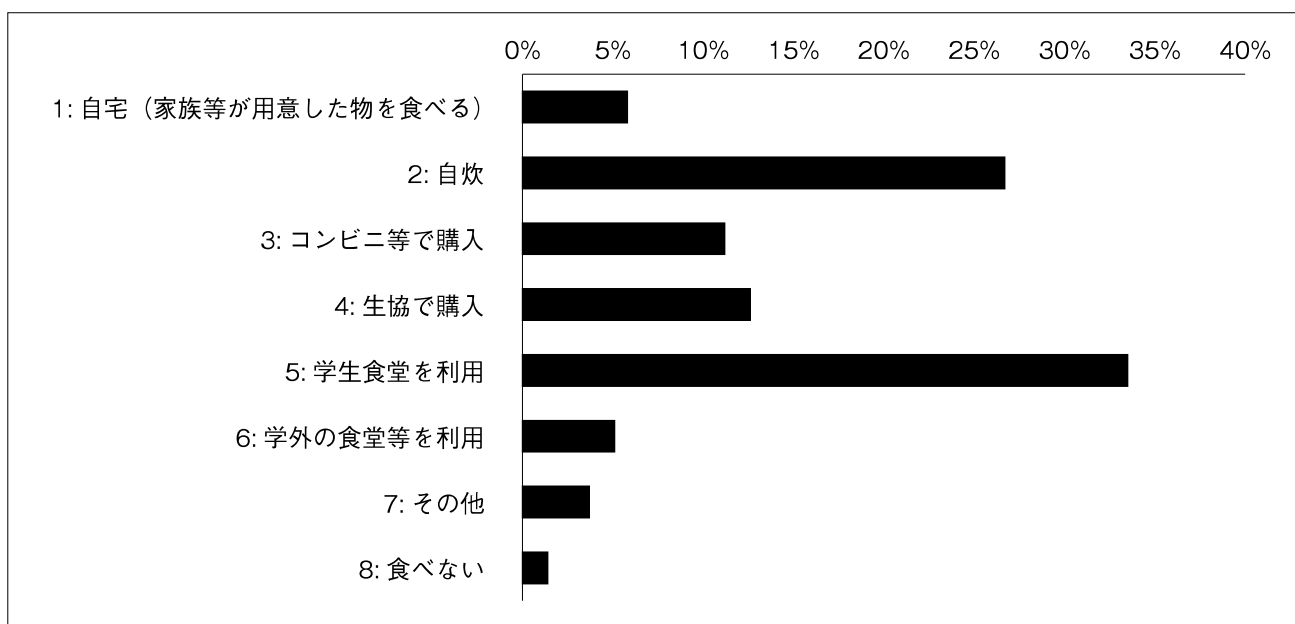


図3－7 昼食の実態

夕食については、自宅あるいは自炊でとる学生の割合は77.3%である。さらに、学内外の食堂で夕食をとる割合は7.6%、コンビニ等や生協での購入が9.5%で、食堂の利用より高率である。そのほか、その他が5.1%、夕食をとらない学生も0.6%存在する。

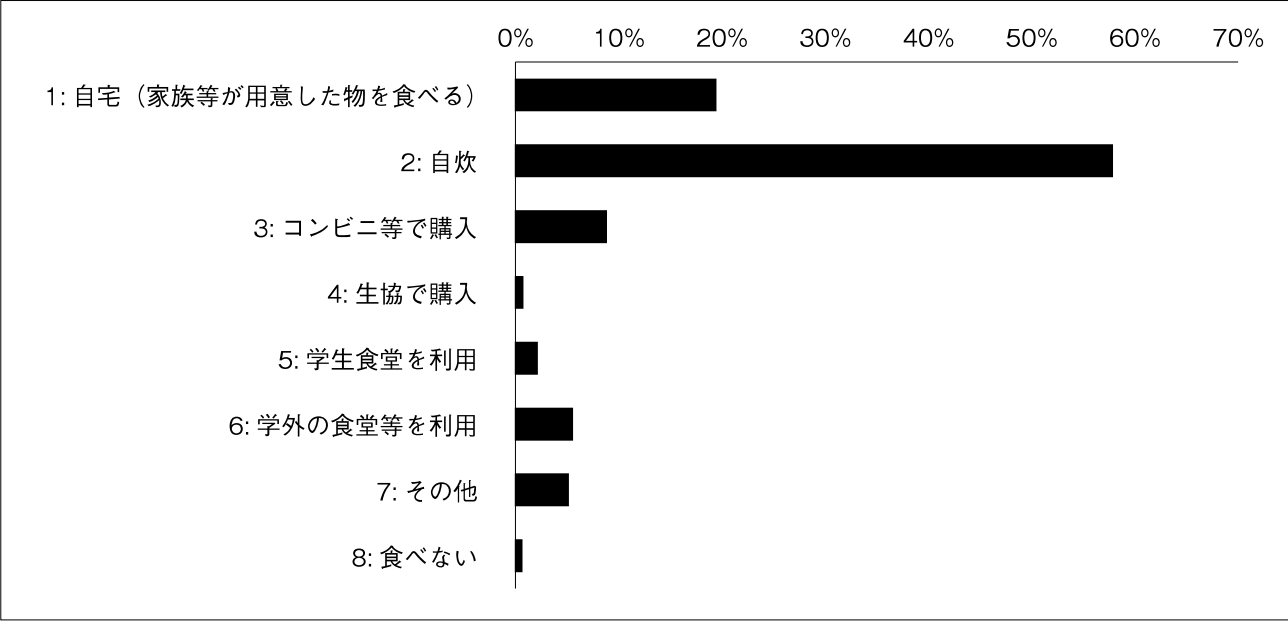


図3－8 夕食の実態

第4章 収入・支出について

問14－1～問16－8では、収入・支出に関する質問を行った。以下、それぞれについて結果を記す。

4－1 収入（月額）

家計支持者からの援助の調査において、千円以上1万円未満であるとの回答が40件あったが、この額は家計からの支援額としては信憑性が低いので、データからは削除した。したがって、全回答数は1,033件であったが、有効回答は993件とする。

家計支持者からの援助が無いと答えた学生は、25.5%である。学生の送金額の平均金額（0の回答を含まない、以下同じ）は54.6千円である。最も低い額は10千円で6.8%であり、最も高い額は200千円で0.1%である。また、最も多くの学生が受けている額は50千円で15.1%である。

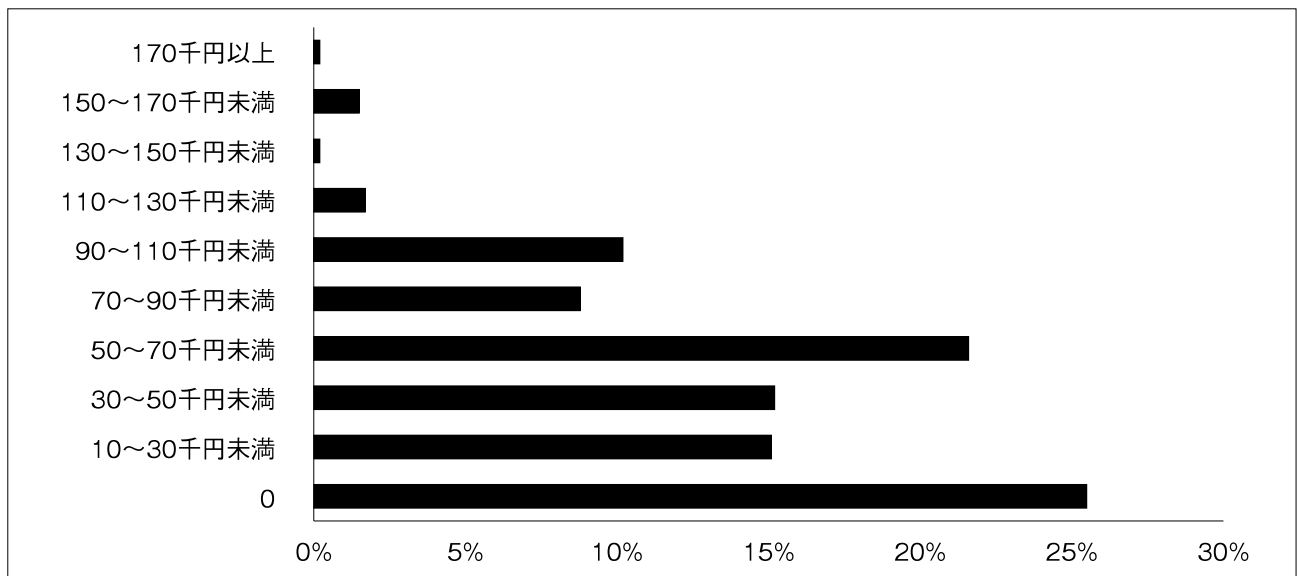


図4－1 家計支持者からの援助

奨学金の調査において、千円以上20千円未満であるとの回答が27件あったが、この額は奨学金としては信憑性が低いので、データからは削除した。したがって、全回答数は1,033件であったが、有効回答は1,006件とする。

奨学金を受けている学生は46.3%である。受給している奨学金の平均金額は56.8千円であった。最も低い額は20千円で2.4%であり、最も高い額は195千円で0.2%である。最も多くの学生が受けている額は51千円で23.0%である。

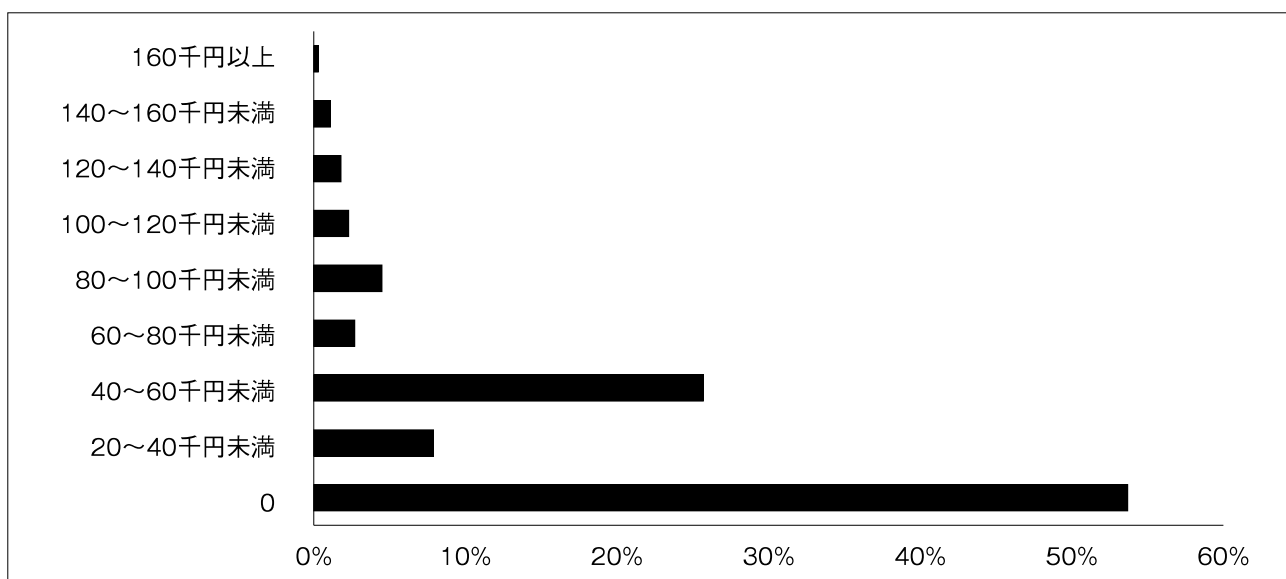


図 4 - 2 奨学金の受給額

奨学金の受給先（複数回答）では、日本学生支援機構（第一種）すなわち無利息給付金を受給している学生の割合は52.7%であった。日本学生支援機構（第二種）すなわち利息付給付金を受給している学生の割合は29.8%であった。その他、地方公共団体から受給している学生の割合は7.1%、民間団体から受給している学生の割合は4.8%、その他が5.7%であった。

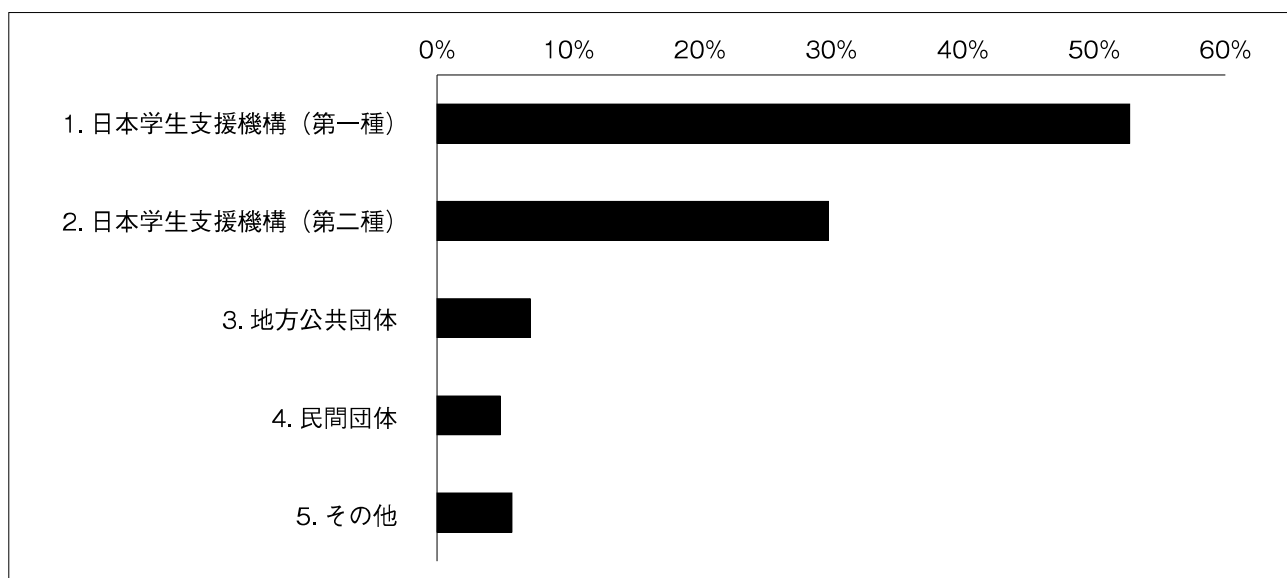


図 4 - 3 奨学金の受給先

家庭教師をしている学生は8.4%である。

家庭教師による平均収入はで23.9千円であった。最も低い収入は1千円で5件、最も多い収入は130千円で1件であった。なお、最も多くの学生が得ている収入額は、20千円で20件であった。

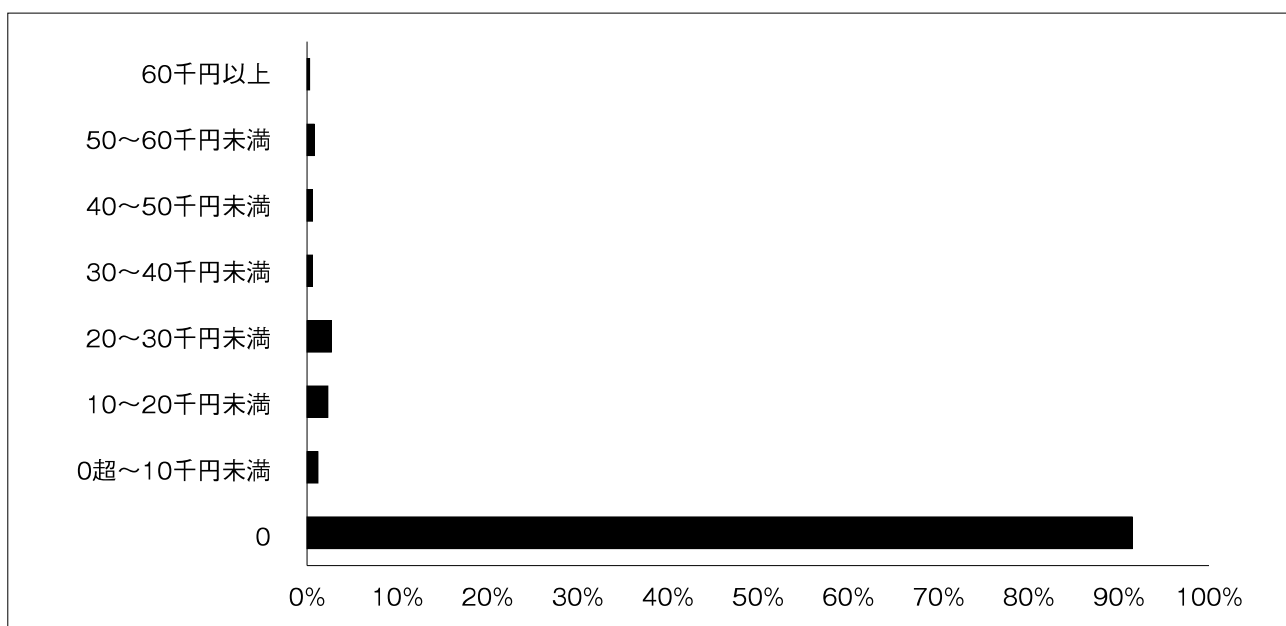


図 4－4 家庭教師によるアルバイト収入

家庭教師以外のアルバイトをしている学生の割合59.8%である。

家庭教師以外のアルバイト収入の平均額は36.8千円であった。最も低い収入は1千円で1件、最も多い収入は150千円で3件であった。なお、最も多くの学生が得ている収入額は、30千円が93件、50千円が93件であった。

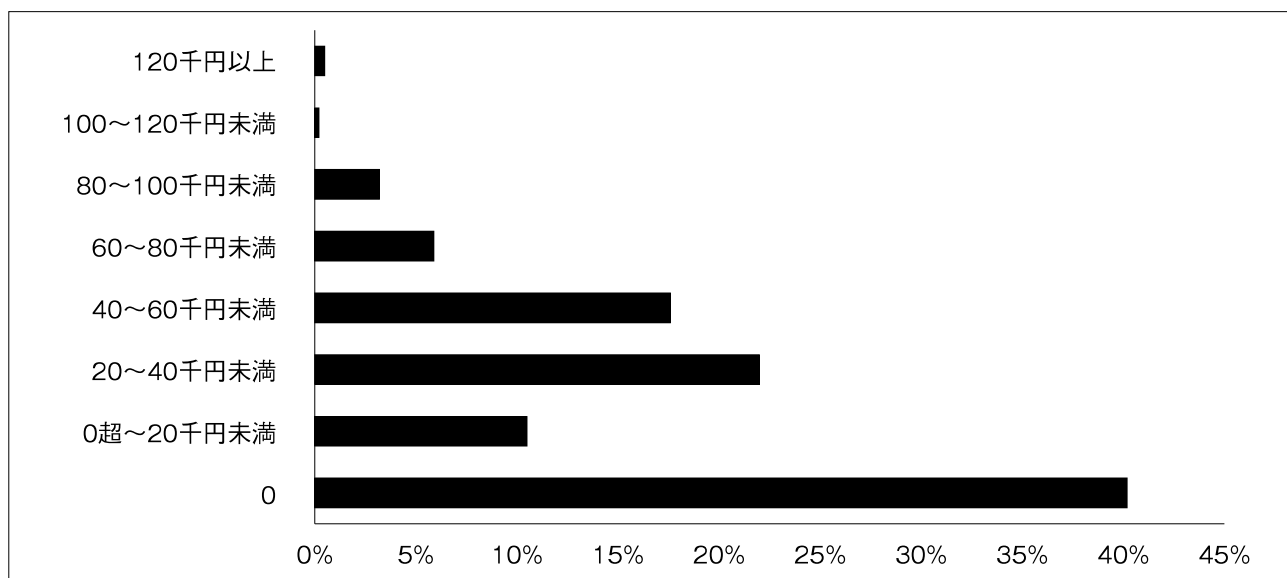


図 4－5 家庭教師以外のアルバイト収入

家計支持者以外から援助を受けている学生の割合は8.5%で、平均額は27千円である。最も少ない金額は0.5千円で1件、最も多い金額は150千円で2件であった。最も多くの学生が得ている金額は、10千円で21

件であった。

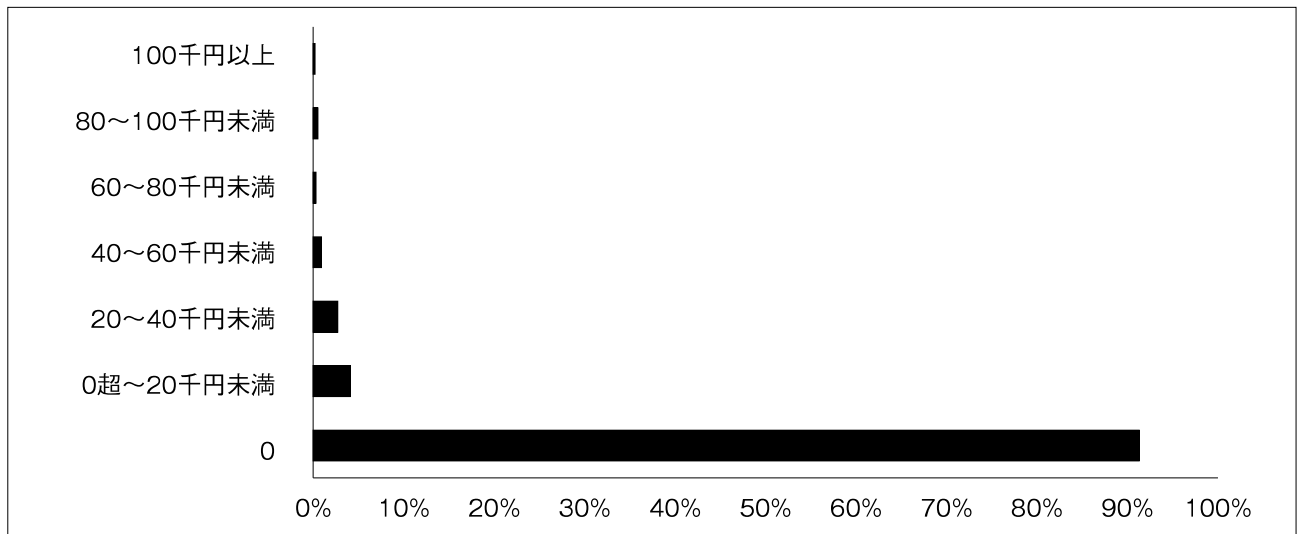


図 4－6 家計支持者以外からの援助

今回の調査では、収入として上記以外の収入を尋ねた。その他の収入金額欄を記入した学生は9.7%であり、平均金額は39.8千円である。最も少ない金額は1千円で5件、最も多い金額は200千円で3件であった。最も多くの学生が得ている金額は、10千円で11件であった。

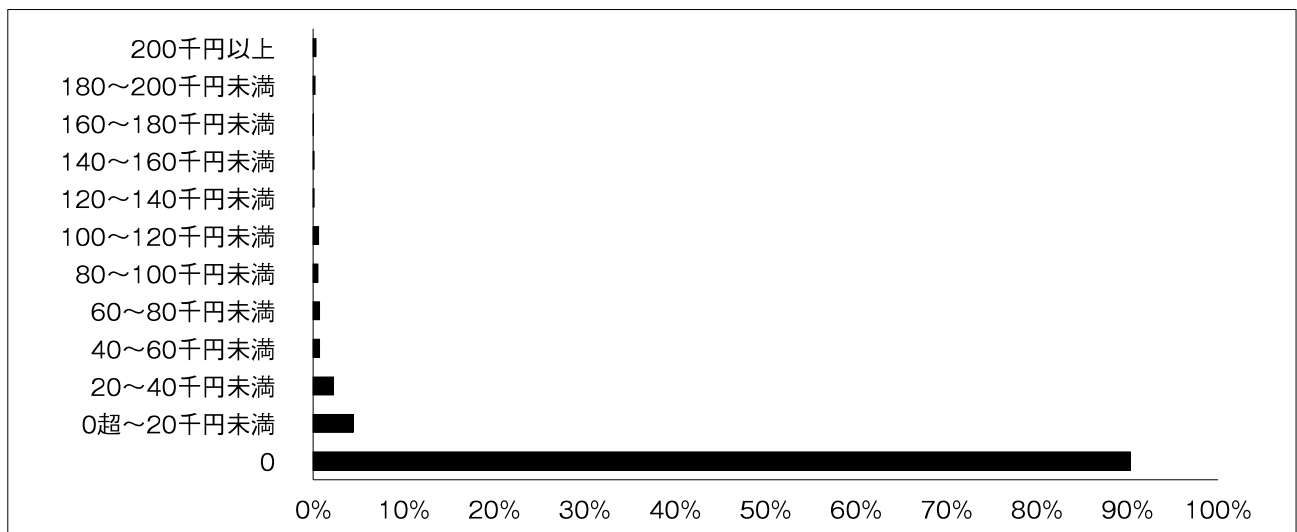


図 4－7 その他の収入

4－2 支出

住居費については、支出していないとした学生が16.7%である。学生の住居費の1か月の平均額（0の回答を含まない、以下同じ）は38.9千円であった。1か月の住居費として最も低い額は1千円で1件、最も高い額は200千円で1件であった。1か月の住居費として最も多くの学生が支出している額は40千円で

113件、次いで30千円が99件、35千円が42件であった。

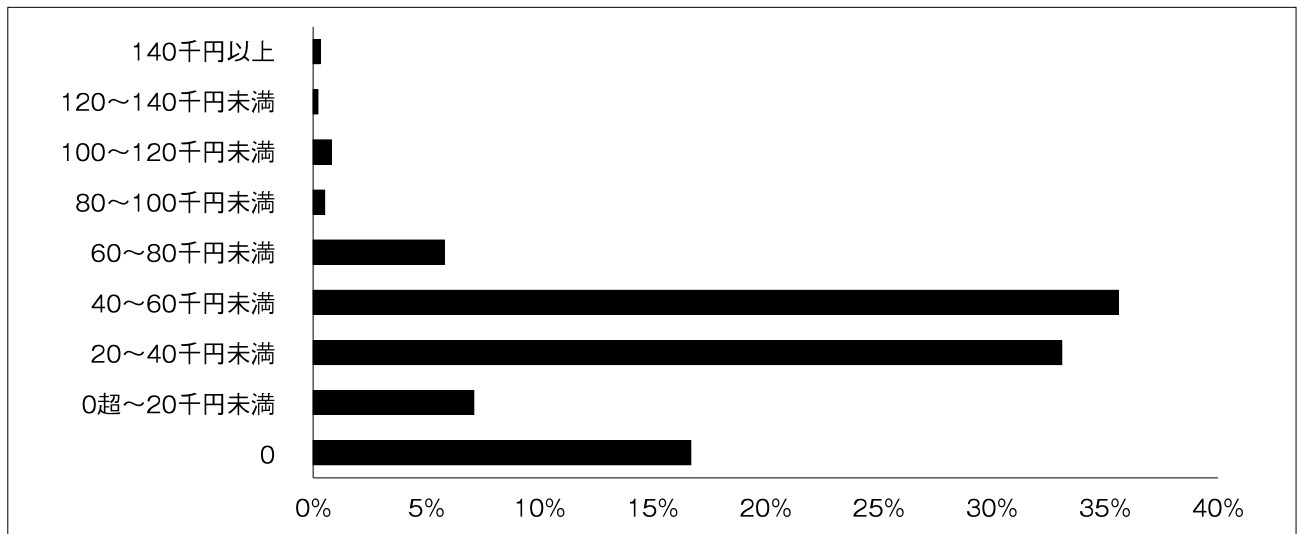


図4－8 住居費

1か月の食費の平均額は25.0千円である。1か月の食費として最も低い額は1千円で7件、最も高い額は180千円で1件であった。1か月の食費として最も多くの学生が支出している額は30千円で242件、次いで20千円が192件、40千円が116件であった。なお、食費を0円とした学生は、5.4%であった。

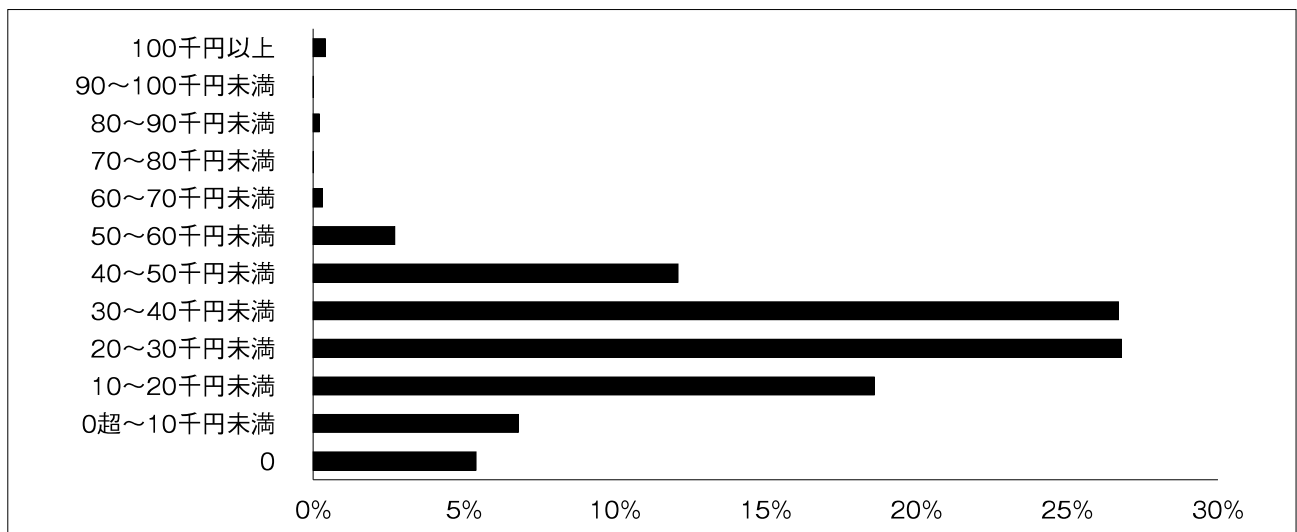


図4－9 食費

1か月の勉学費の平均額は8.9千円である。1か月の勉学費として最も低い額は0.5千円で6件、最も高い額は170千円で1件であった。1か月の勉学費として最も多くの学生が支出している額は10千円で233件、次いで5千円が229件、1千円が94件であった。なお、勉学費を0円とした学生は、16.9%であった。

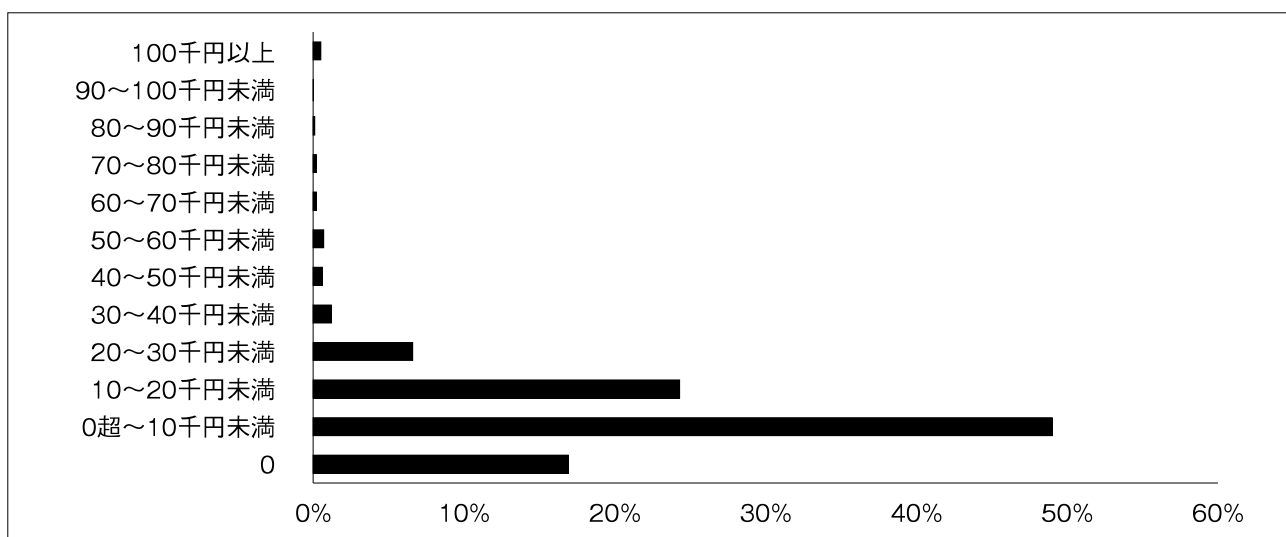


図 4－10 奨学費

1 か月の娯楽費の平均額は13.5千円である。1 か月の娯楽費として最も低い額は0.5千円で 2 件、最も高い額は80千円で 1 件であった。1 か月の娯楽費として最も多くの学生が支出している額は10千円で306件、次いで20千円が191件、5 千円が146件であった。なお、娯楽費が 0 円とした学生は、7.0%であった。

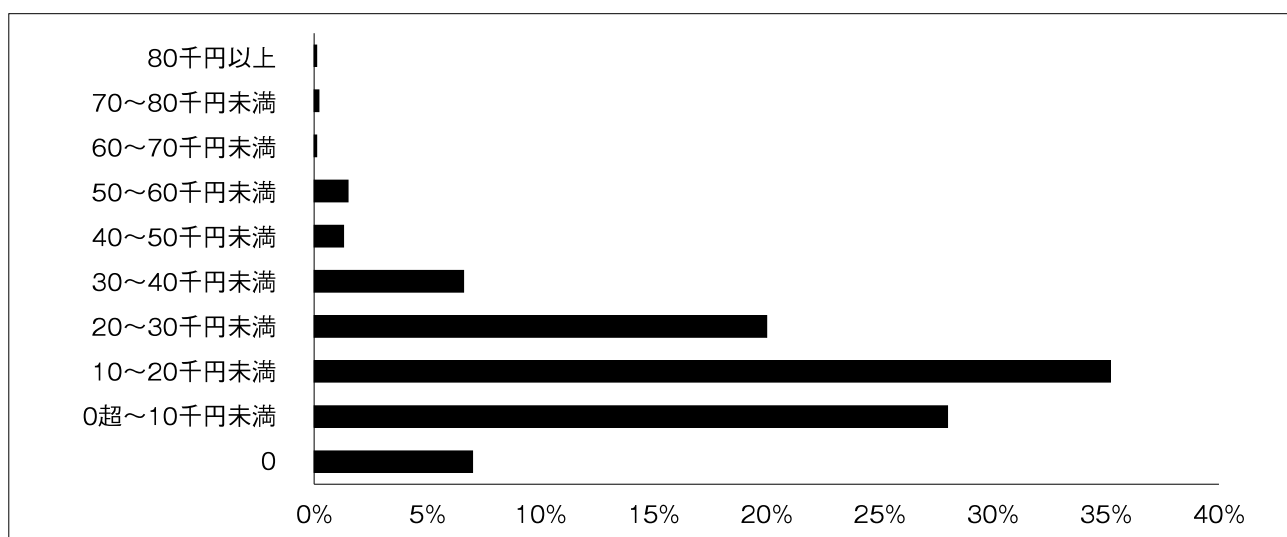


図 4－11 娯楽費

1 か月の被服費の平均額は9.0千円である。1 か月の被服費として最も低い額は0.3千円で 1 件、最も高い額は100千円で 2 件であった。1 か月の被服費として最も多くの学生が支出している額は10千円で244件、次いで5 千円が213件、2 千円が80件であった。なお、被服費が 0 円とした学生は、19.9%であった。

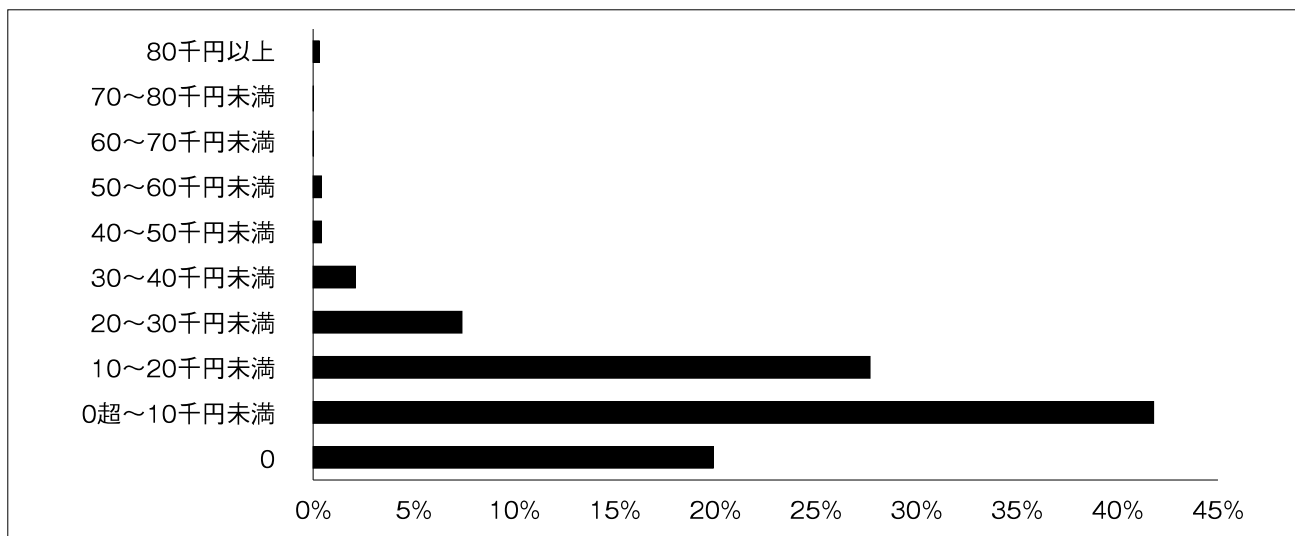


図 4－12 被服費

1 か月の通学費については、74.4%が0 回答である。金額を回答した者の平均額は9.4千円であった。1 か月の通学費として最も低い額は0.5千円で1 件、最も高い額は100千円で1 件であった。1 か月との通学費として最も多くの学生が支出している額は10千円と5 千円でそれぞれ53件、次いで1 千円が17件、2 千円が16件であった。

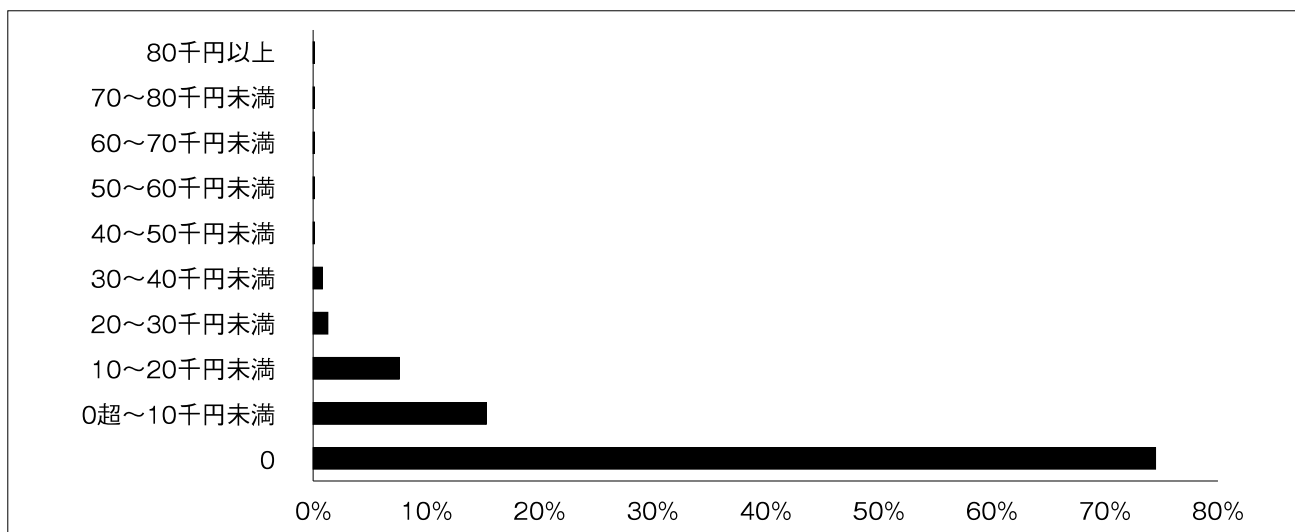


図 4－13 通学費

1 か月のその他雑費の平均額は11.5千円である。1 か月のその他雑費として最も低い額は0.5千円で2 件、最も高い額は150千円で1 件であった。1 か月のその他雑費として最も多くの学生が支出している額は10千円で273件、次いで5 千円が170件、20千円が127件であった。なお、その他雑費が0 円とした学生は16.7%であった。

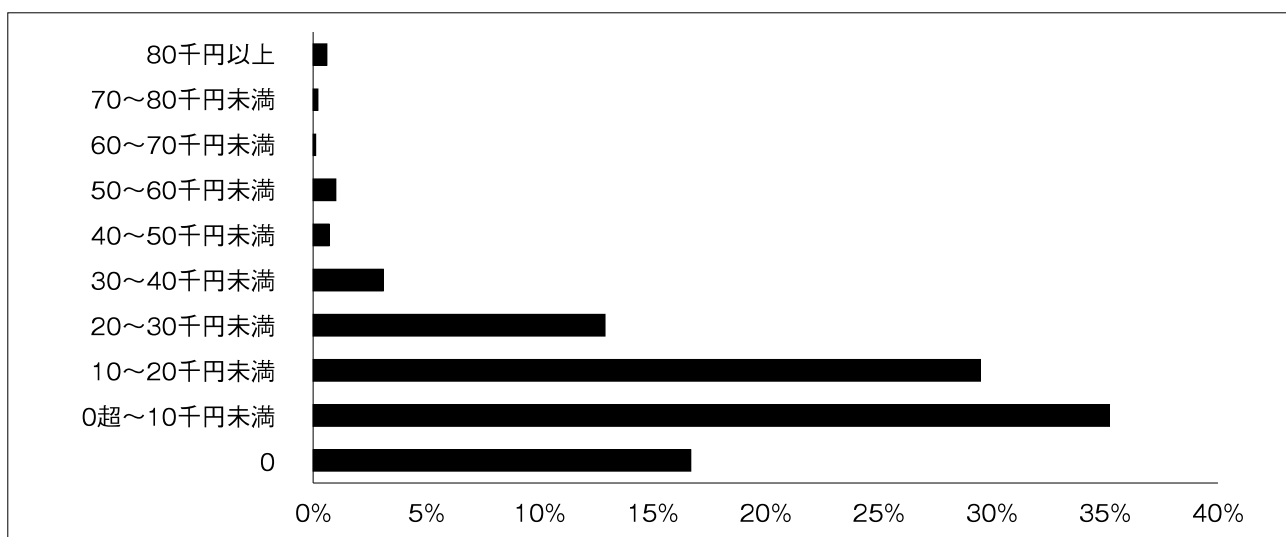


図 4－14 その他雑費

1 か月の預貯金については、金額を答えた学生は55.4%であった。1 か月の預貯金の平均額は18.5千円である。1 か月の預貯金として最も低い額は0.5千円で1 件、最も高い額は200千円で1 件であった。1 か月の預貯金として最も多くの学生が支出している額は10千円で169件、次いで20千円が114件、5 千円が81件であった。

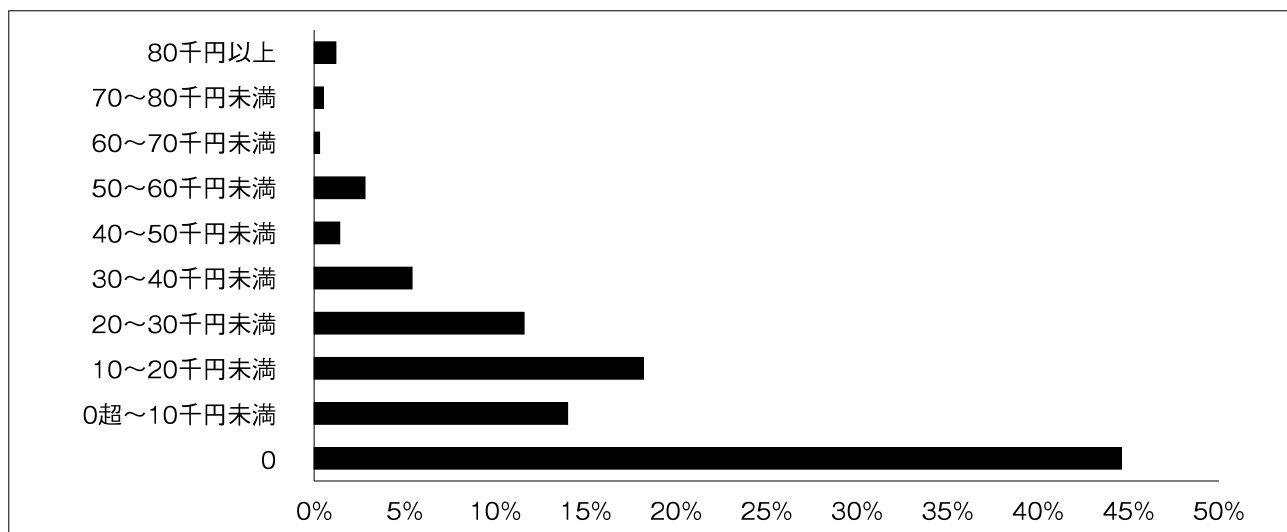


図 4－15 預貯金額

第5章 アルバイトについて

5-1 アルバイトの経験

アルバイト経験の有無について、全体で83.0%が経験したことがあると回答している。アルバイト経験者は平成26年度の79.2%から増加傾向にある。また、アルバイトをした学生のうち「長期」は55.4%、「短期」は22.7%であった。平成26年度ではそれぞれ58.0%、17.5%であった。8割強の学生が何らかのかたちでアルバイトを行っており、そのうちの約8割弱の学生が日常的、定期的にアルバイトを行っていると考えられる。

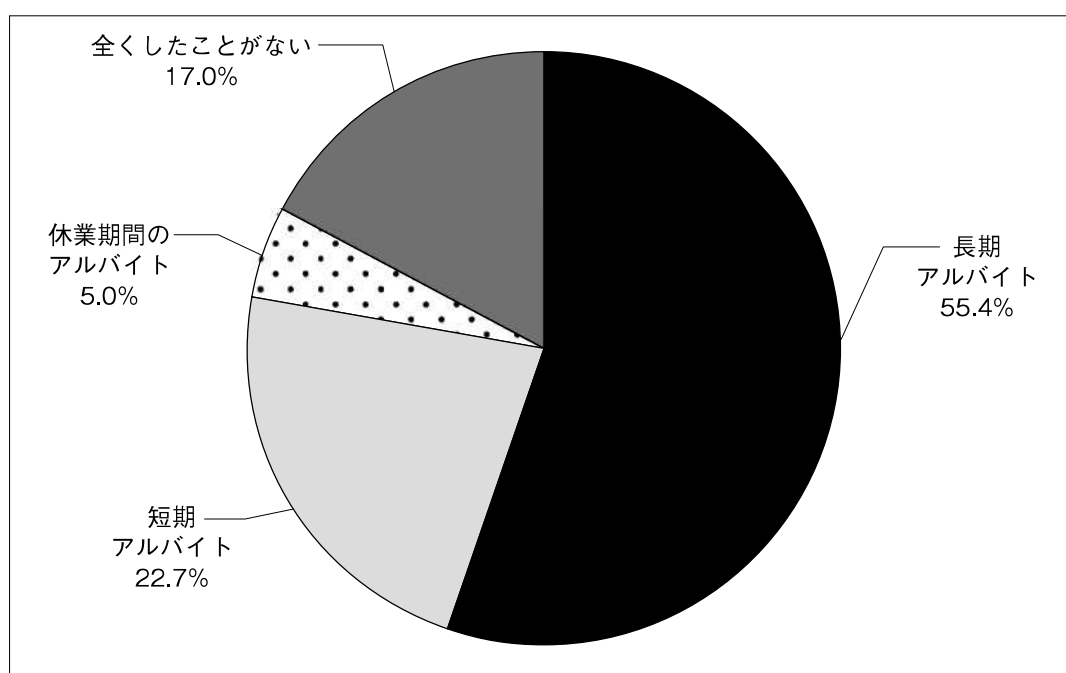


図5-1 アルバイト経験の有無

5-2 アルバイトの理由

アルバイトの理由（複数回答）は、「こづかい・臨時の支出」のためとするものが66.3%と最も多く、以下、「社会経験」39.2%、「家庭の経済的負担を軽減するため」28.9%、「家族からできるだけ自立するため」13.1%、「学業を継続するため」9.3%と続いている。平成26年度ではそれぞれ66.9%、40.6%、31.7%、11.0%、8.0%であった。順位は今回の結果と同じであり、比率もほぼ同様であった。多くの学生にとって、アルバイトの理由は「こづかい・臨時の支出」が中心であり、将来に備えて「社会経験」を積んでおこうとする学生が約4割弱（平成26年度は40.6%）いるのも特徴であろう。しかし、約3割近い学生が「家庭の経済的負担の軽減」、約1割近い学生が「学業の継続」を理由にアルバイトをしていることにも留意する必要がある。

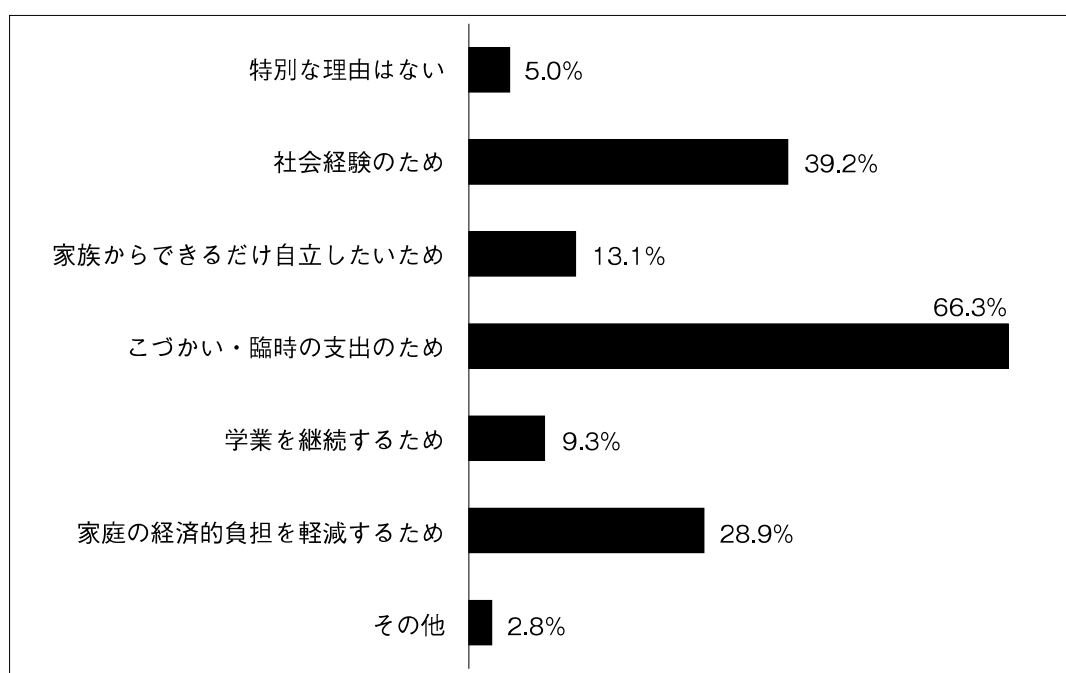


図５－２ アルバイトをした理由

５－３ アルバイトの職種

アルバイトの職種（複数回答）では「飲食業」が40.2%と最も多く、次いで「販売・サービス」が34.7%、「学習塾講師」21.1%、「肉体労働」11.4%、「家庭教師」6.9%となっている。平成26年度では、「販売サービス」33.6%、「飲食業」33.3%、「肉体労働」18.0%、「学習塾講師」16.2%、「家庭教師」11.2%であった。平成22年度では、「販売サービス」41.0%、「飲食業」27.7%、「肉体労働」17.5%、「家庭教師」16.3%、「学習塾講師」14.9%であった。この８年間で「販売サービス」から「飲食業」への学生の志向性の変化の傾向性が見受けられた。

平成18年度の調査以降、アルバイトの内容が変化してきている。かつて大学の学生のアルバイト職種として筆頭にあげられていた「家庭教師」と「学習塾講師」の比率は、平成18年度には40.9%となり、平成22年度には31.2%となり、平成26年度では27.4%と減少傾向にあったが、今回では28.0%と前回より若干増加傾向にある。代わって、「販売サービス」と「飲食業」の２者が、平成18年度には60.8%、平成22年度には68.7%、平成26年度には66.9%と学生アルバイトの主役となり、今回では74.9%と７割を大きく上回る結果となった。アルバイトとして「家庭教師」と「学習塾講師」の選択比率の減少は、少子化に伴う需要の減少が影響しているのかもしれない。また、ファミリーレストランや居酒屋などの飲食店、およびコンビニエンスストアをはじめとする販売店での就労がより一般化し、学生でも比較的安心感をもってアルバイトに取り組める環境の整備が進んでいることも原因と考えられる。

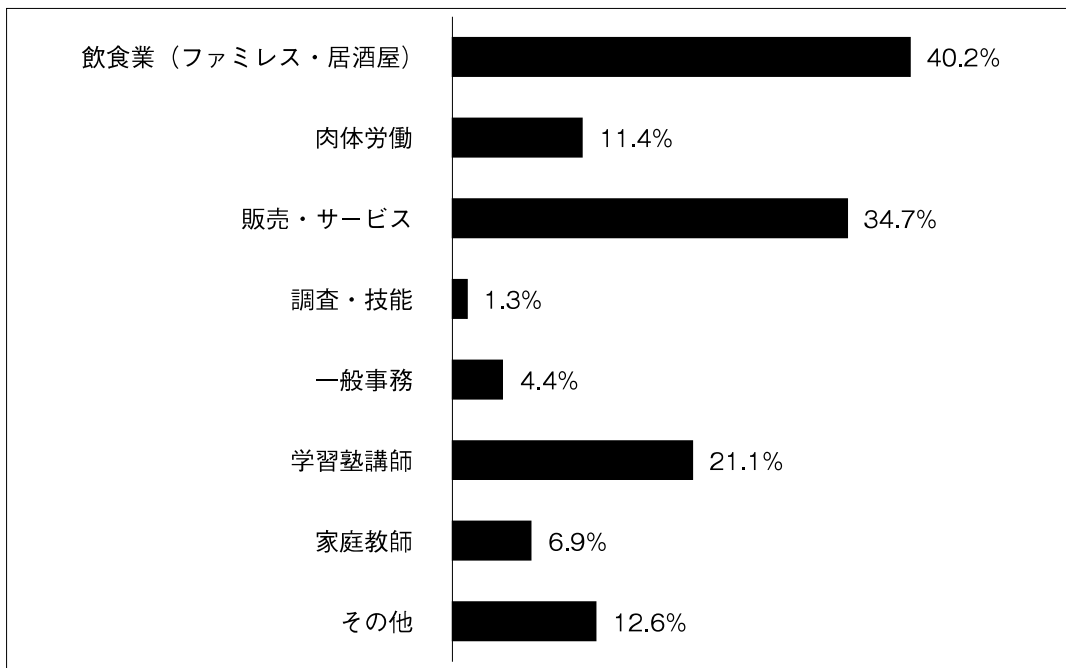


図 5－3 アルバイトの職種

5－4 アルバイトの日数

アルバイトの1週間の平均就労日数は、「1日～2日」45.9%、「3日～4日」48.0%、「5日～7日」6.0%であった。平成26年度（それぞれ49.1%、43.6%、7.3%）と比べて大きな変化はない。約9割の学生は週のうち数日以内のアルバイトであるが、1割弱の学生は週に「5日～7日」とほぼ毎日アルバイトをしている。

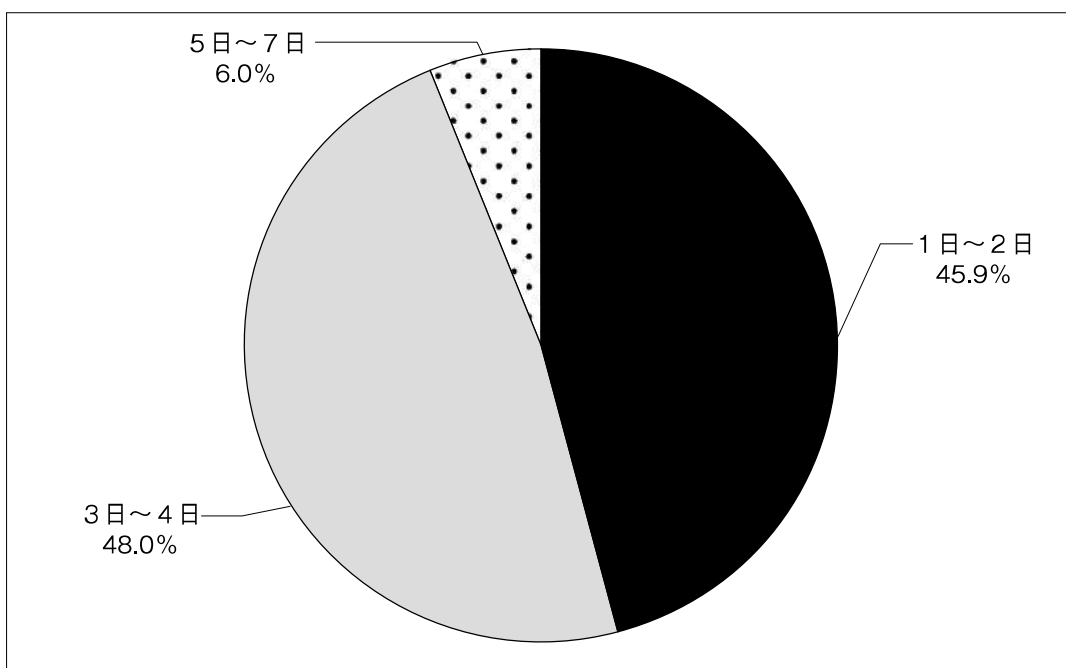


図 5－4 アルバイトの1週間の平均就労日数

5-5 アルバイトの時間

アルバイトの1週間の平均就労時間は、「5時間未満」26.0%、「5～10時間」43.7%、「10～19時間」22.3%であり、これらで92.0%を占めている。平成26年度はこれらで90.2%（それぞれ26.5%、41.8%、21.9%）であった。一方、週に40時間以上とかなり長時間のアルバイトを行っている学生が、今回は0.8%、平成26年度で1.4%であり減少傾向となった。ほぼ毎日、長時間のアルバイトを行い、学業への支障が強く懸念される学生の比率は減少傾向にあるといえる。

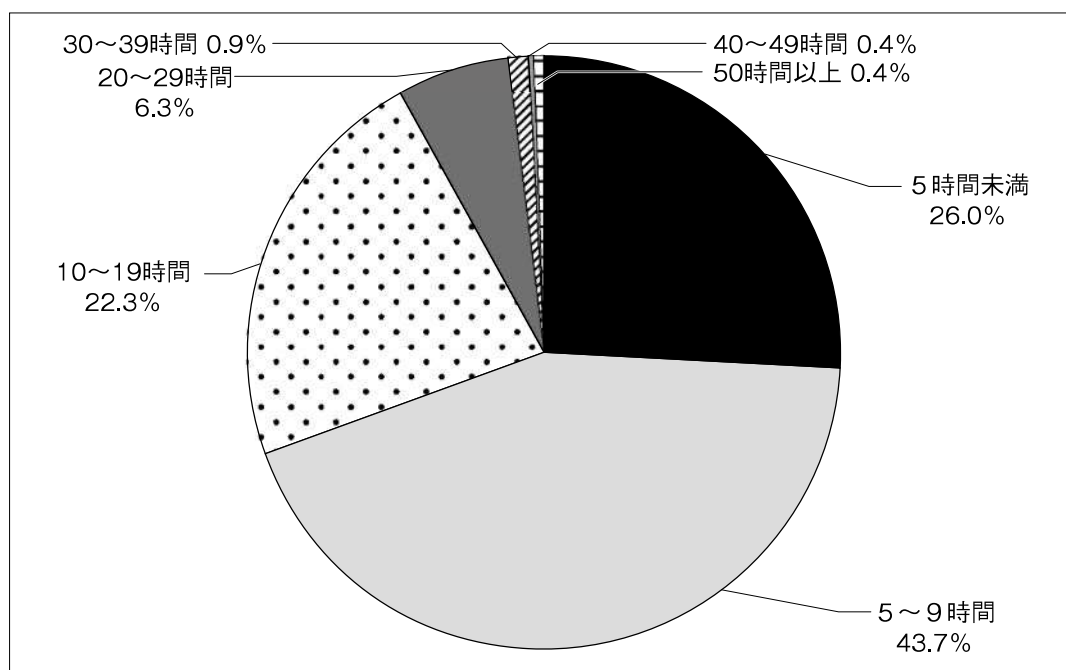


図5-5 アルバイトの1週間の平均就労時間

5-6 アルバイト収入の使途

アルバイト収入の使途（複数回答）をみると、「娯楽レジャー」47.3%、「衣食住」43.6%が特に多く、次に「預貯金」21.2%となっている。平成26年度では、「衣食住」53.2%、「娯楽レジャー」48.6%、「預貯金」24.2%となっていた。前回と比較してこれら「衣食住」「娯楽レジャー」「預貯金」への比率は減少傾向にあるが、アルバイト収入の学生の使途の傾向は前回調査と同様であり、アルバイト収入の主な使途はこれら3者、すなわち生活、遊びおよび蓄えであると考えられる。

一方、アルバイト収入の使途として、「授業料」3.6%、「課外活動費」8.4%であり、前回の「授業料」3.7%、「課外活動費」10.5%と比較して、大学での学業の継続や課外活動の参加のためにアルバイトの収入を当てなければならない学生の比率の減少傾向が見受けられた。

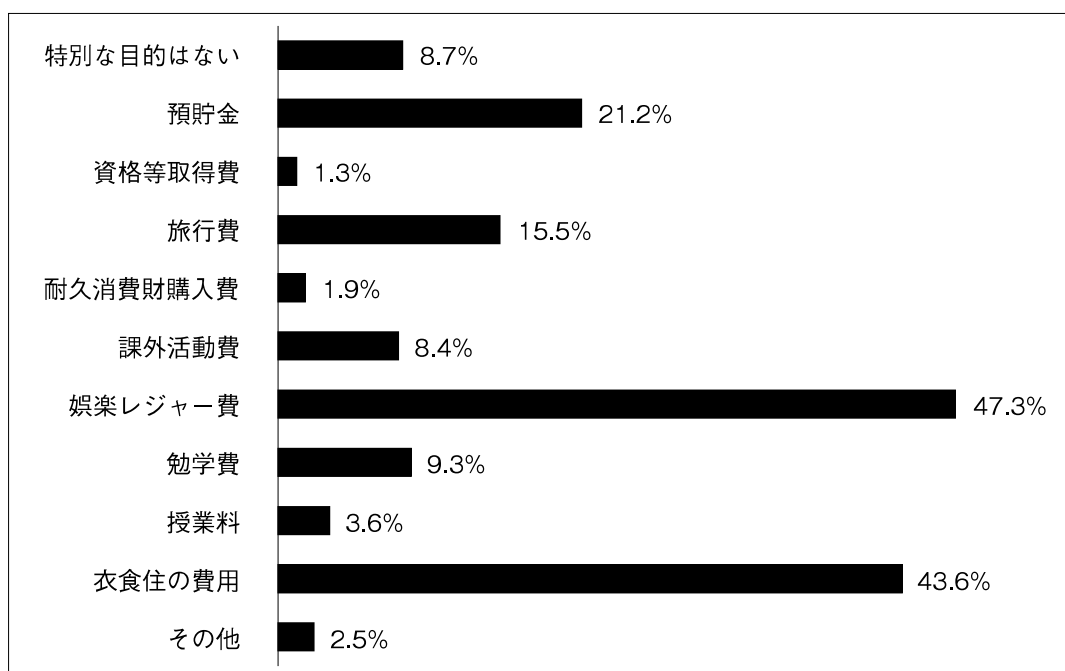


図 5－6 アルバイト収入の使途

5－7 アルバイトと学業

アルバイトと学業との関係では、学業に「ほとんど支障なかった」が最も多くて51.1%であった。これに「学業に役立った」の13.1%を加えると、両者で64.2%であった。今回の回答は、平成26年度（それぞれ63.9%、9.1%）と比較して「学業に役立った」が増加傾向にあった。このことから、6割強の学生がアルバイトと学業を有効に両立させていると考えられる。しかし、28.5%の学生は、学業に「少しは支障があった」と感じている（平成18年度23.2%、平成22年度23.6%、平成26年度20.5%）。これは平成18年度の調査以降、平成30年度が高い数値となっている。さらに、「授業への出席が悪くなった」3.7%（同3.5%、3.2%、2.1%）、「成績が悪くなった」2.2%（同2.1%、1.4%、0.5%）も無視できない割合であり前回調査と比較して増加傾向にある。学業に支障が生じないように、適度なアルバイトの就労日数と就労時間の指導が必要であろう。

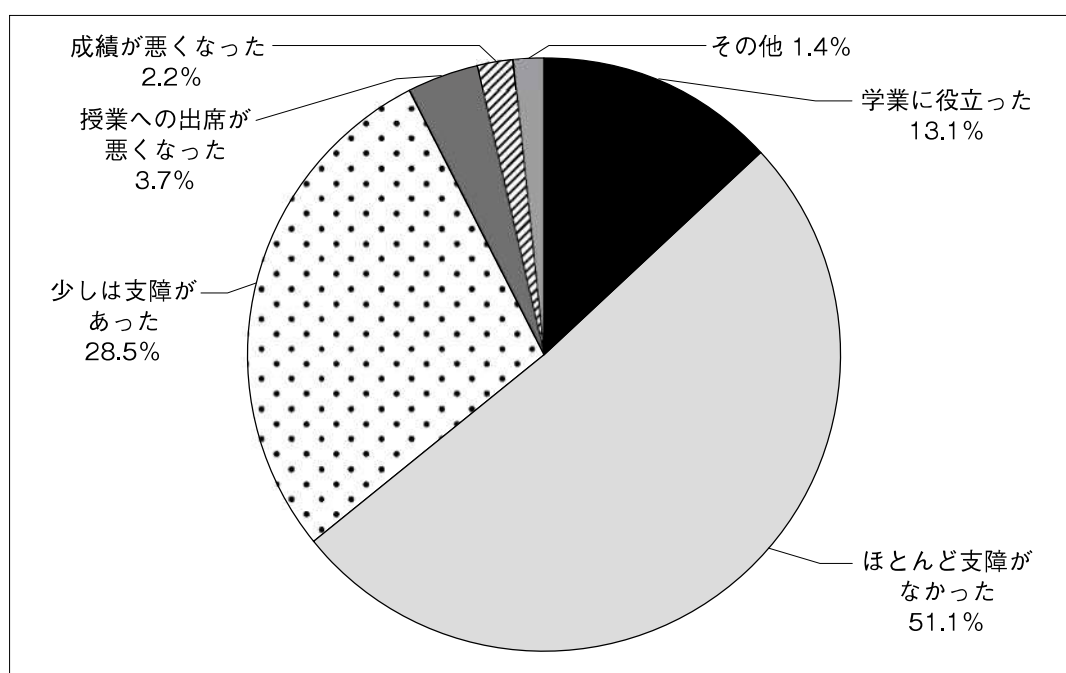


図5-7 アルバイトと学業の関係

第6章 課外活動について

6-1 サークルの加入状況

サークル（部）への加入の有無と加入サークルの種類（複数回答）では、何らかのサークルに加入している学生は69.3%であった。サークルに加入している学生は、平成26年66.7%、平成22年度の64.2%、平成18年度の59.0%、平成14年度の56.7%と推移しており、ここ16年間堅実に増加傾向にある。加入しているサークルとして、「学友会所属の体育系」が28.5%（平成26年度23.1%、平成22年度23.2%）、「学友会所属の文化系」が27.4%（同26.8%、21.6%）と多かった。「学友会以外の学内文化系」は10.0%（同11.6%、7.3%）、「学友会以外の学内体育系」は9.4%（同12.3%、13.2%）であった。体育系と文化系に大きく2分類した場合、体育系が39.7%、文科系が39.5%とほぼ拮抗している状況にある。学外のサークル活動への参加は、体育系と文化系を合わせて3.9%であり、平成26年度（3.8%）と同様に少数であった。さらに、「学内外のサークルに加入していない」は30.7%であり、平成26年度の33.3%から減少傾向にあり、何らかのサークルに加入する比率が増加している。

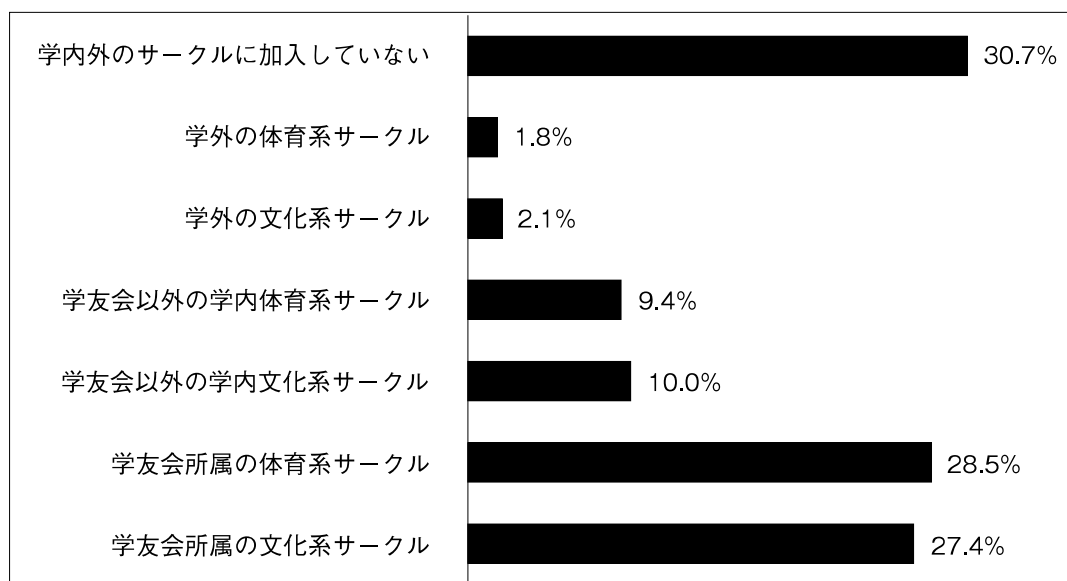


図6-1 サークルの加入状況

6-2 サークルに加入した理由

サークルに加入した理由（複数回答）では、「活動内容が好きだから」が66.9%と最も多く、次いで「友人を得るため」が35.6%と多かった。この2者の順位は、平成26年度とほぼ同様だったが、選択の比率では「活動内容が好きだから」においてかなりの減少傾向がみられた。「団体活動に興味がある」は16.1%であり、2016年度の8.9%からかなりの増加があった。このほかには、「特技向上のため」、「健康増進のため」、「知識・教養を得るため」、「レクリエーションとして」がそれぞれ6～8%台であった。

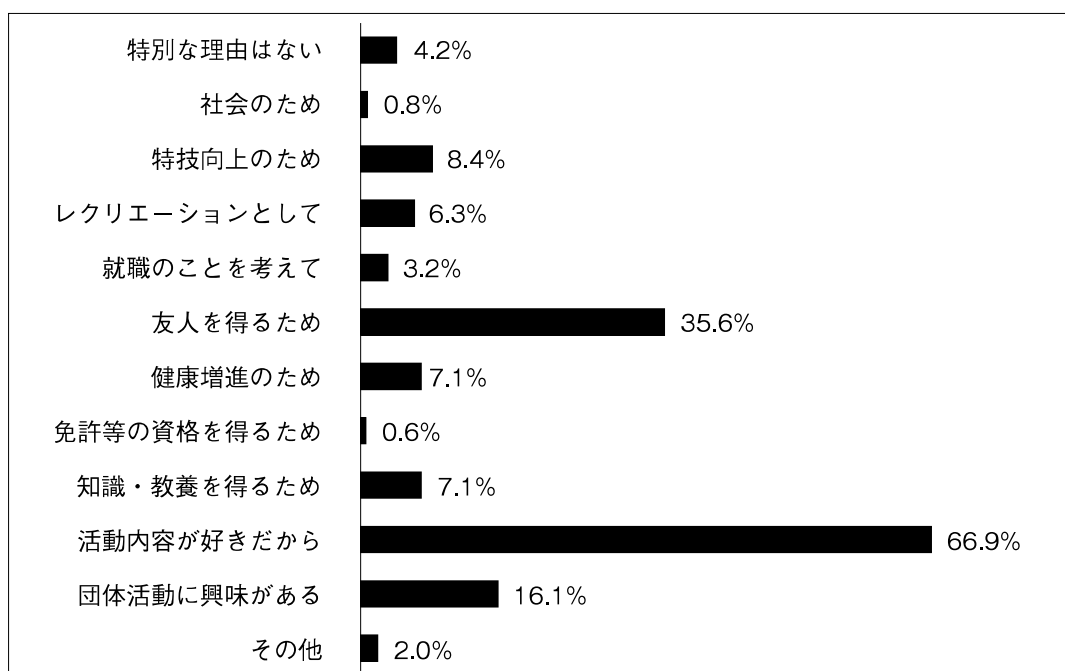


図6－2 サークルの加入理由

6－3 サークル活動と学業

サークル活動と学業の関係について、「学業に影響ない」が60.7%と過半数を占め、次いで「学業を少し犠牲」が25.5%と多かった。今回の順位と割合は、平成26年度（それぞれ57.7%、23.8%）とほぼ同様であるといえる。「学業を少し犠牲」と「学業をかなり犠牲」を合わせると28.6%であり、四分の一強の学生が学業への何らかの犠牲を感じている。一方、平成30年度の「学業に影響ない」、「学業にプラス」、「学業にかなりプラス」を合わせると71.4%であり、平成26年度の73.4%と同様の傾向を示している。サークルに参加している学生の大半は、サークル活動と学業を両立させていると思われる。

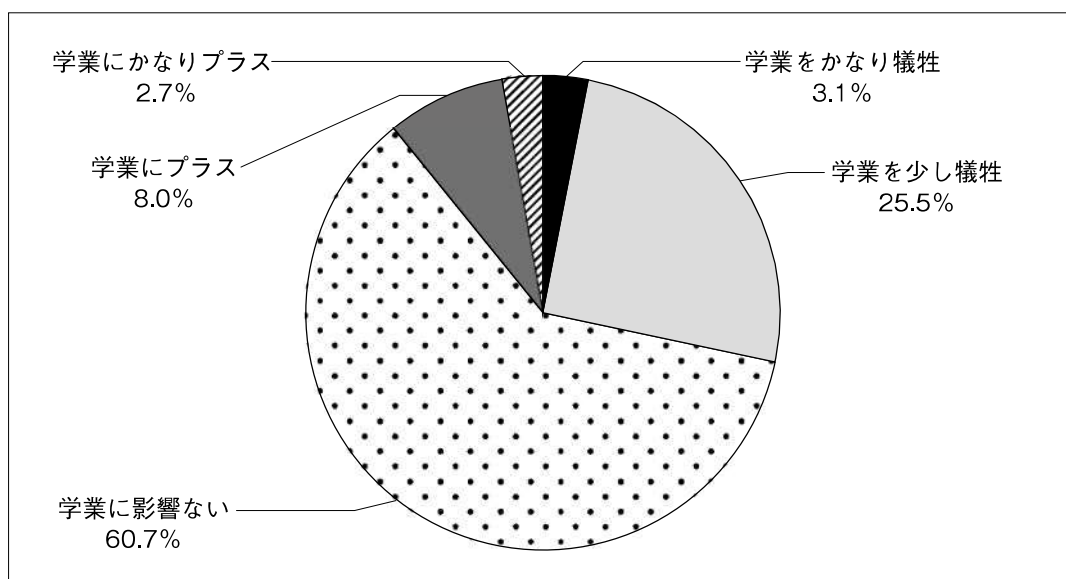


図6-3 サークル活動と学業の関係

6-4 サークル活動の日数と時間

学生がサークル活動している1週間当たりの平均2.6日であった。1週間当たりの平均日数は、「1～2日」が56.9%と最も多く、次いで「3～4日」が35.3%、「5～7日」が7.8%であった。1週間に4日以内のサークル活動が92.2%であり9割を超える結果となった。一方、約10%弱の学生は、ほぼ毎日サークル活動をしているが、これらの学生におけるサークル活動と学業との関係は明らかではない。また、回答欄に1日未満がないため、サークルに加入しながら、ほとんど活動していない学生も1～2日に含まれているものと思われる。

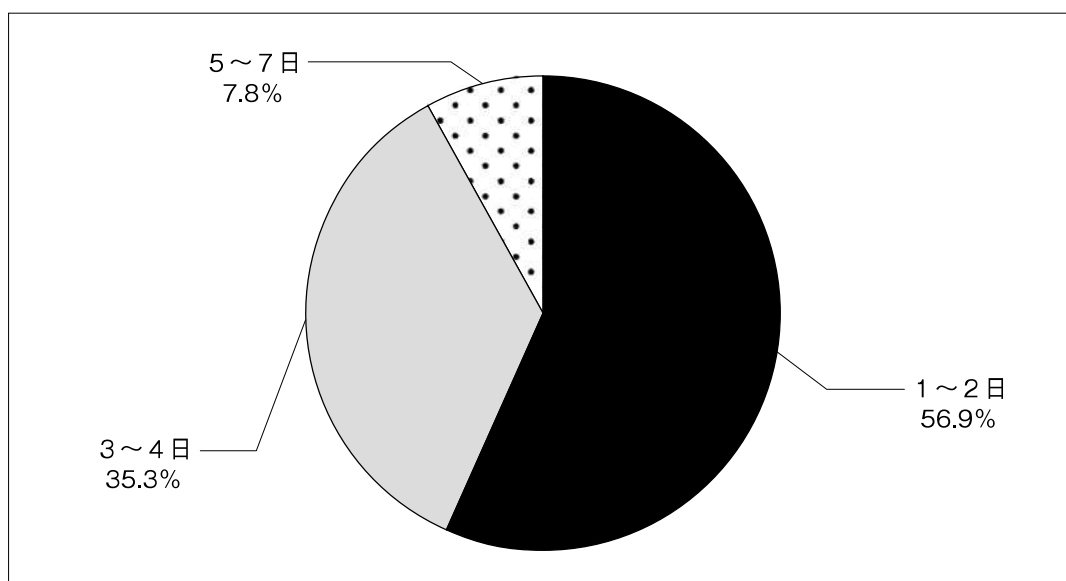


図6-4-1 サークル活動の1週間当たりの平均日数

学生がサークル活動している1週間当たりの平均時間は5.2時間であった。平成26年度5.5時間、平成22年度には5.7時間、平成18年度には6.2時間、平成14年度には6.7時間であったことから、サークル活動の時間は減少する傾向にあった。1週間当たりの平均時間は、「3～4時間」が32.5%と最も多く、次いで「1～2時間」が30.3%、「5～7時間」が16.3%であった。平成26年度は、「3～4時間」が32.0%、「1～2時間」が29.3%、「5～7時間」が15.4%であった。1週間に10時間以内のサークル活動が91.6%であり、平成26年度（90.5%）とほぼ同様であった。平成26年度と同様に、約3%の学生は週に20時間以上のサークル活動をしているが、これらの学生におけるサークル活動と学業との関係は明らかではない。また、サークルに加入しながら、ほとんど活動していない学生が約2%（平成26年度は3.8%）みられた。

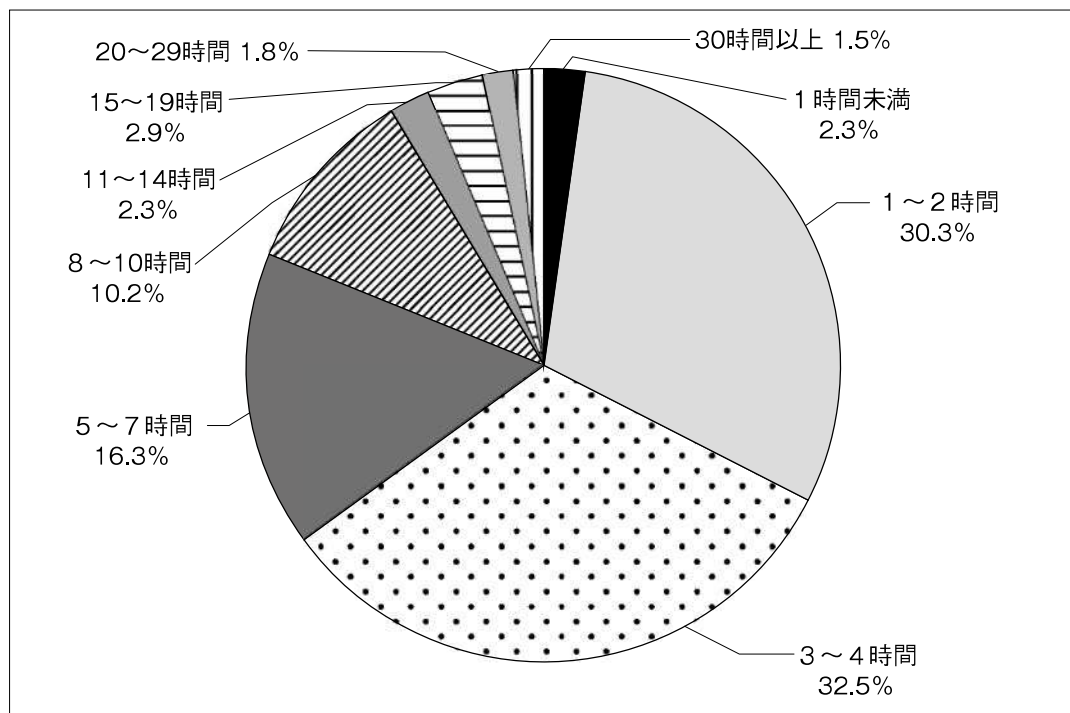


図6-4-2 サークル活動の1週間当たりの平均時間

6-5 課外活動施設の満足度

課外活動を行う施設の満足度では、「満足している」が46.2%、「どちらかといえば満足している」が29.1%であり、この両者を合計すると75.3%と7割を超えていた。平成26年度には、「満足」が27.6%、「非常に満足」が41.7%であり、合計が69.3%であり、平成22年度には、「満足」が36.7%、「非常に満足」が16.0%、合計が52.7%であり、平成18年度には、「満足」が31%、「非常に満足」が14%、合計が45%であった。今回から尺度に変更があったが、課外活動を行う施設への満足度は調査を追うごとに増加しているといえる。また、今回の「どちらかというとも満足していない」は5.4%、「満足していない」は3.5%、合計は8.9%であった。平成26年度には、「不満」は5.7%、「非常に不満」は3.0%、合計は8.7%であり、平成22年度には、「不満」は8.9%、「非常に不満」は2.3%、合計は11.2%であり、平成18年度には、「不満」は17%、「非常に不満」は7%、合計は24%であった。このことから、課外活動を行う施設への満足度は、前回の平成26年度調査と同様の水準にあるといえる。

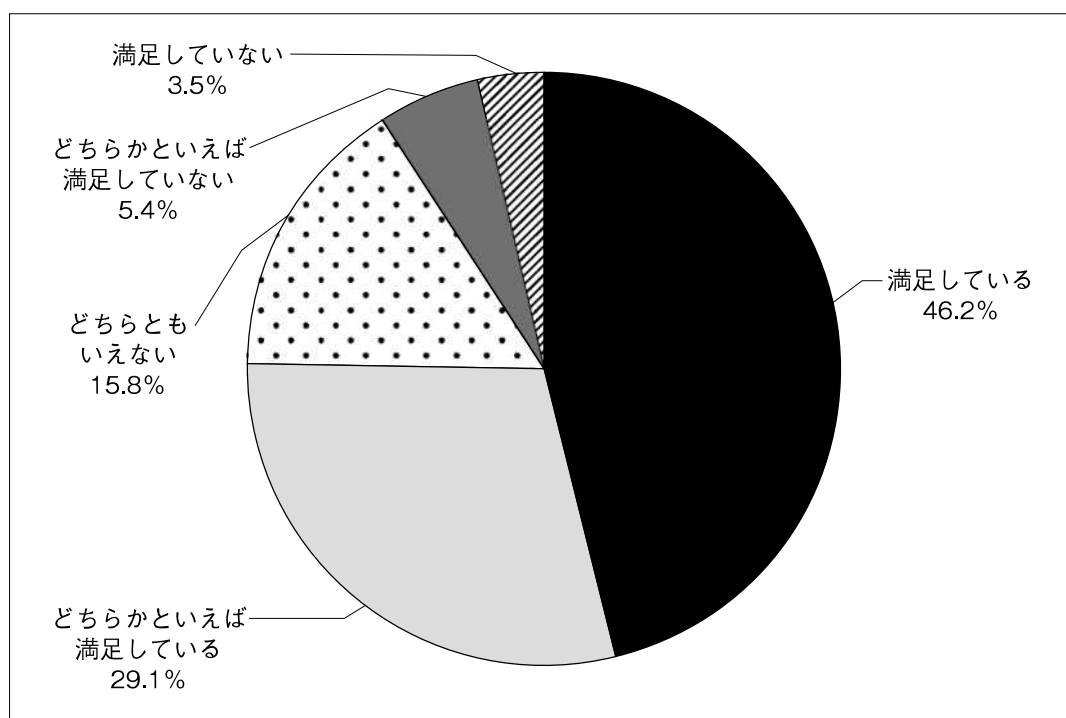


図6－5 課外活動施設の満足度

6－6 サークルに加入していない理由

サークルに加入していない理由（複数回答）として、「特別な理由がない」が26.8%、「拘束されたくない」が21.1%、「興味のあるサークルがない」が19.2%、「時間がない」18.3%の順となっており、サークル加入への魅力が低下すると同時に自由な時間を志向する学生が増加していると考えられる。また平成30年度調査で最も回答率の高かった「特別な理由はない」26.8%は、平成26年度（19.1%）、平成22年度（15.5%）であった。一方、「経済的な理由」で加入していない学生が平成30年度（5.4%）、平成26年度（5.6%）と、ほぼ同水準の存在が認められた。

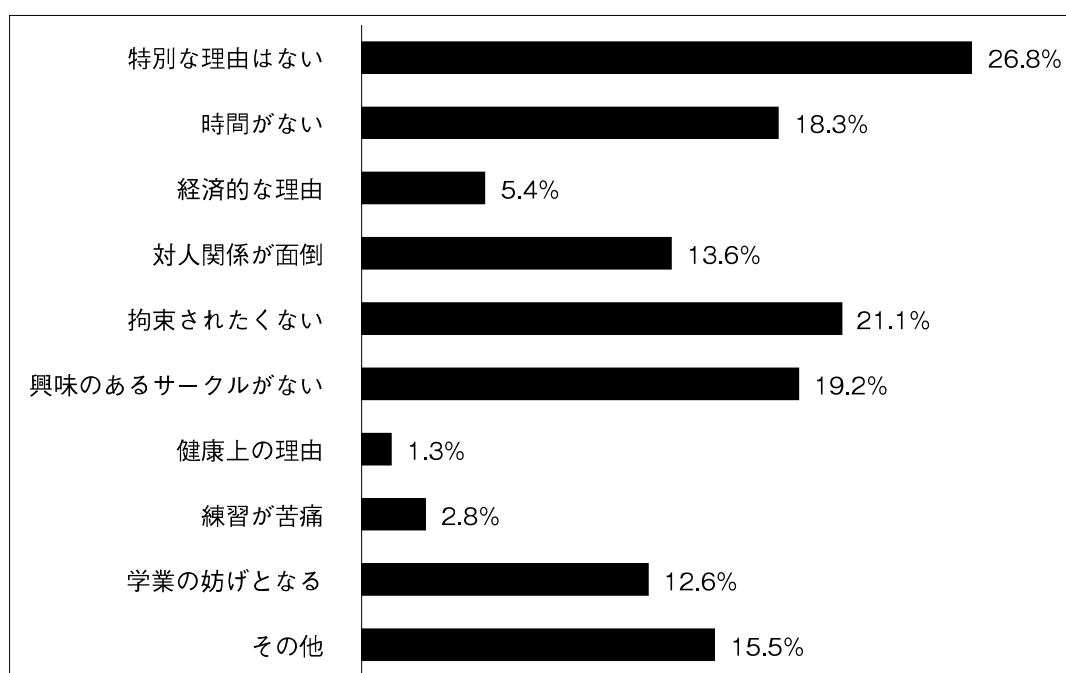


図6-6 サークル活動に参加していない理由

第7章 健康・悩みについて

7-1 喫煙と使用しているタバコの種類

図7-1に示すように、「紙タバコや加熱式タバコ・電子タバコを喫煙していますか？」との設問に対して、「喫煙していない」が96%を占め、喫煙率4%と低かった。喫煙者では、使用しているタバコの種類について「紙タバコのみ」は2%で、「加熱式タバコ・電子タバコのみ」は1%、両者の併用は1%であり、近年販売が開始された加熱式タバコ・電子タバコの使用率が高くなっていると考えられた。

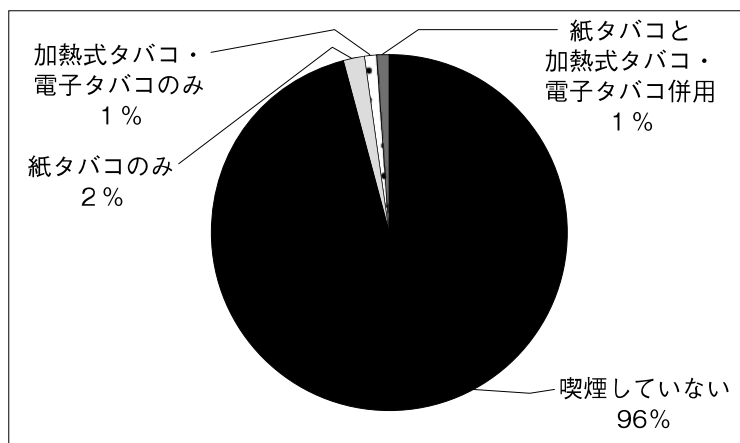


図7-1 喫煙と使用しているタバコの種類

7-2 大学の敷地内での受動喫煙

図7-2に示すように、「1年以内に大学の敷地内で受動喫煙を受けたことがありますか？」の問いに対し、「ない」と答えたのは62%で、受動喫煙を受けたことがあるのは38%であった。受動喫煙を受けた場所についても、建物外31%、建物内7%であり、建物外のみならず、建物内での喫煙による学生の受動喫煙の実態が明らかになった。

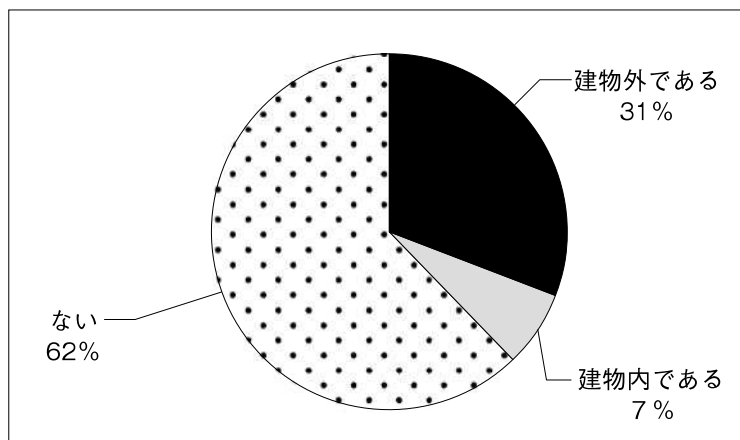


図7-2 大学の敷地内での受動喫煙

7-3 飲酒頻度

図7-3に示すように、「どのくらいの頻度でお酒を飲みますか？」との設問に対して、「ほぼ毎日」と答えたのは1%であった。「週に3～5日」も3%で、残りの96%は週に2日以下の飲酒頻度であった。今回は飲酒量については調査していないが、頻度だけでみると学生の飲酒は多くないと考えられた。

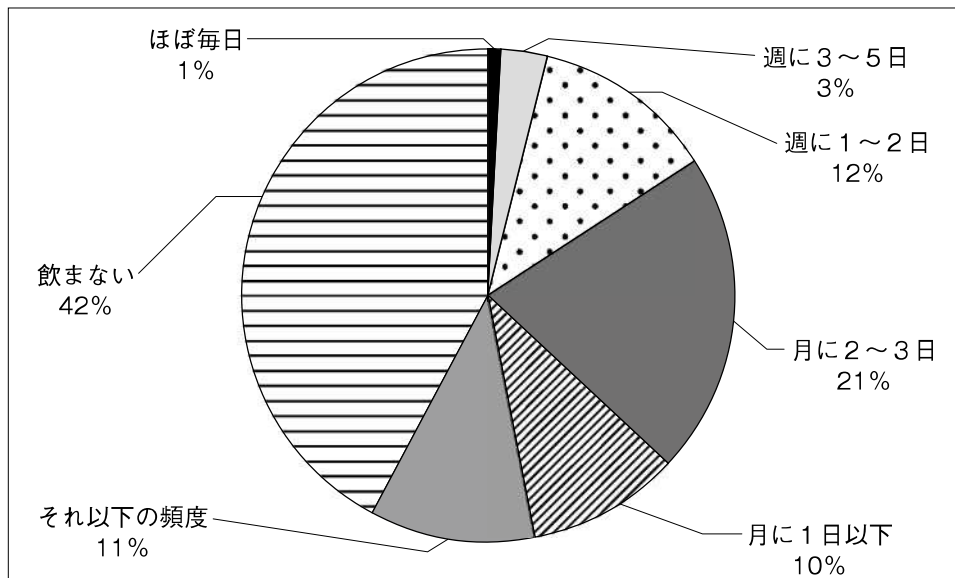


図7-3 飲酒頻度

7-4 アルコールの一气飲みの強要

図7-4に示すように、「アルコールの一气飲みを強要（アルコールを飲めない場合を含む）されたことがありますか？」との設問に対して、「ある」と答えたのは7%であった。「どちらともいえない」と併せると15%となり、少なからずアルコールの一气飲みを強要される場面があることが考えられた。

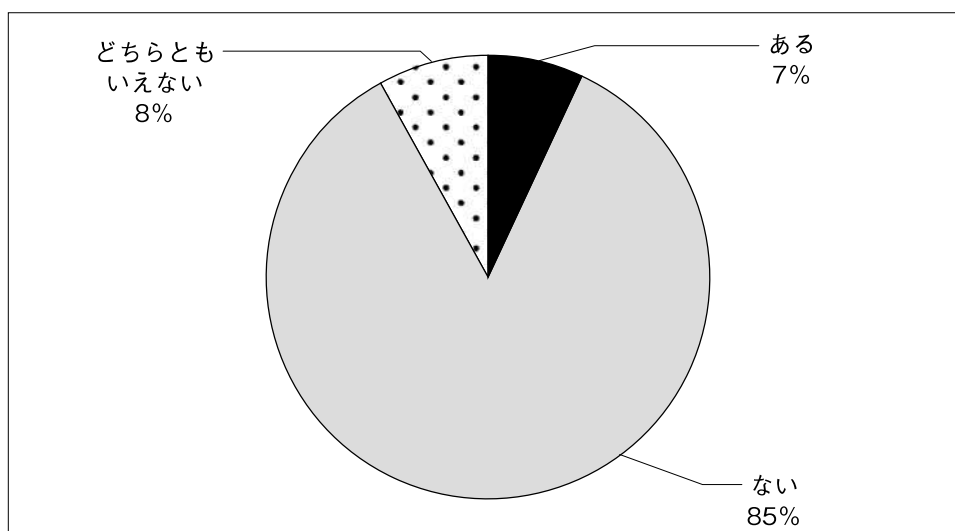


図7-4 アルコールの一气飲みの強要

7-5 悩み

「現在悩んでいることがありますか」の問いには、図7-5に見られるように、「ある」が41%という結果であり、4割程度の学生が何らかの悩みを抱えていることがわかった。

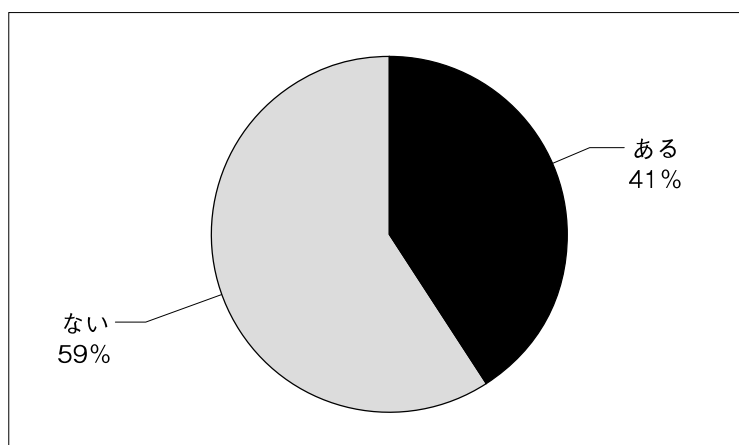


図7-5 現在悩んでいることはありますか。

悩みの原因（複数回答、3つまで）では、図7-6に見られるように、「将来の進路のこと」が251名（25.7%）と最も多かった。次に多かったのは「勉強上のこと」であり、233名（23.8%）であった。それ以外の原因では、「経済的なこと」、「自分の性格のこと」の順で多かった。「セクハラ」、「アカハラ」による悩みは各3名（0.3%）、6名（0.6%）であった。

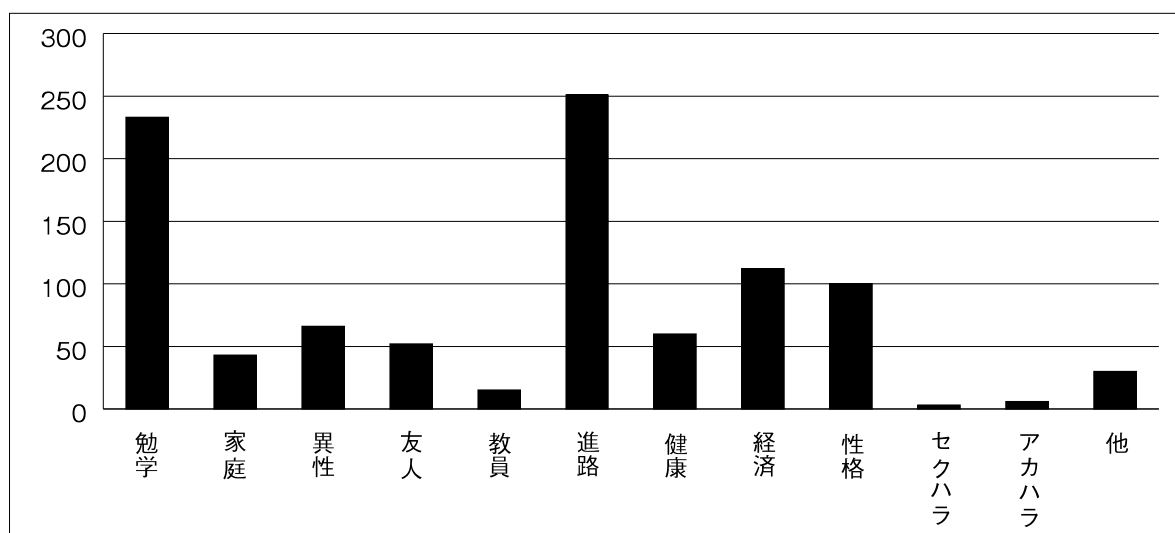


図7-6 悩みの原因（複数回答、3つまで）

勉強：勉強上のこと 家庭：家庭のこと 異性：異性関係のこと 友人：友人のこと
 教員：指導教員との関係 進路：将来の進路のこと 健康：健康上のこと
 経済：経済的なこと 性格：自分の性格のこと セクハラ：セクシャル・ハラスメント
 アカハラ：アカデミック・ハラスメント 他：その他

これら悩みの解消方法（複数回答、2つまで）としては、図7-7に見られるように、「先輩・友人等に相談」と「自分一人で解決するように努力」が圧倒的に多く、次いで「家族に相談」であったが、「解決方法がわからない」とする回答も1割弱みられた。一方で、「学生相談窓口」、「学生相談ルーム」、「保健管理センター」あるいは「教員」に相談するものは合わせて僅か4.1%しかいなかった。解決方法がわからないので困っていると想定されるために、大学の相談機能をさらに周知すること、より利用しやすい環境作りをすることが必要と考えられる。

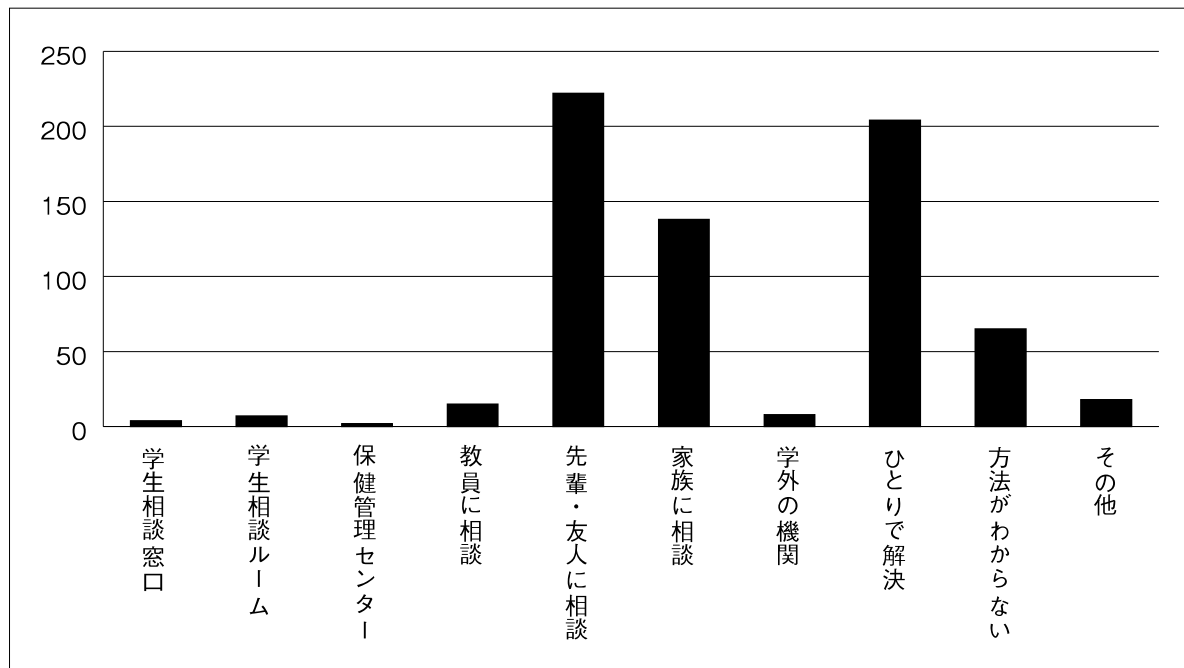


図7-7 悩みの解消法（%）（複数回答、2つまで）

学生相談窓口：学生なんでも相談窓口 ひとりで解決：自分ひとりで解決するよう努力する
方法がわからない：解消方法がわからない

次に、「セクハラ」または「アカハラ」を受けたことがある者の比率は表7-1に見られるように、42名（4.1%）であった。

さらに「セクハラ」又は「アカハラ」を誰から受けたか（複数回答、2つまで）についてみると、表7-2に見られるように、教員が22名（36.1%）と最も多く、事務職員も3名（4.9%）と少数ながら存在し、ハラスメント対策の必要性が再確認できた。一方で、サークル仲間や友人からのハラスメントを経験している学生も存在していた。

学生なんでも相談窓口でハラスメントの相談ができることを知っている学生は、図7-8に見られるように、467名（45%）に留まった。学生なんでも相談窓口がハラスメントの相談先として十分に周知されていない現状が明らかとなり、更なる周知の必要性が示唆された。

表7－1 セクハラ、アカハラの経験

	ある	ない
人数（％）	42（4.1％）	991（95.9％）

表7－2 セクハラ、アカハラの加害者（％）（複数回答、2つまで）

加害者	人数（％）
教員	22（36.1％）
事務職員	3（4.9％）
研究室仲間	0（0％）
サークル仲間	4（6.6％）
同級生・先輩	3（4.9％）
友人	3（4.9％）
家族・親戚	4（6.6％）
その他	22（36.1％）

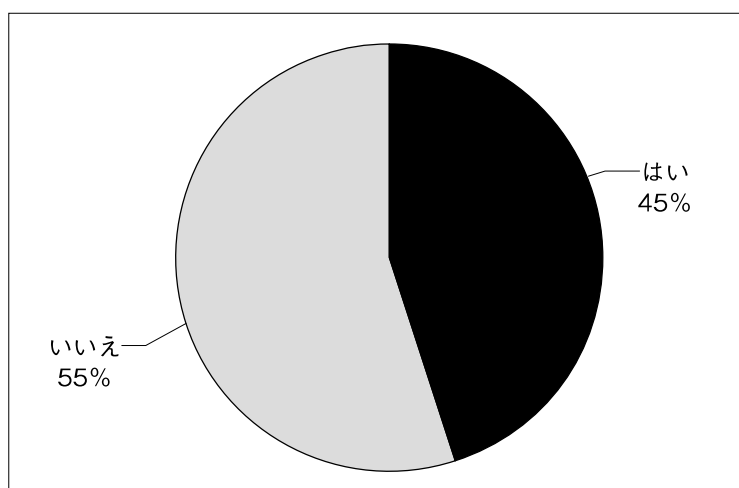


図7－8 学生なんでも相談窓口でハラスメントの相談ができることを知っているか

7-6 悪徳商法や詐欺被害

悪徳商法や詐欺被害の被害は、図7-9に見られるように、36名（3.5%）であった。また、悪徳商法や詐欺被害にあった後の対応は、図7-10に見られるように、「家族に相談した」（33%）、「友人・先輩に相談した」（26%）、「誰にも相談しなかった」（16%）の順に多く、学内の相談窓口相談した学生はいなかった。悩みに対して役立つと学生から思ってもらえる相談窓口たり得る方策が必要であると考えられる。

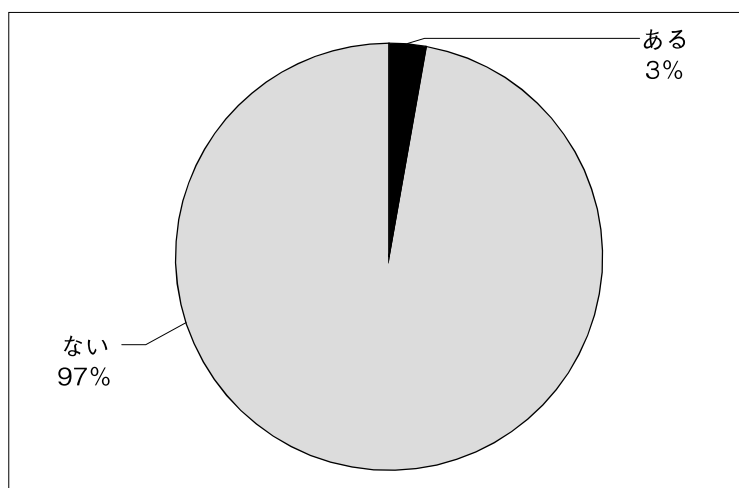


図7-9 悪徳商法や詐欺被害の経験 (%)

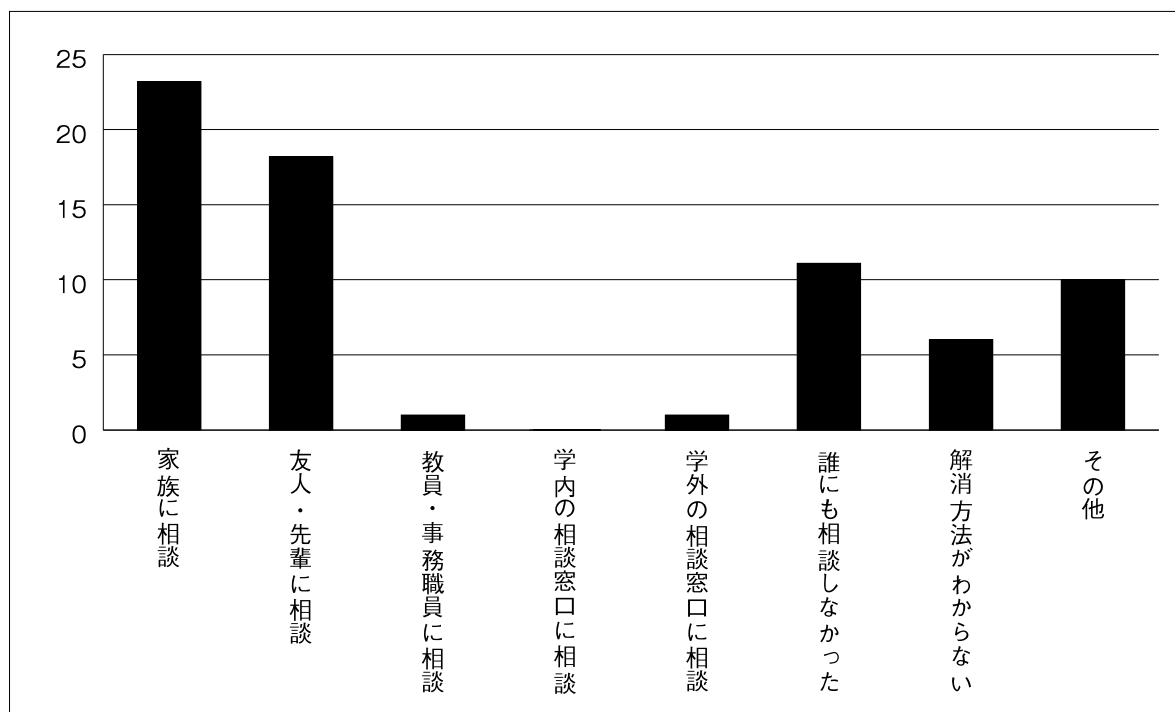


図7-10 悪徳商法や詐欺被害の後の対応 (%)

第8章 大学生活について

8-1 新潟大学と所属する学部・研究科の教育理念・教育目標

67%および60%の学生が、新潟大学および所属学部・研究科の教育理念を知らない、と回答した。この割合は26年度から若干であるが減少した。教育理念の理解への取り組みがあまり効果を上げていないことが示された。学部別で比較すると、新潟大学の教育理念を知っている、と回答した割合は歯学部が最も高かった。学部の教育理念を知っていると回答した割合は、歯学部が最多で、続いて創生学部、医学部（医学科）の順に高かった。教育理念の理解に対する各学部間の取り組みの違いが示された。今後、学部間の情報交換が重要である。

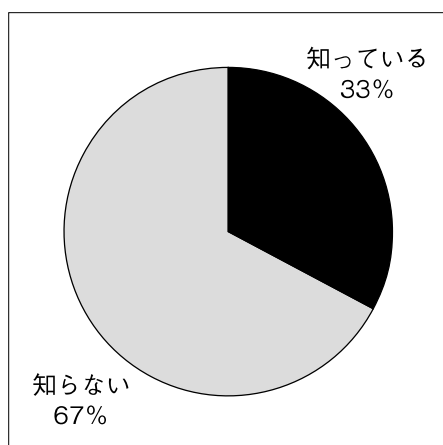


図8-1-ℓ 新潟大学の教育理念・教育目標（H30年度）

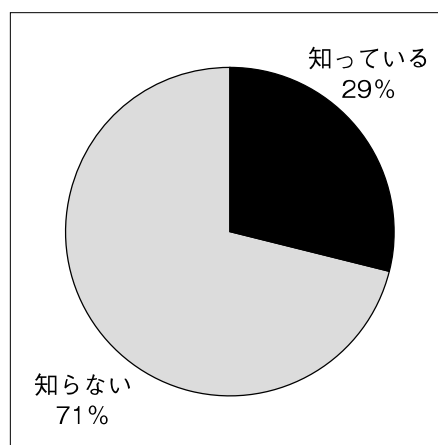


図8-1-ℓ 新潟大学の教育理念・教育目標（H26年度）

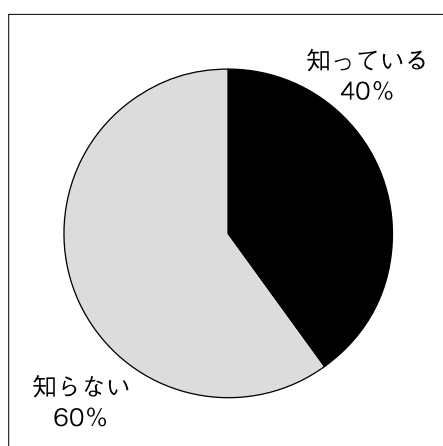


図8-1-I 所属学部・研究科の教育理念・教育目標（H30年度）

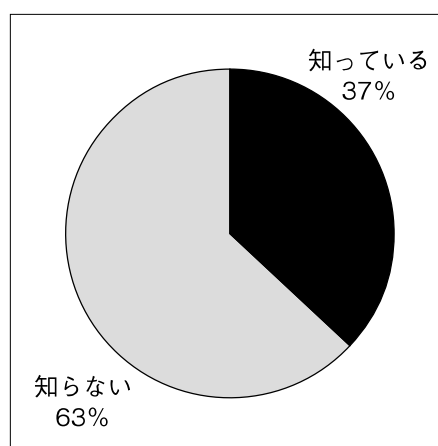


図8-1-Ⅱ 所属学部・研究科の教育理念・教育目標（H26年度）

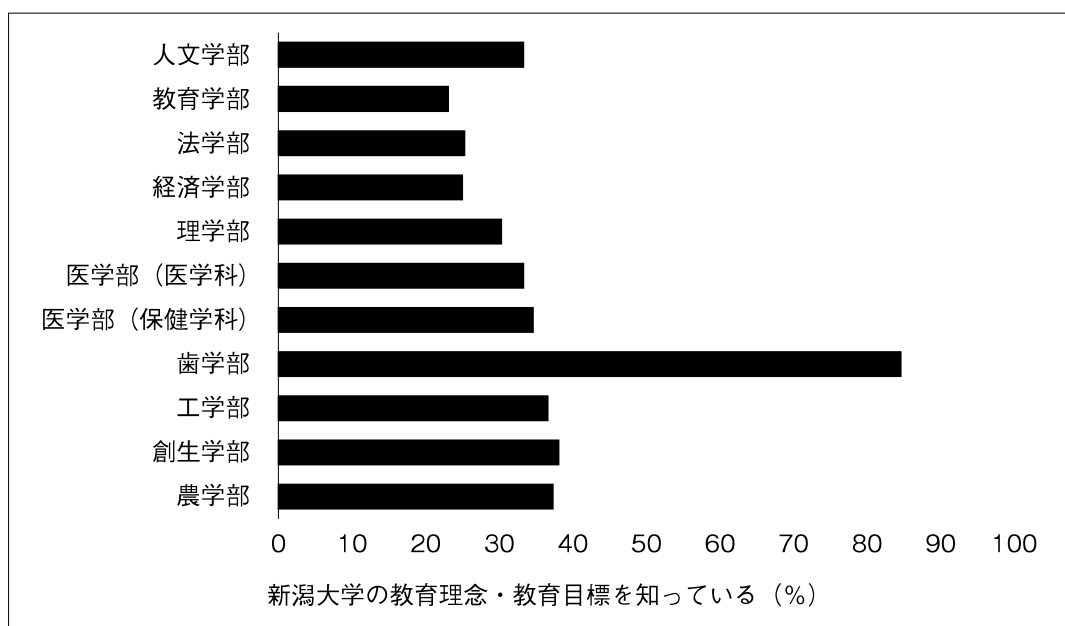


図8－1－㉔ 新潟大学の教育理念・教育目標を知っているか（H30年度）

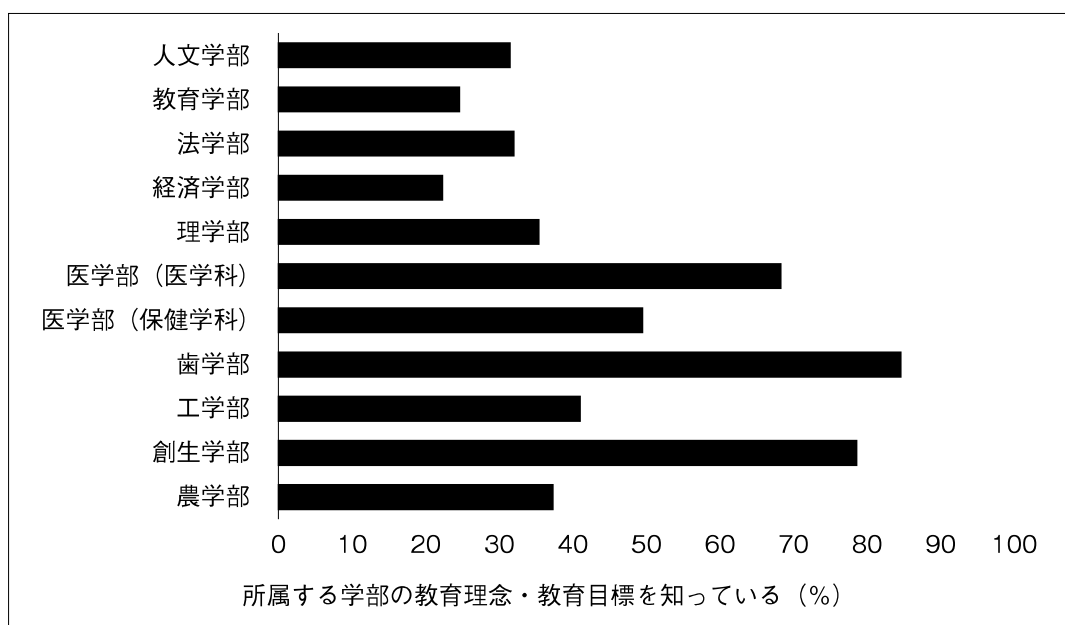


図8－1－㉕ 所属する学部の教育理念・教育目標を知っているか（H30年度）

8－2 登校日数

登校日数は、週5日が約64%であった。一方で、登校日数が週0、1、2、3である学生が、それぞれ0.7、1.5、3.2、5.4%もいた。学外での実習などが含まれていると思われるが、理由の精査が必要である。一方で、登校日数が週7日および6日の学生は2.2と5.5%であった。

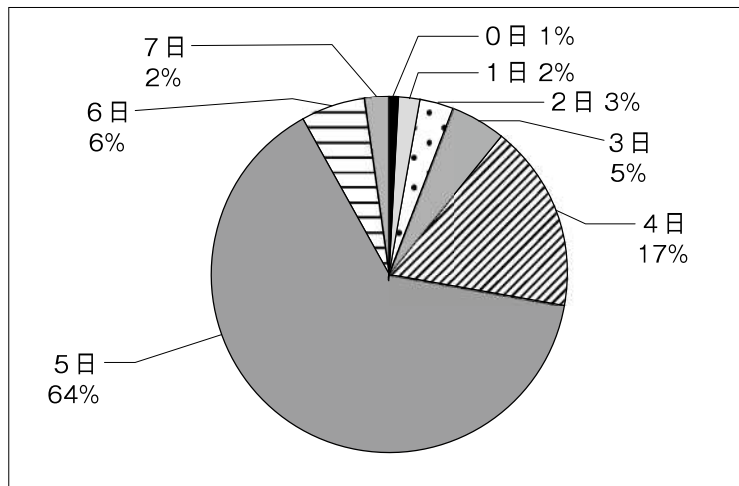


図8-2-㉔ 大学に登校する日数（H30年度）

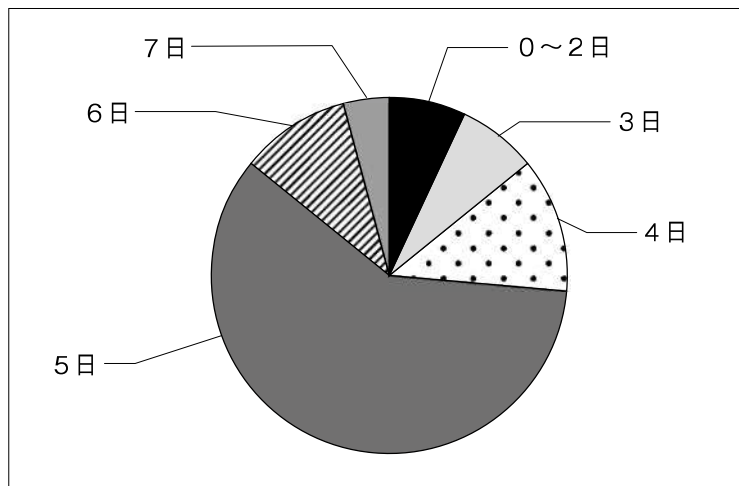


図8-2-㉕ 大学に登校する日数（H26年度）

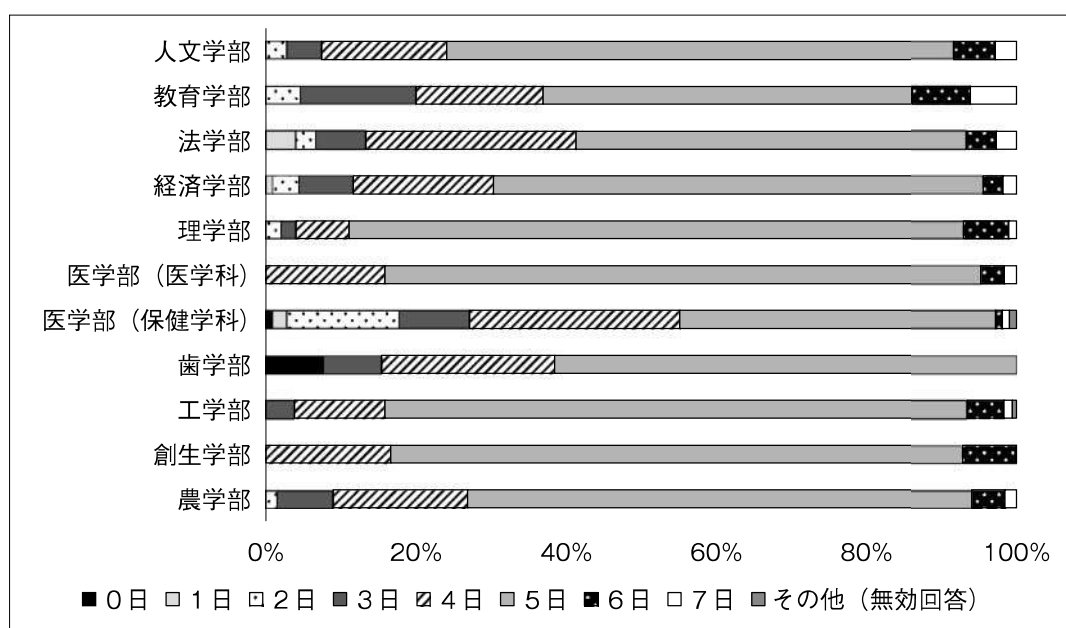


図8－2－I 大学に登校する日数（H30年度）

8－3 自習時間

1日の授業以外の平均自習時間は、「30分－1時間未満」が19.2%、「1時間－2時間未満」が29.4%、「2時間－3時間未満」が17.3%で、これらが学生の約半数を占めた。また、前回調査とほぼ同じ程度の学習時間であった。

2時間以上の自習時間を確保している学生は37%であり、前回調査の46%よりも減少していた。一方で、「ほとんどしない」と「30分未満」の学生は合わせて約14%で、前回調査の10%よりも増加していた。自習時間が大学生としては少ないこと、および自習時間が減少していることが示された。今後社会人になる大学生にとって、自学自習の習慣は極めて重要である。引き続き、教育内容や方法を見直し、能動的な学習を高める工夫が望まれる。

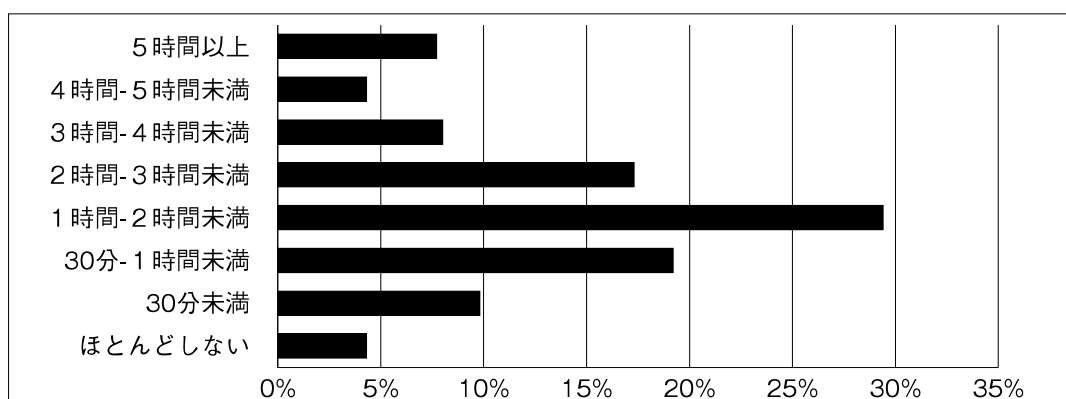


図8-3-e 授業時間以外の自習時間の割合 (%) (H30年度)

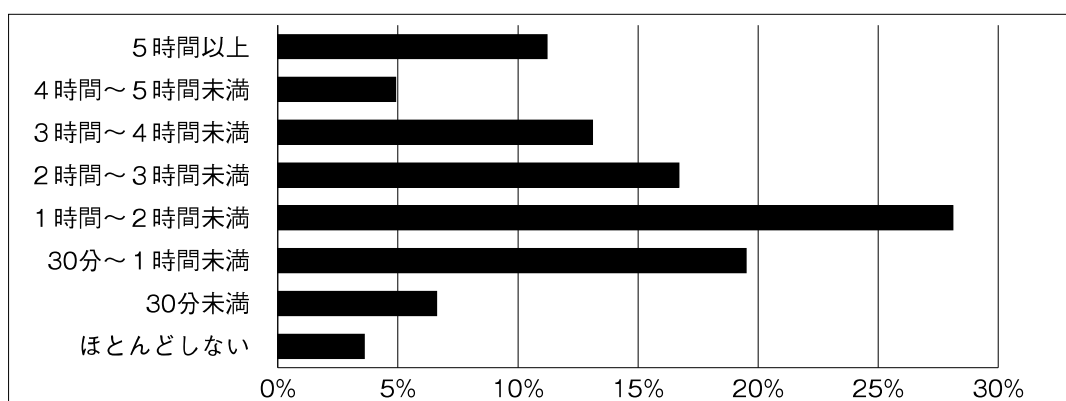


図8-3-e 授業時間以外の自習時間の割合 (%) (H26年度)

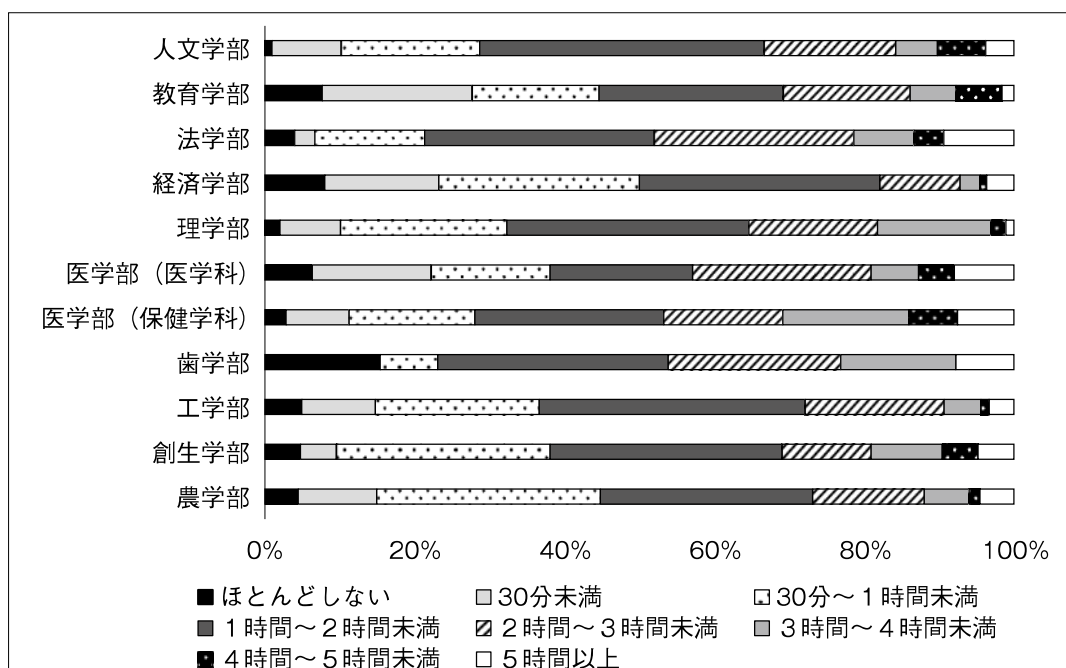


図8-3-I 授業時間以外の自習時間の割合 (%) (H30年度)

8-4 学業以外の過ごし方

学業以外（サークル活動、アルバイトを除く）の過ごし方は、「テレビ・ビデオを見る」、「音楽を聴く」、「ゲームをする」などが多数をしめた。これらの項目には、パソコンだけでなくスマートホンやタブレット端末を利用しているの過ごし方も含まれていると思われる。これらから、屋内での活動が多いこと、および、友人との活動よりも個人での活動が多いことを示している。

「新聞を読む」「娯楽雑誌を読む」を選択した学生は合わせても約1%と少なく、現代では情報のリソースは印刷物からインターネット、特にスマートホンに移り変わってきている。

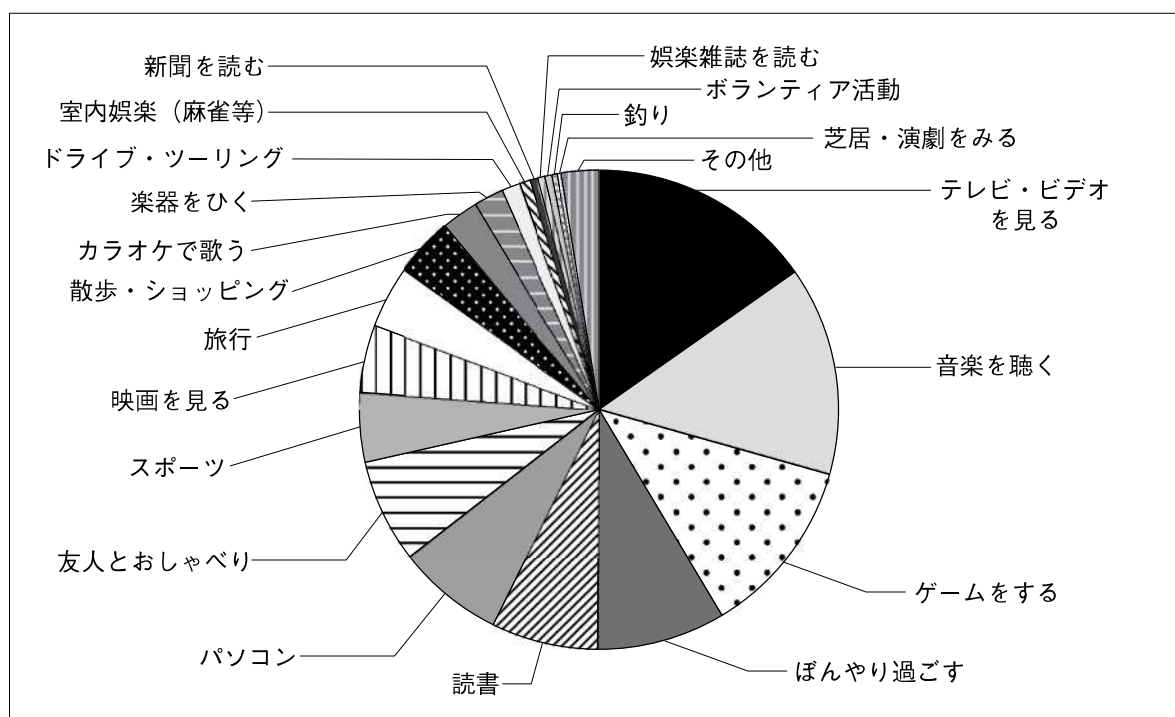


図8-4 学業以外の過ごし方（H30年度）

8-5 ボランティア活動

大学入学後にボランティア活動に参加したことがある学生は23.3%であり、約4分の1の学生がボランティア活動を経験していた。活動分野としては「教育・文化・学術」が最も多く、以下、「社会福祉」「地域振興」「環境保護」が続いた。以前多かった、「災害復興（支援）」は、今回調査では4.1%に減少した。

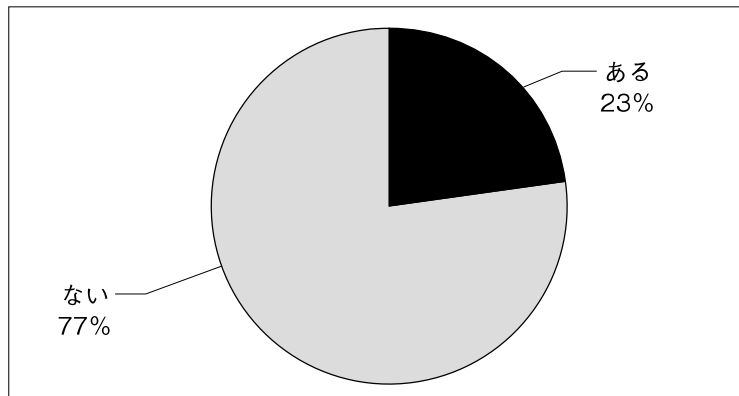


図 8－5－1 大学入学後にボランティア活動に参加した（H30年度）

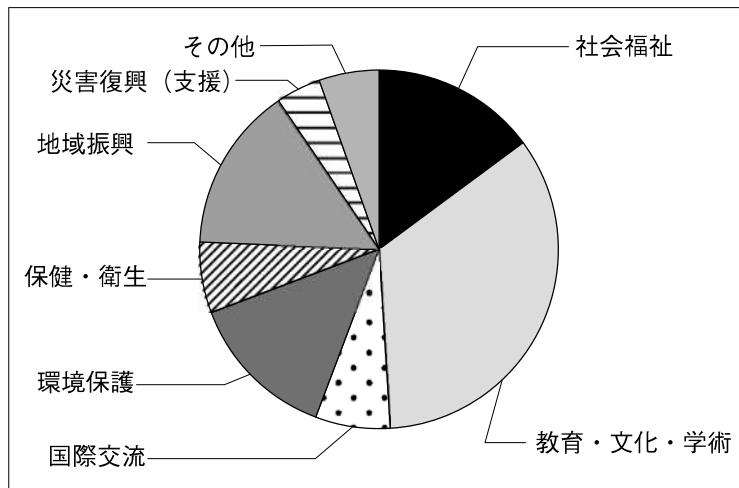


図 8－5－2 ボランティアの活動分野（H30年度）

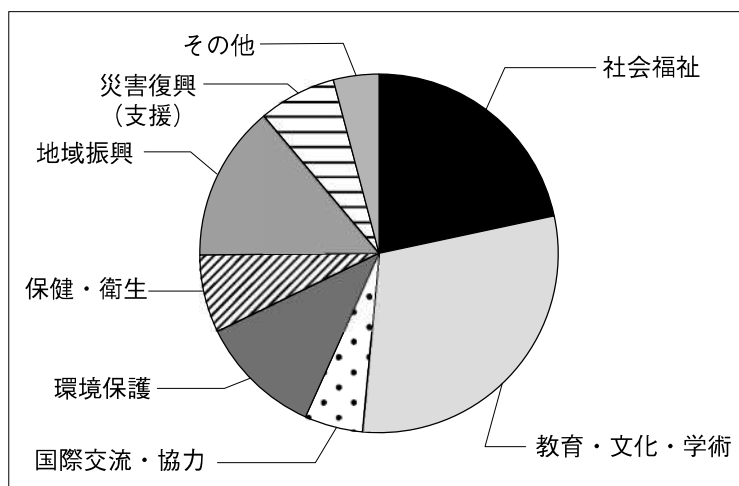


図 8－5－3 ボランティアの活動分野（H26年度）

8-6 海外旅行

大学入学後に海外旅行を経験した学生は16.6%であり、この割合は、26年度の調査と同レベルであった。海外旅行の目的は、「観光」目的が最多（49.1%）で、続いて、「語学研修」、「課外活動」、「学会参加」の順であった。学業に関連した旅行（「語学研修」「課外活動」「6か月間以上の留学」「学術調査」「学会参加」「社会活動」）を行った学生が43.2%であった。

海外旅行の費用については、「父母からの援助」が最多（39.3%）で、続いて「アルバイトによる収入」「そのための貯金」で、これらの3つで、83.2%を占めた。国際的な視野が求められる現代では、学生に海外での経験を積ませることには大きな意義がある。大学院生はもとより、学部生に対しても、大学が費用を含めた積極的な取り組みを果たすことが期待される。アンケート項目として、カリキュラムに組み込まれた留学の割合を調べる必要がある。

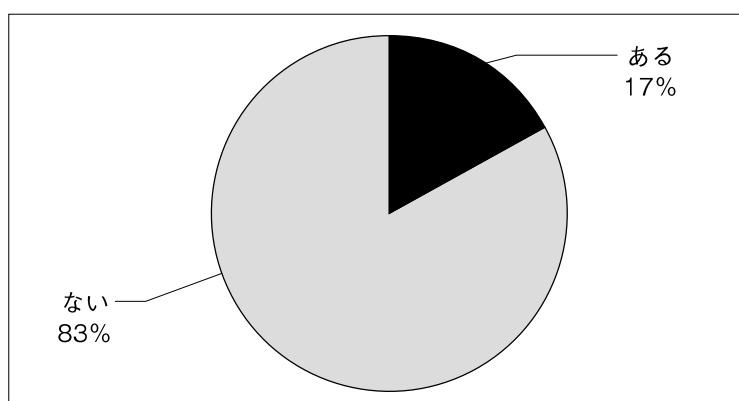


図8-6-④ 大学入学後における外国旅行の有無

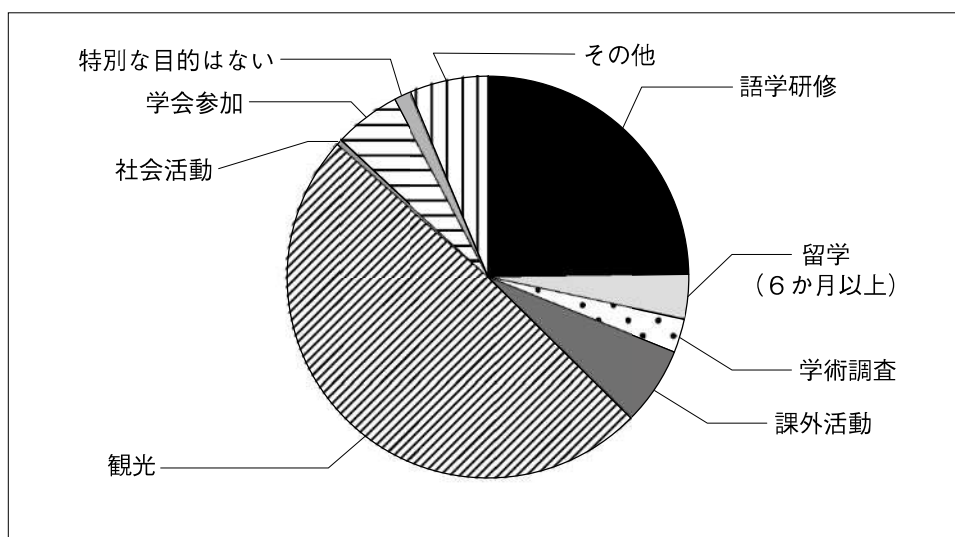


図8-6-e 外国旅行の目的 (H30年度)

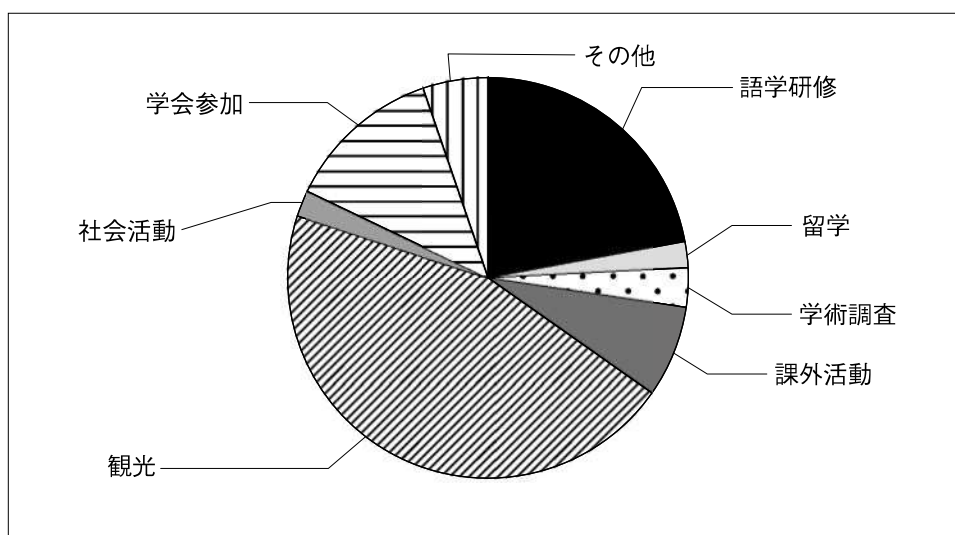


図8-6-I 外国旅行の目的 (H26年度)

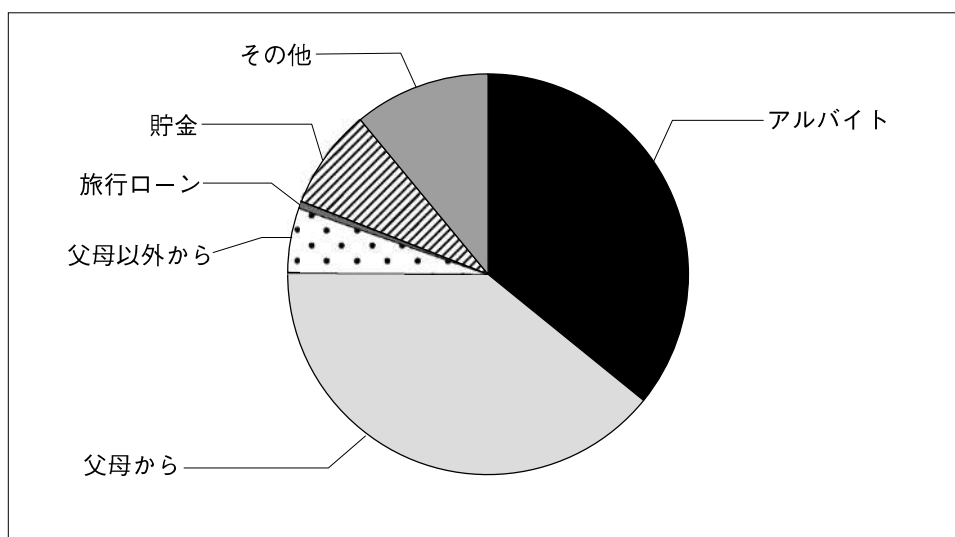


図 8-6-Ⅱ 外国旅行の費用 (H30年度)

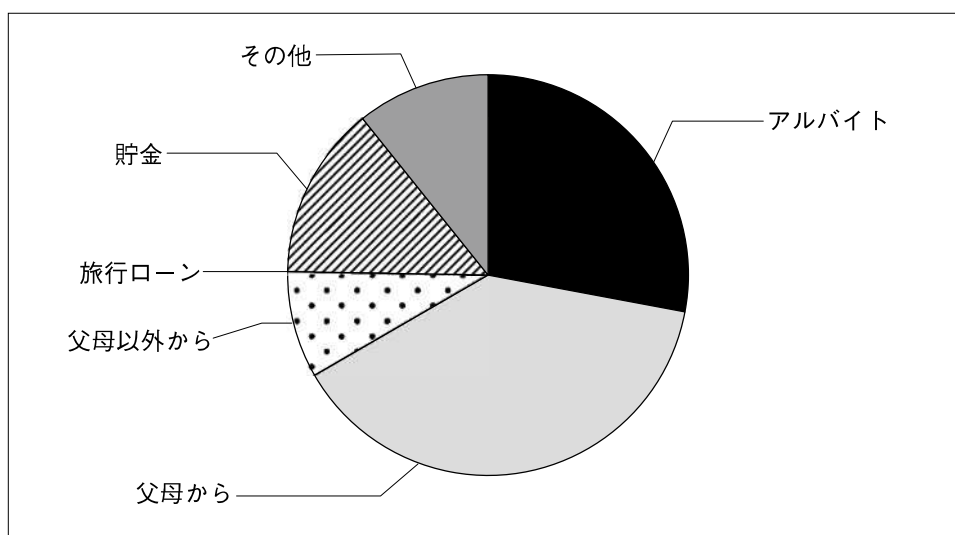


図 8-6-Ⅱ 外国旅行の費用 (H26年度)

8-7 読書

読書（漫画、雑誌を除く）は、1か月に「1～4冊」が62.5%で、全体の3分の2を占めた。「その他」と回答した学生が29.6%で、この回答は、恐らく1か月に1冊も読書をしない学生の割合と推定される。一方で「10冊以上」の学生が1.5%いた。この割合は、平成26年度の3.8%から減少している。以上の結果は、学生の活字離れを示している。一方で、漫画、雑誌を読む学生がかなりいることが予想される。教養に関連した漫画、雑誌もあることから、次回アンケートでは、教養あるいは専門に関連した漫画、雑誌などの読書数も調べる必要がある。また、設問項目の「その他」は「0冊」にした方が現状を把握しやすいのではないだろうか？

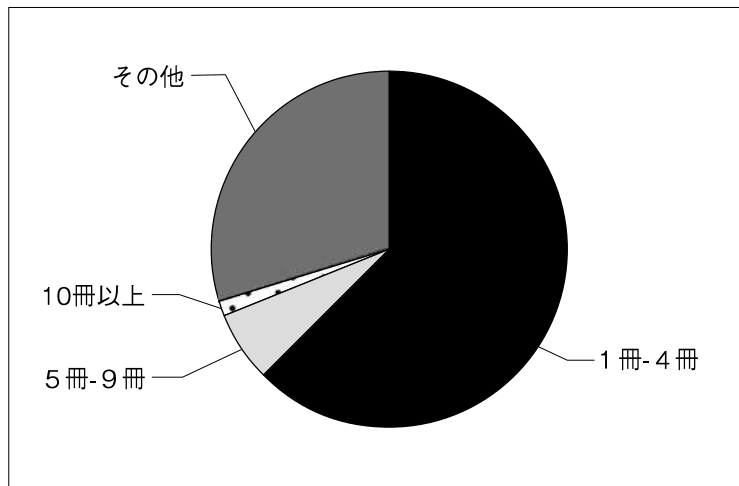


図8-7-㊦ 1か月の読書量 (H30年度)

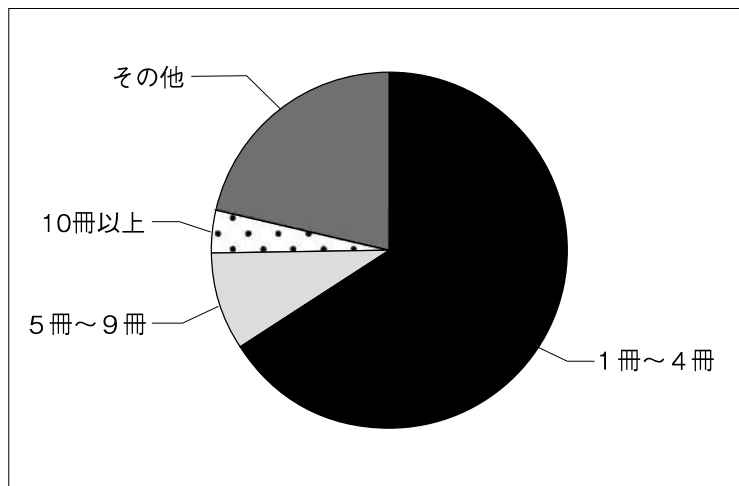


図8-7-㊦ 1か月の読書量 (H26年度)

8-8 本学に入学した理由

本学に入学した理由は、「入試センター試験の結果をみて」が最多（15.8％）で、続いて、「自分の好む専攻分野がある」「地元である」「実力相応と思った」「将来の進路を考えて」「浪人しなかった」などが続いた。「地元である」は11.3であった。必ずしも地元には拘らない学生が多数を占めた。「大学の特色・学風」は、7.1％であった。この％数値は、平成26年度よりも増加した。今後、少子化が進むことから、大学の特色、学風、カリキュラムをアピールすることがますます重要になる。

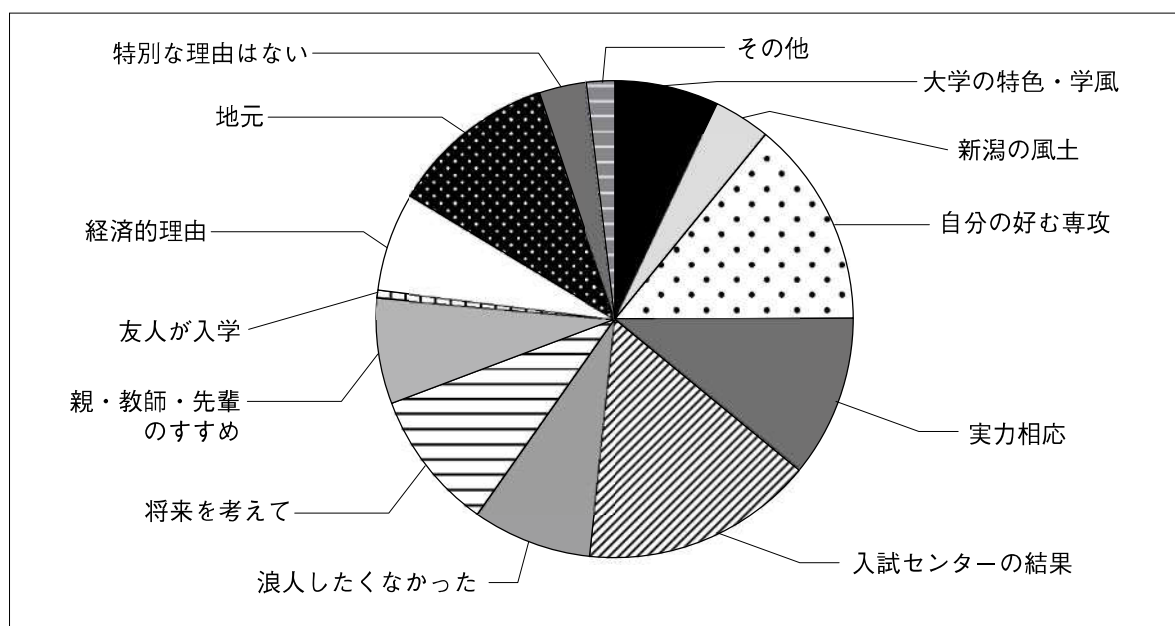


図 8-8-4 入学理由 (H30年度)

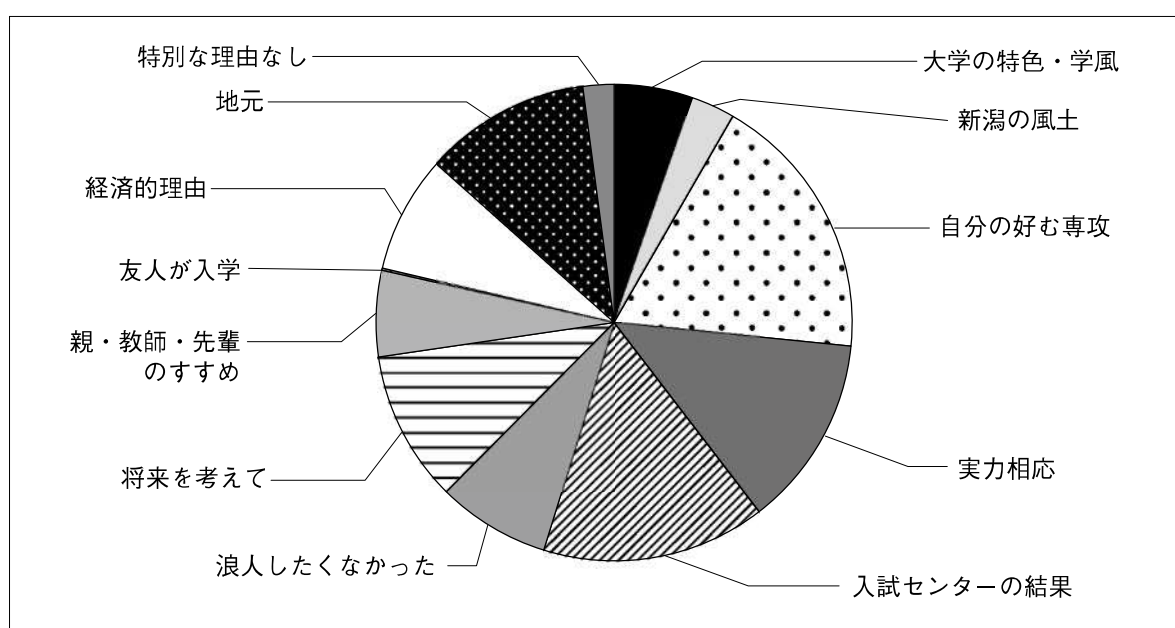


図 8-8-5 入学理由 (H26年度)

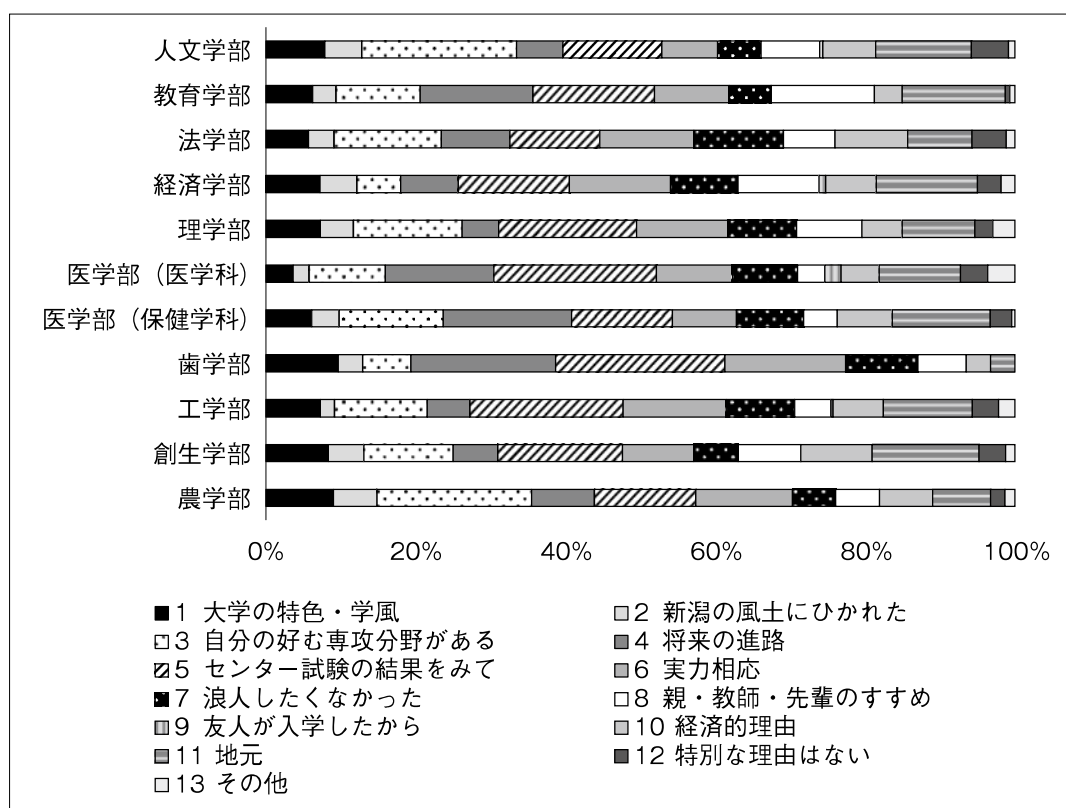


図8－8－I 新潟大学への入学の理由（H30年度）

8－9 大学生活において重視していること

学生が大学生活で重視していることとしては、「勉強や研究」が最多（36％）で、「豊かな人間関係を結ぶこと」、「クラブ・サークルの活動」、「趣味」「将来の仕事の資格」が続いた。勉強を中心に、サークル活動、友人関係、趣味を楽しんでいる学生が大半であることが示唆された。「アルバイトや貯金」を挙げる学生は、14％で、学費の工面に追われている学生がいるのかもしれない。「特になし」とするものも少数（3.3％）ではあるが存在し、大学生活の本来の意義を見出せていない学生がいる可能性がある。

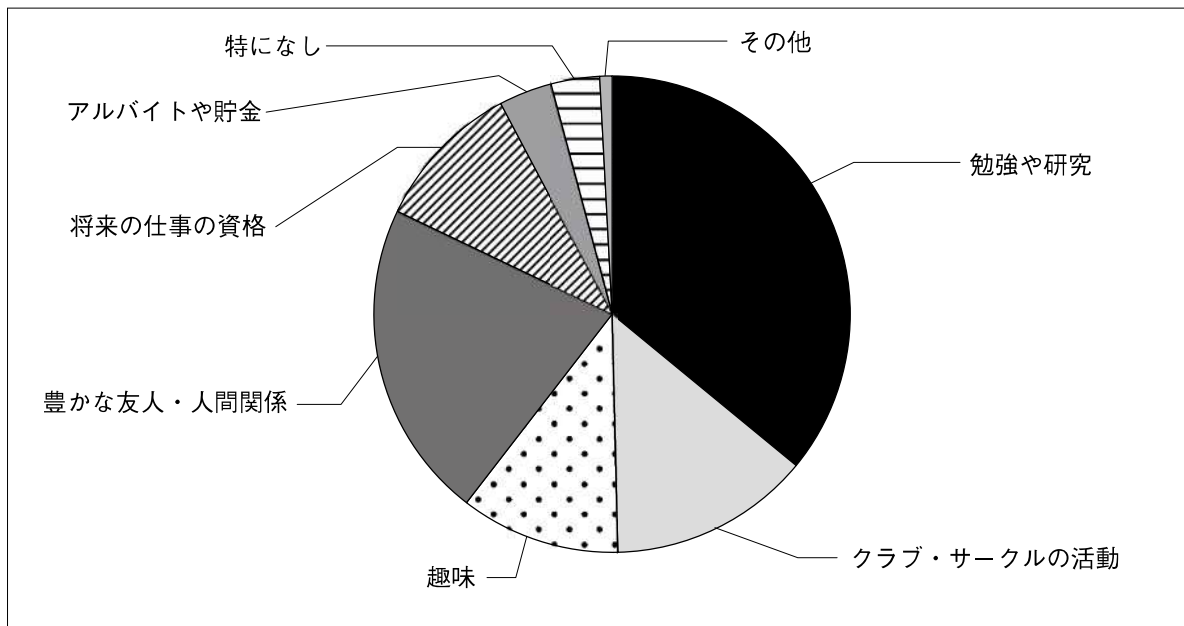


図 8-9-e 学生生活で重視していること (H30年度)

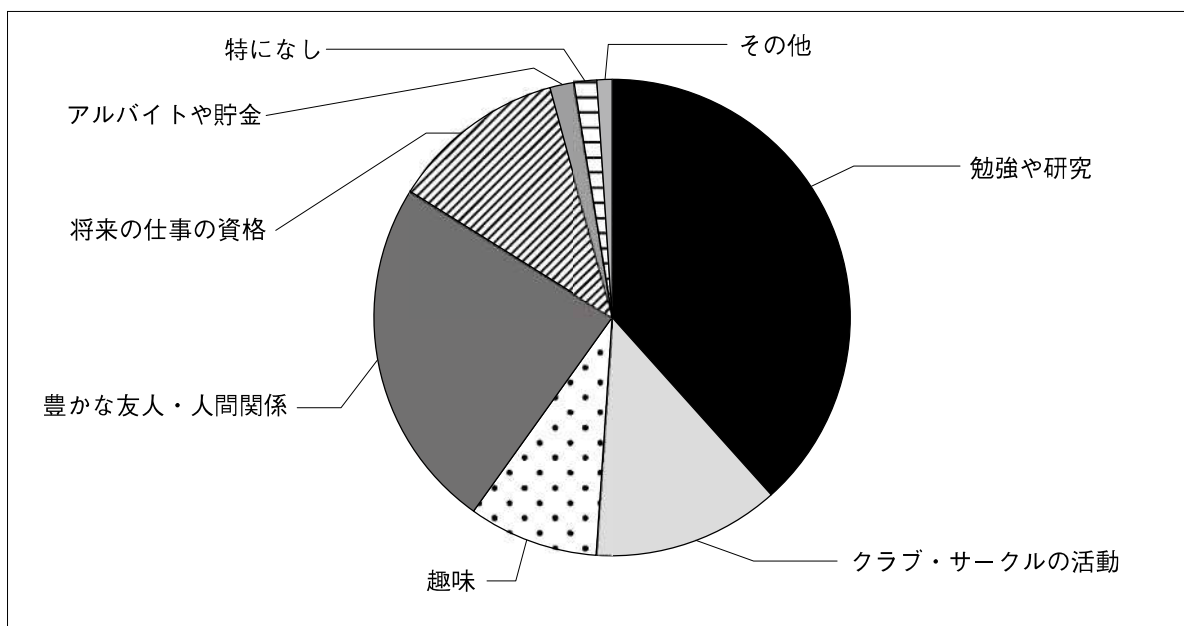


図 8-9-e 学生生活で重視していること (H26年度)

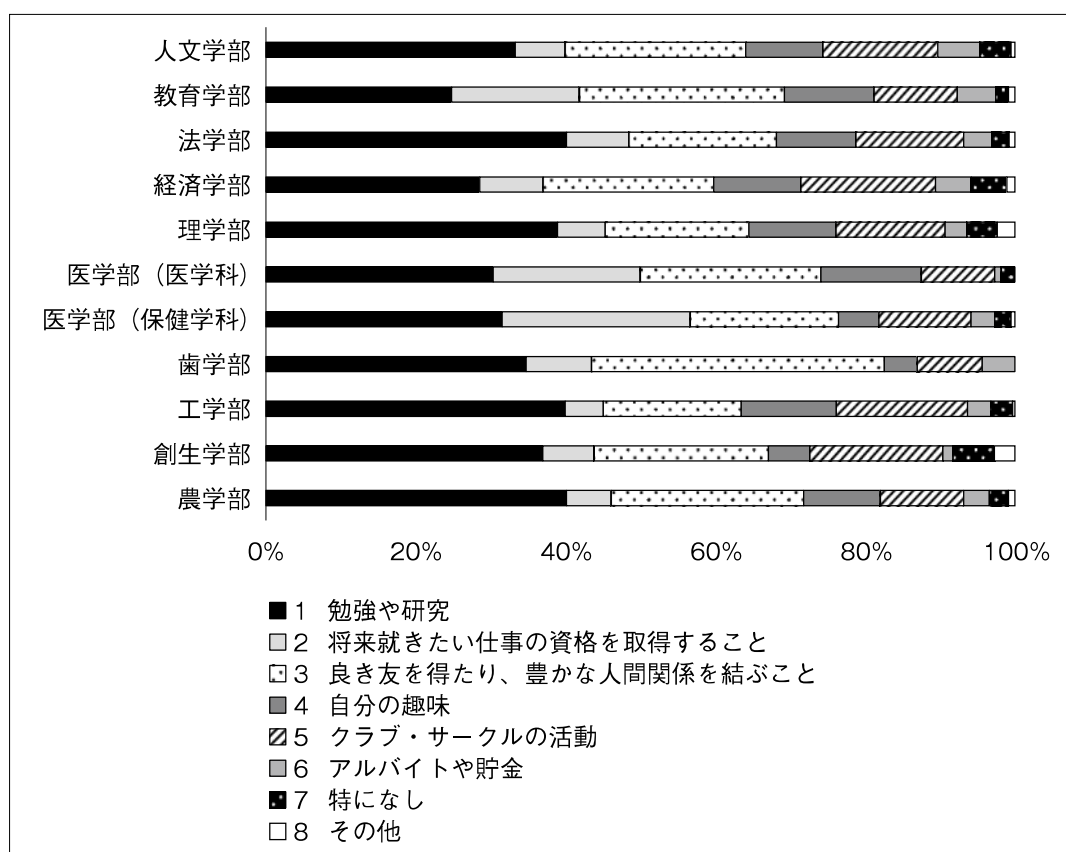


図 8－9－I 学生生活で重視していること（H30年度）

8－10 新潟大学に対する満足度

新潟大学に対する満足度については、「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた割合は75%で、前回調査の81%および前々回の調査での85%よりも若干減少した。「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」学生は合わせて8%で、前回と同じであった。学部毎では、農学部に対する満足度が最も高く、続いて、歯学部、教育学部の順であった。一方で、創生学部に対する満足度が最も低く、続いて、医学部（医学科）、経済学部の順であった。学生が新潟大学に対して満足していない理由については、さらに調査をする必要がある。

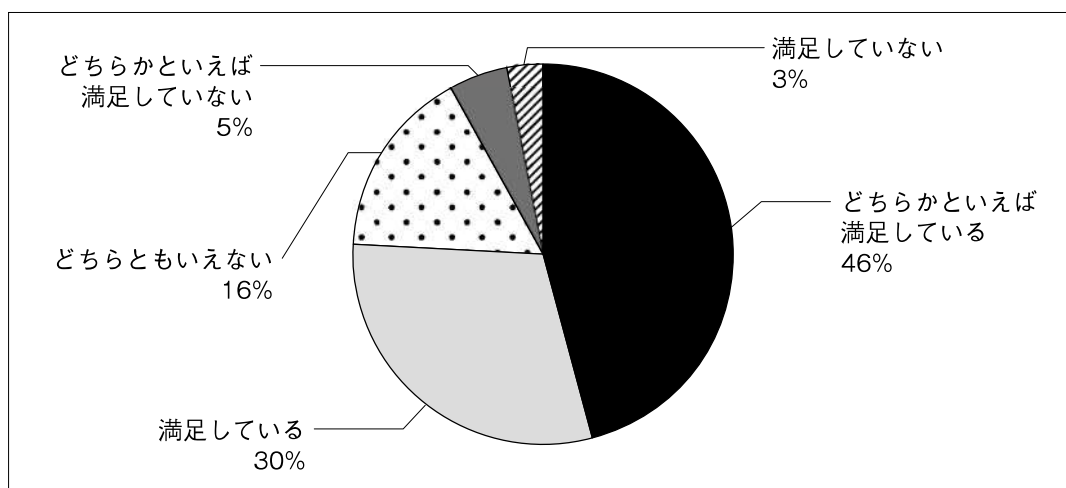


図 8-10-e 新潟大学での大学生活に満足していますか (H30年度)

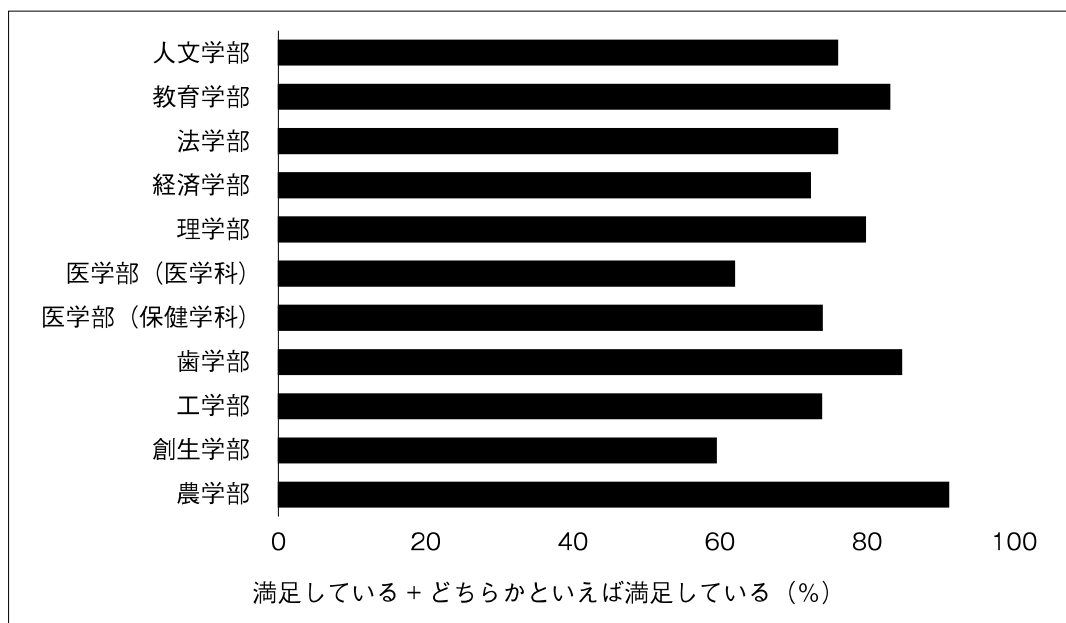


図 8-10-e 新潟大学での大学生活に満足していますか (H30年度)

8-11 新潟大学の魅力

新潟大学の魅力については、「大学の特色・学風」が最多 (25%) で、続いて「キャンパスが広い」、「大学の風土」、「キャンパスの緑」、「充実した設備」、「充実したスタッフ」の順であった。「大学の特色・学風」、「大学の風土」「充実した設備」、「充実したスタッフ」を合わせると、53%で、新潟大学が学生から一定の評価を受けていると考えられる。また、「キャンパスが広い」と「キャンパスの緑」を合わせると、39%で、新潟大学のキャンパス環境が高く評価されている。「充実したスタッフ」を挙げたが学生は、4.8%で、教員の質を高めることが、新潟大学の魅力を高めるために重要であることを示している。

「大学の特色・学風」と「大学の風土」は類似した内容であり、設問内容を少し吟味した方が良いと思われる。

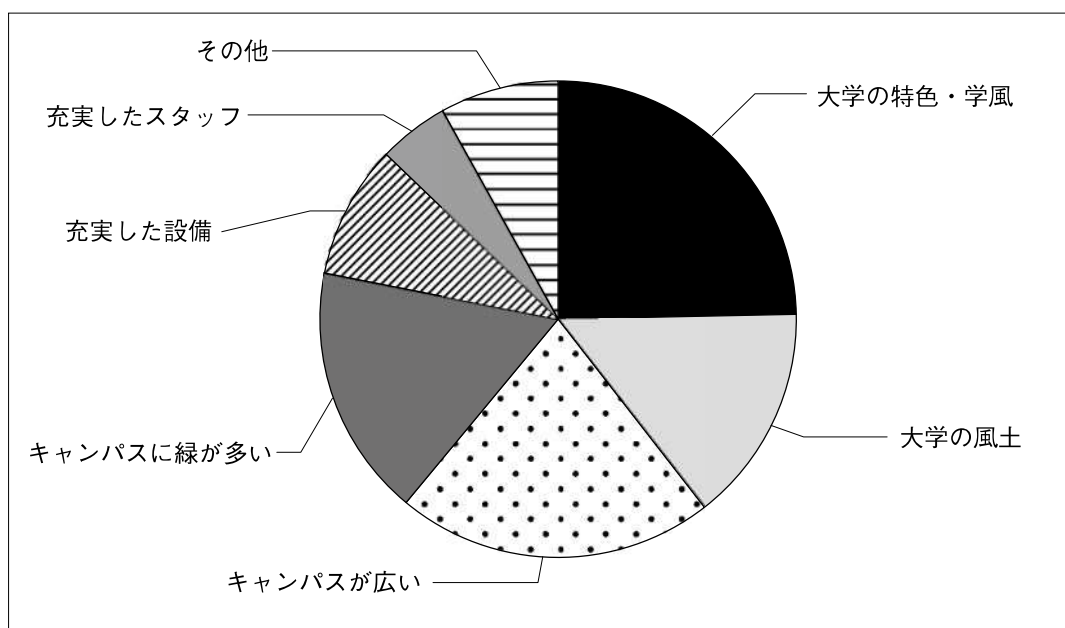


図8-11-0 新潟大学のどんなところに魅力を感じるか（H30年度）

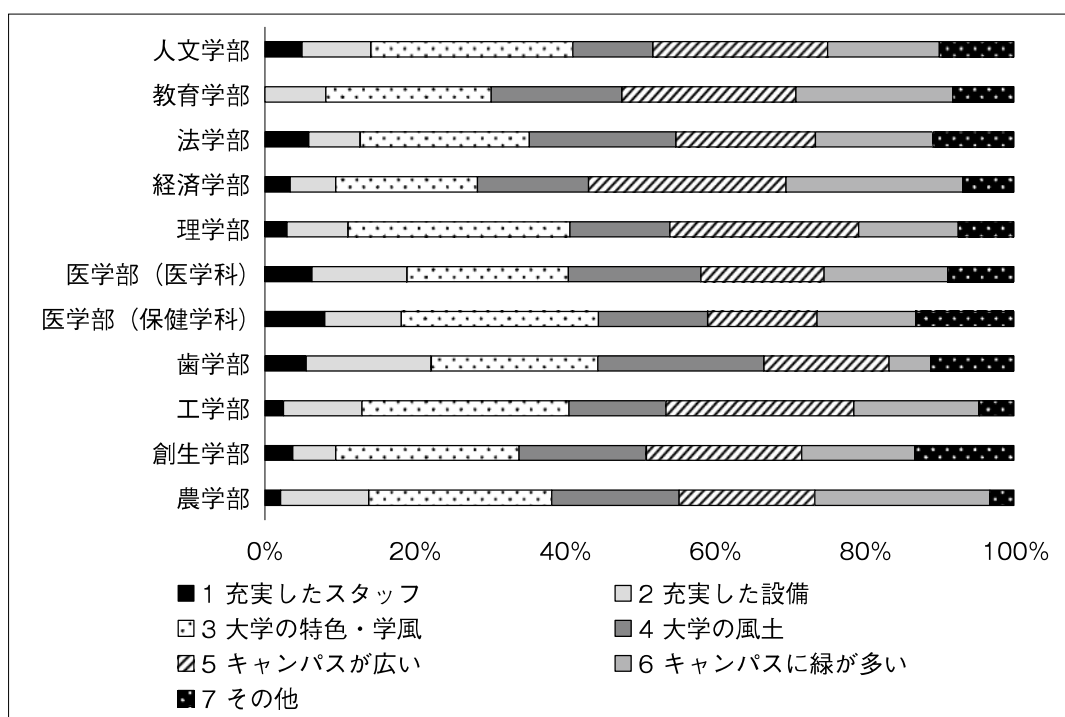


図8-11-e 新潟大学のどんなところに魅力を感じるか（H30年度）

第9章 大学の施設・設備について

9-1 施設の広さや機能（質）の満足度

所属する学部・研究科の教育・研究施設（研究室、実験室、講義室）の広さや機能（質）の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると60.1%で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は17.7%であった（図9-1-1）。

福福利厚生・共通施設（食堂、体育施設等）の広さや機能（質）の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」が64.6%で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は11.1%であった。（図9-1-2）

屋外環境施設（駐輪場、広場）の広さや機能（質）の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」が59.3%で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は7.1%であった。（図9-1-3）

教育・研究施設、福利厚生・共通施設、屋外環境施設それぞれの広さや機能（質）の満足度については、互いに似たような結果が得られた。それらの3つの質問項目をまとめると、約60%の学生が満足しており、7～18%の学生は満足していないと見ることができる。単純比較はできないが、前回調査と比較して、全体的には大きな変化はないと思われる。

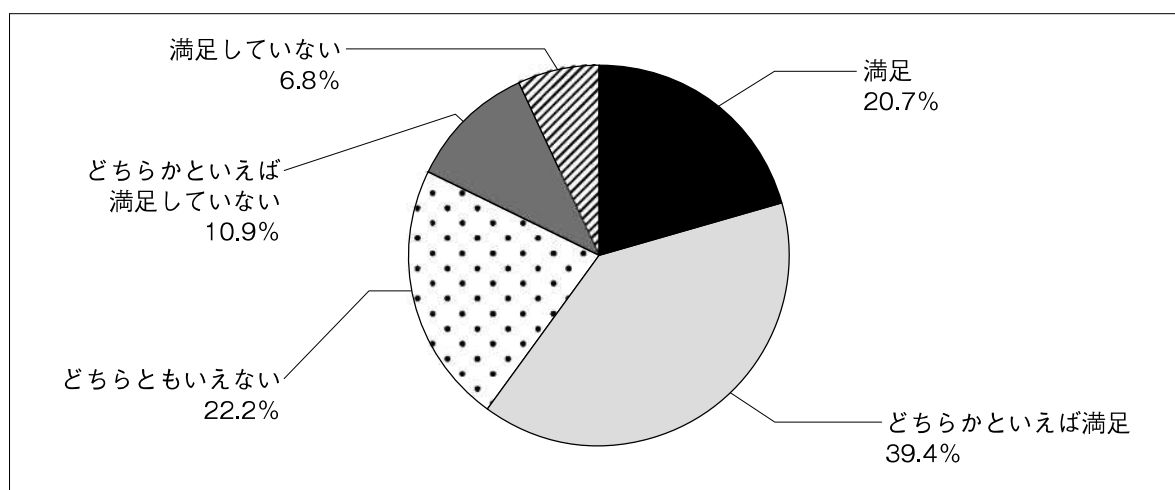


図9-1-1 教育・研究施設の満足度

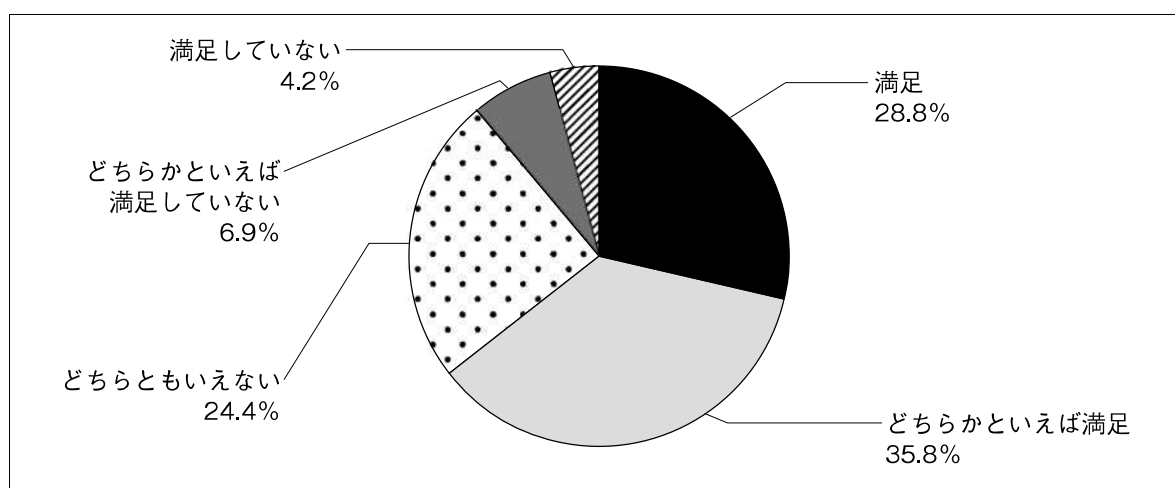


図9－1－2 福利厚生・共通施設の満足度

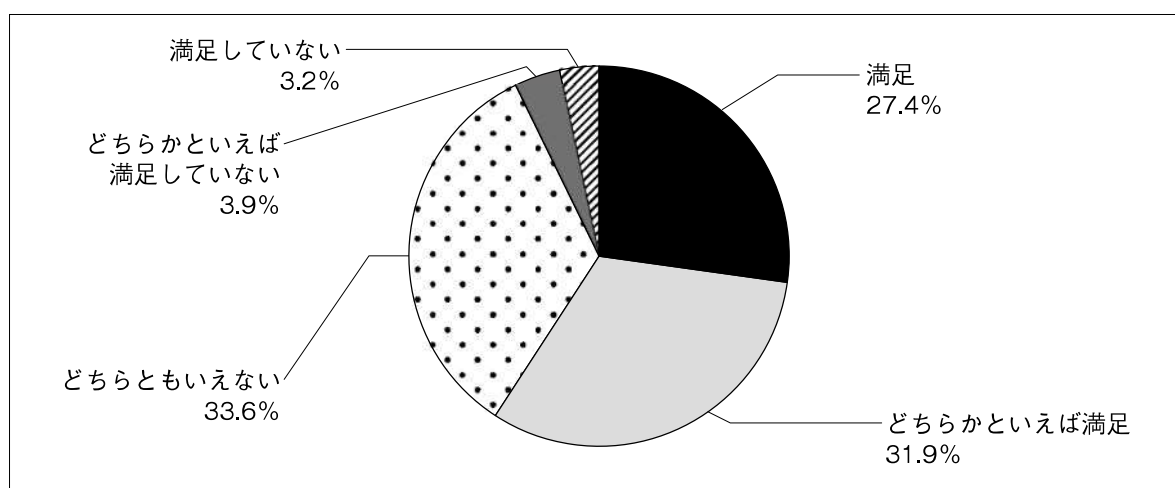


図9－1－3 屋外環境施設の満足度

9－2 図書館の利用頻度、利用目的及び満足度

試験期間以外での図書館の利用は、「週に1～3日」が29.6%と最も多く、以下、「ほとんど利用しない」(20%)、「月に1～2日」(19.4%)、「月に3～4日」(18%)が続いた。「週に1～3日」以上の頻度でよく利用する学生は29.6%であるのに対し、「ほとんど利用しない」または「月に1～2日」とほとんど図書館を利用しない学生はそれぞれ20%程度見られた(図9－2－1)。前回の調査では、「週に1～3日」が31.0%と最も多かったが、単純比較できないが、今回も同様の結果であった。図書館が新しく整備されたため高い利用率が維持されていると考えられる。

図書館の利用目的については、「自習」が35.3%、「図書」が25.7%と圧倒的に多く、続いて「文献検索」が8.2%、「パソコンの利用」が7.6%、が多かった。「CD・ビデオ」は1.6%で、学生の学習ニーズに合致していないように思われる。(図9－2－2) 単純比較できないものの、以前の調査では自習目的が60.6%と高値であった。今回の調査では比率は半分になったものの、図書館利用目的における自習の位置は他と比較して突出して高いものと思われる。

図書館の満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると82.8%で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は5.9%であり、前回調査がそれぞれ85.0%と5.9%であったが、図書館の満足度は比較的高く保たれているものの満足度の低下傾向が見られた（図9-1-1）。

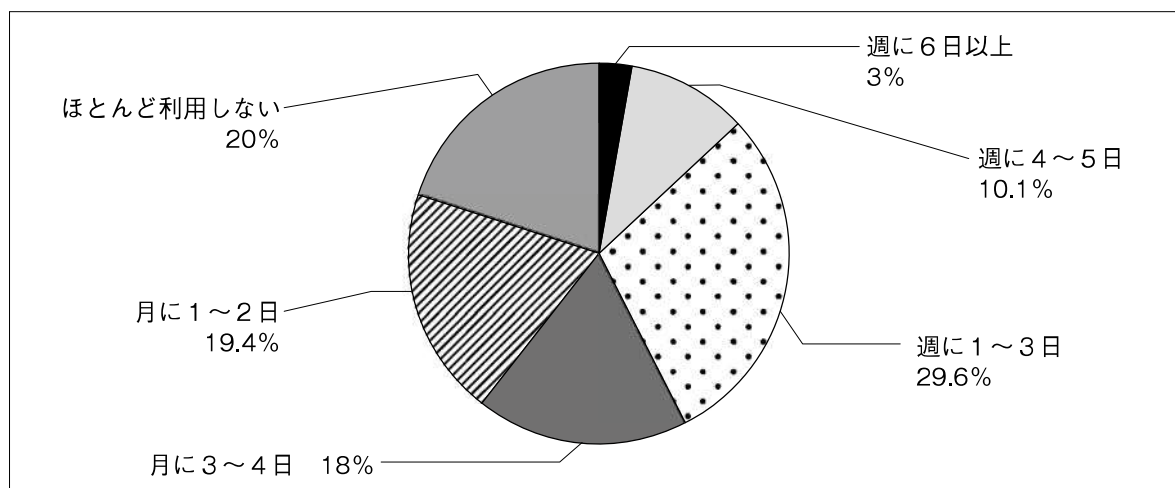


図9-2-1 図書館の利用頻度

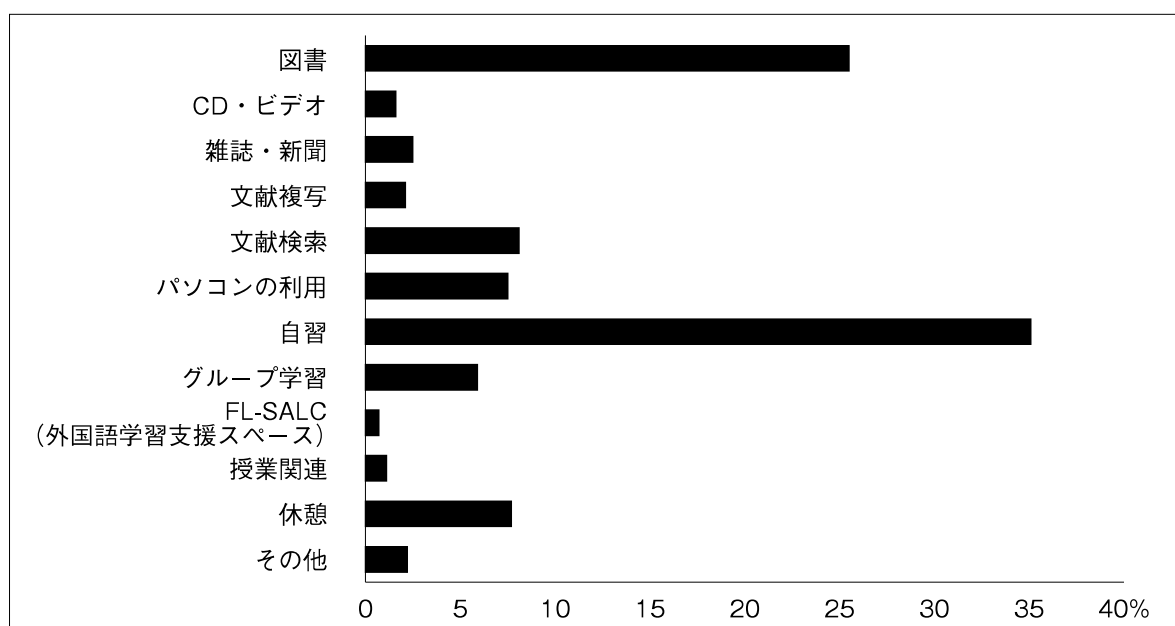


図9-2-2 図書館の利用目的（回答3つ以内）

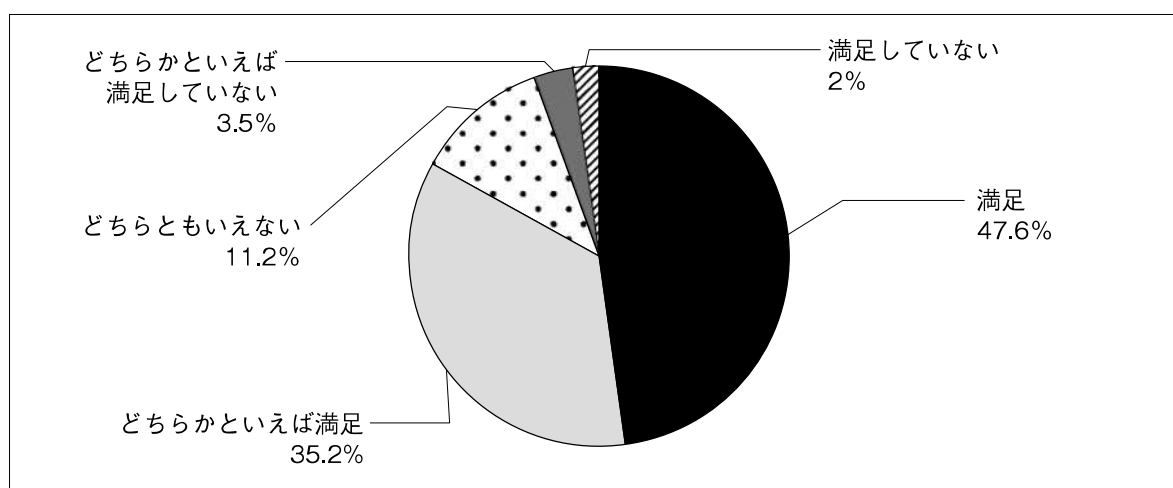


図9-2-3 図書館の満足度

9-3 ICT環境（インターネット、メール等）

新潟大学のICT環境（インターネット、メール等）についての満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」が64.9%で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は10.4%であった（図9-3-1）。前回調査がそれぞれ76.1%と6.1%であったことを考えるとICT環境の満足度は高く保たれていると思われる。

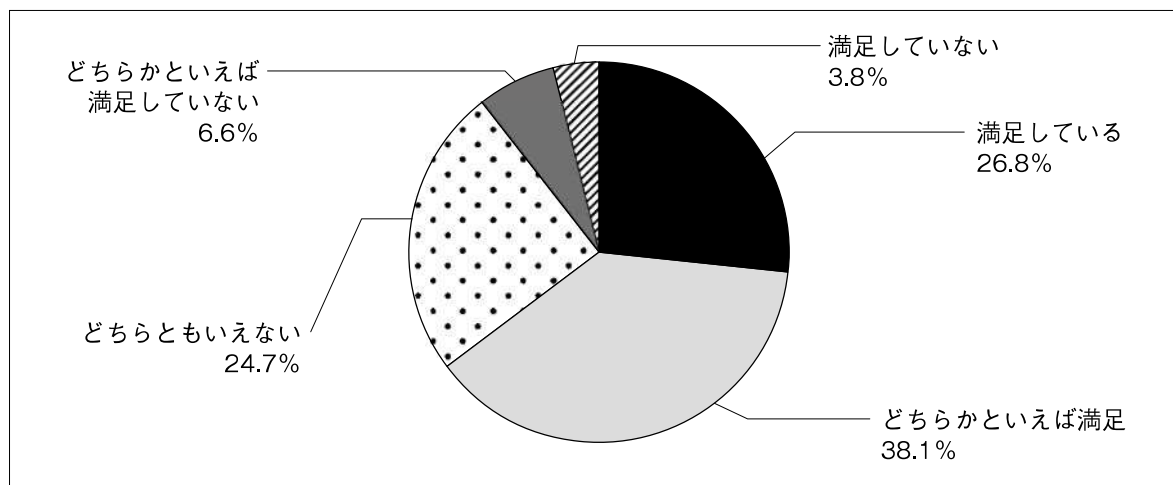


図9-3-1 ICT環境（インターネット等）の満足度

9-4 施設等に対する不満

新潟大学全体の施設等にどのような不満があるか、13の選択肢の中から3つ以内で選択してもらったところ、1位は「休憩場所がない」（14.8%）、2位は「校舎が汚い」（10.2%）、3位は「食堂が利用しにくい」（10.0%）、4位は「校舎の利用時間が制限されている」（8.9%）であった。これらは前回調査においても上位にランクされていた項目である。「特別な不満はない」が12.2%もあったが、具体的にどのようなことが問題なのかを学生・大学院生から指摘してもらって改善策を検討することが望まれる。

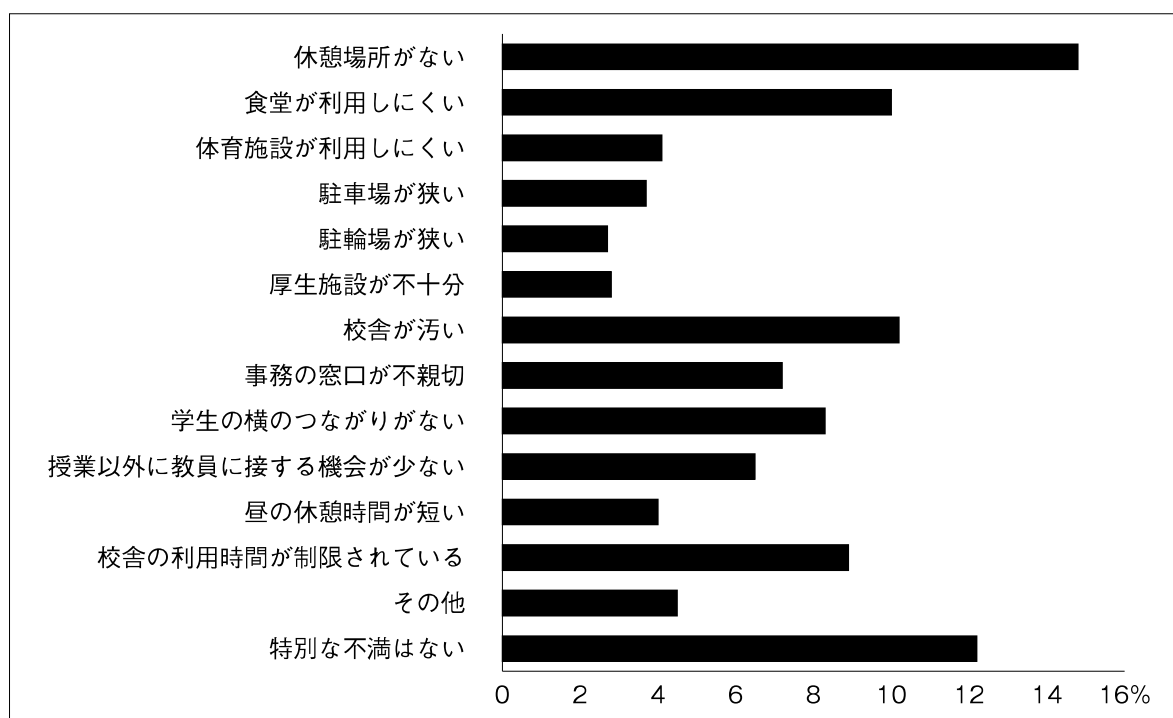


図9－4－1 施設等に対する不満（回答3つ以内）

第10章 授業について

10-1 カリキュラムに対する満足度

現在のカリキュラムに対する満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると64.1%となり、満足度はかなり高いと言える（図10-1-1）。「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」の合計は10.8%であった。前回の調査では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」は78%で、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」は8%であった。単純比較はできないものの、今回の調査では現行カリキュラムに対して満足している学生の割合が低下し、満足していない学生の割合が増加傾向を示した。この4年間における、分野・水準コードの導入と整備、学務情報システムと授業シラバスの整備、学部の主専攻プログラムの導入、副専攻制度の整備、全学や学部・研究科での授業改善についてのFD等の成果がなかなか現われていないので今後の展開に期待したい。

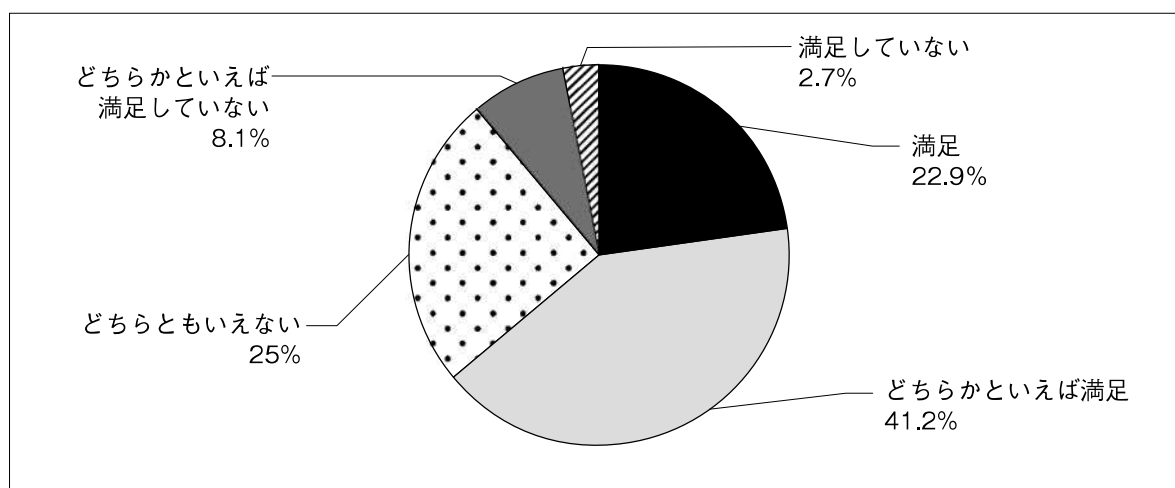


図10-1-1 カリキュラムに対する満足度

10-2 授業への出席、授業の理解度及び授業に対する満足度

今回の調査では、「75%以上」出席している学生の割合は97.0%、「50%未満」の学生は0.9%であり、良好な結果と思われる（図10-2-1）。また、「50～74%」というボーダーライン上の学生も2.1%と少なかった。単純比較できないものの、前回の調査とほぼ変わらない出席率であった。

授業の理解度については、「90%以上」理解している学生は25.6%、「75%以上」は76.2%であった（図10-2-2）。また、「50%未満」しか理解していない学生は4.1%と少なかった。これについても単純比較できないものの、前回の調査とほぼ変わらない理解度であり、理解度の低下は示されなかった。

授業に対する満足度については、「90%以上」満足している学生は33.9%であり、「75%以上」とすると76.1%、「50%以上」とすると95.1%の学生が満足と答えた。前回の結果とは直接比較はできないが、満足度はおおよそ同じレベルであると思われる。

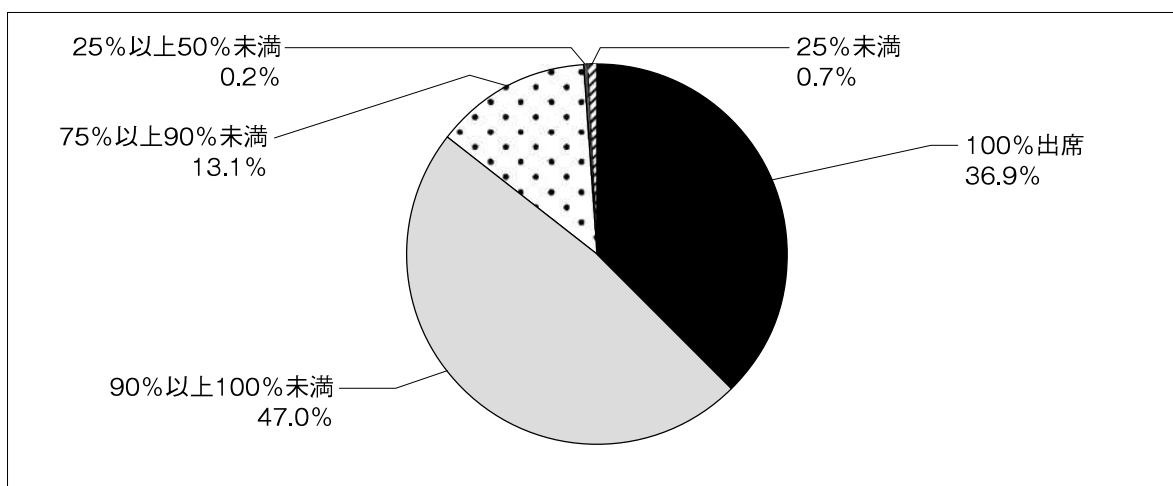


図10-2-1 授業への出席の程度

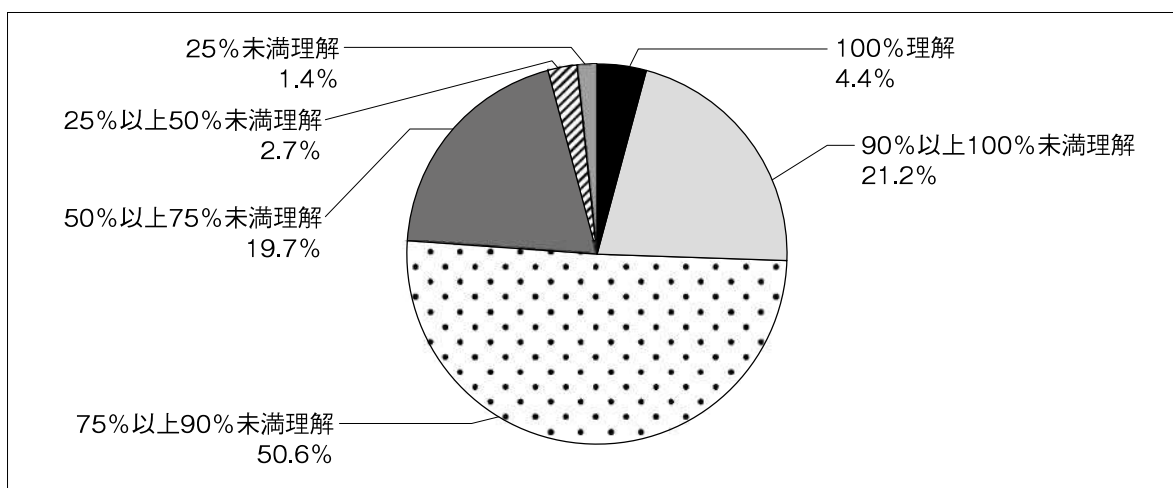


図10-2-2 授業の理解度

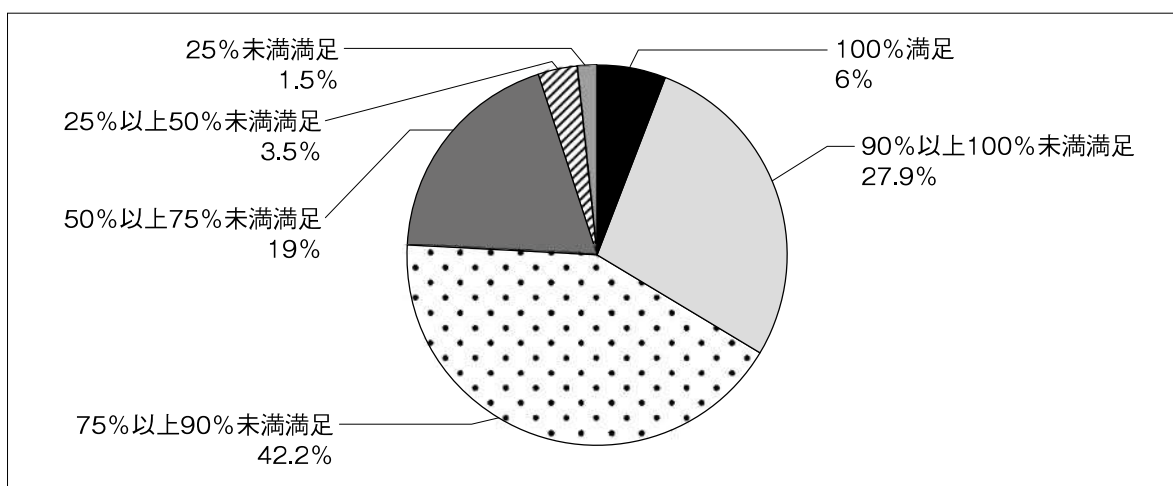


図10-2-3 授業に対する満足度

10-3 授業内容にわからないことがあった場合の対処法

授業内容にわからないことがあった場合どのように対処するかについて、7つの選択肢の中から2つ以内で選んでもらった（図10-3-1）。「授業中に質問する」は少なく、「参考書」で調べる、「友人同士で議論する」、「先輩・友人等に教わる」、「教員に個人的に質問する」が大半を占めた。前回の調査結果も、ほぼこれと同様であった。1位の「参考書」は、最近ではインターネットを介して調べるが多くなっていると考えられる。

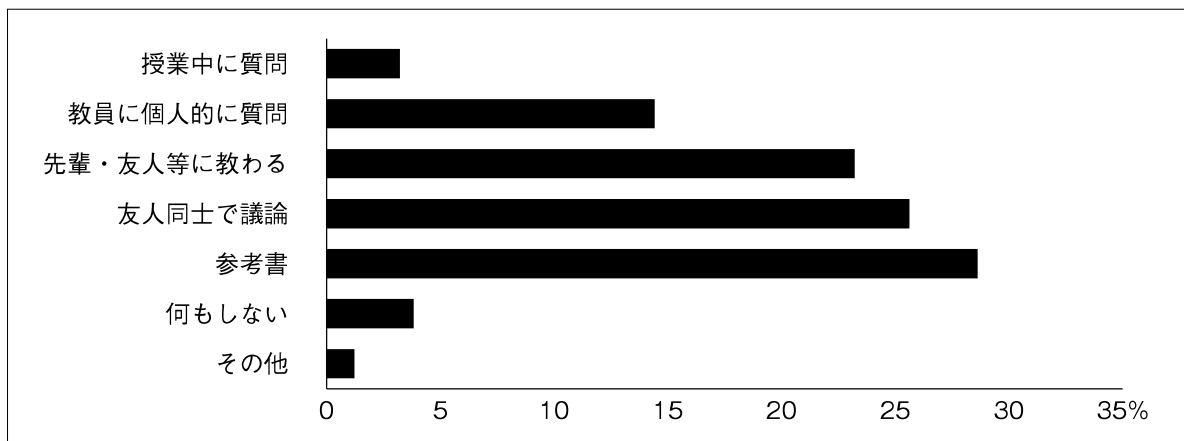


図10-3-1 授業がわからない場合の対処法（回答2つ以内）

10-4 授業に満足していない理由

授業に満足していない学生にその理由を9つの選択肢の中から2つ以内であげてもらった（図10-4-1）。割合の多い順で、「つまらない」（27.3%）、「理解できない」（21.6%）、「（教え方に）工夫が足りない」（20.3%）の3つが主要な理由であった。前回の調査でも上位はこの3つであり、同じ順位であった。授業を理解できない学生の増加は明らかでなかった。

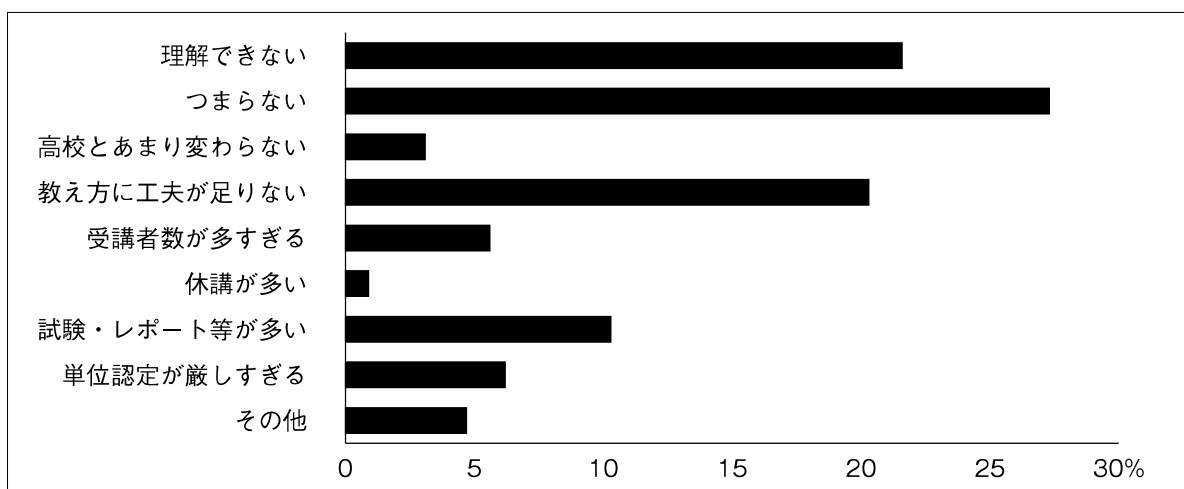


図10-4-1 授業に満足していない理由（回答2つ以内）

10-5 教育研究指導に対する満足度〔大学院学生〕

大学院生の教育研究指導に対する満足度については、「満足」および「どちらかといえば満足」を合わせると63.7%であり、「どちらかといえば満足していない」および「満足していない」の合計は6.5%であった。単純に比較することはできないが、前回調査ではそれぞれ84.6%と4.6%であったので、大学院での教育研究指導に対する満足度が低下している可能性が示唆された。

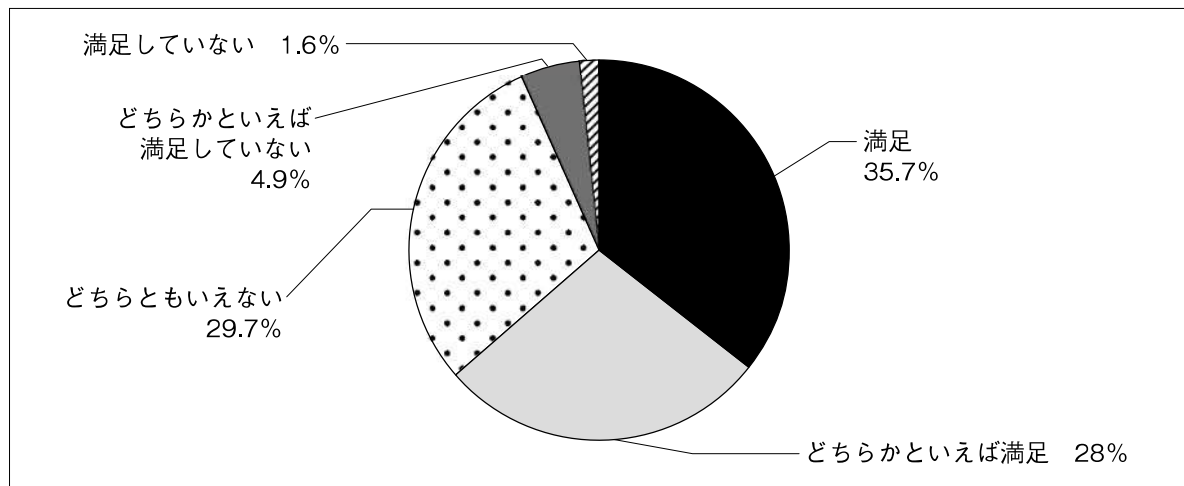


図10-5-1 教育研究指導に対する満足度（大学院）

10-6 教育研究環境（施設・設備等）に対する満足度〔大学院学生〕

大学院の現在の研究環境に対する満足度については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると63.8%であり、「どちらかといえば満足していない」および「満足していない」の合計は7.1%であった。前回の調査では、「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせると68.5%、「やや不満」および「不満」の合計は13%であった。大きな変化は見られなかった。大学院教育では、施設・設備よりも教育研究指導に対する満足度の低下が見られた。

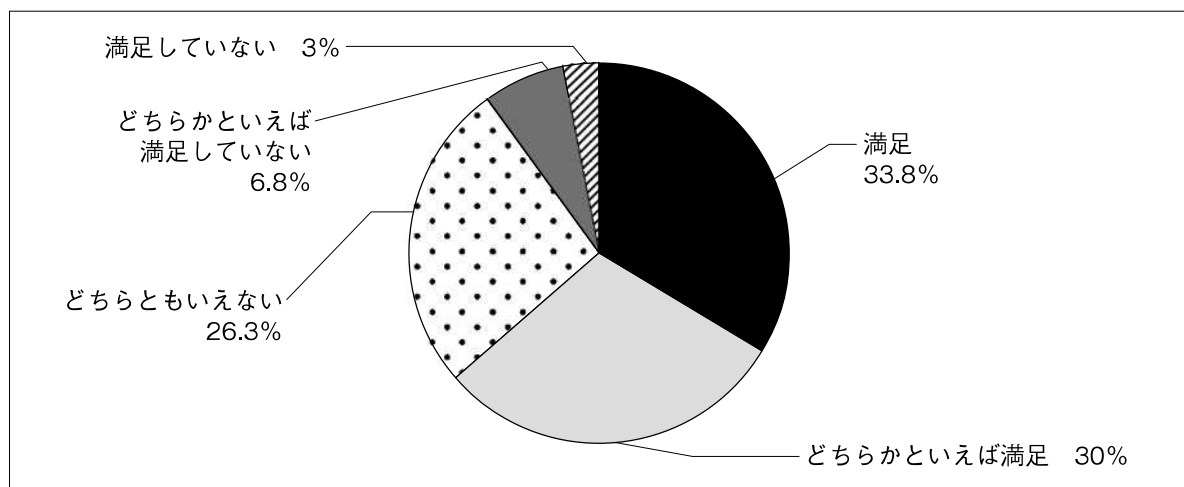


図10-6-1 教育研究環境に対する満足度（大学院）

第11章 大学に対する意見・要望について

今回の調査では、以下のように、いくつかの設問に自由記述欄を設けた。

- ・問29「課外活動施設の満足度」
→「どちらかといえば満足していない」「満足していない」：具体的な理由
- ・問57「新潟大学のどんなところに魅力を感じますか」
→「その他」：具体的な内容
- ・問58「所属する学部・研究科の教育・研究施設の広さや機能について」
→意見
- ・問61「図書館についてどのように感じますか」
→「どちらかといえば満足していない」「満足していない」：具体的な理由
- ・問62「普段利用する福利厚生・共通施設の広さや機能について」
→意見
- ・問63「普段利用する屋外環境施設の広さや機能について」
→意見
- ・問64「ICT環境（インターネット、メール等）について」
→意見
- ・問65「新潟大学全体の施設等についてどんな不満を持っていますか」
→「その他」：具体的な内容
- ・問71「授業に不満がある場合、その理由はどれですか」
→「その他」：具体的な内容
- ・問74「教育研究指導及び教育研究環境の満足度」※大学院生のみ
→「どちらかといえば満足していない」「満足していない」：具体的な理由
- ・最終設問「意見・要望」
→「各設問で回答した以外の意見・要望」

各設問に対する回答は、今後該当部署に情報提供し、必要に応じて対応を検討いただくこととしたい。
ここでは、最終設問における意見・要望についてのみ掲載し、若干のコメントを付する。

なお、最終設問の自由記述欄に記載した学生は、回答者全体の10.7%（平成26年度：11.2%）にあたる111名であった。それらの内容を次の7項目に分け、どの項目にも属さないものは「その他」に区分した。

1. 大学全般に関わるもの
2. 学部・研究科に関わるもの
3. 教育・研究に関わるもの
4. 事務職員の対応に関わるもの
5. 施設の整備、利用に関わるもの
6. 福利・厚生に関わるもの
7. 本アンケートに関わるもの
8. その他

大学に対する意見・要望について

【1. 大学全般に関わるもの】

- ・新潟大学に入学できて幸せです。大好きな大学です。
- ・いつもお世話になり、大変感謝しています、学生のことを第一に考えた運営をしてくだされれば、ありがたいです。よろしくお願いいたします。
- ・交通機関が止まる様な天気の日でも休講にならないのはなぜなのでしょう？電車が計画運休を行うと前日にわかっているにもかかわらず、そのような措置を取らないのは、自宅から通う自宅生にとっては、授業を受けることができないので、大学全体で休講措置をとってほしいです。
- ・地域からのクレームへの対応についてメールが来るが改善されてる気配がない。わざわざクレームの連絡までしている人がいるのにそれは適当過ぎるのではないのでしょうか。
- ・五十嵐キャンパスと旭町キャンパスをつなげてほしい、物理的に
- ・1限目の始業時間が早い。
- ・1限の時間を30分遅くしてほしい

【コメント】

- ・学生に対する情報提供のありかたについて、どのような場合にどのような方法で伝達を行うのか、常に検討を加え、改善を心がける必要があると思われる。
- ・時間割、とくに第1限の開始時間に関して、より遅くすべきとの複数意見がある。これは前回の調査時にも見られた。講義の開始時刻は、多くの要因に基づいて決定されるものであり、単純に学生からの要望のみで動くものではないが、時間割の変更が検討される場合には、こうした学生の希望があったことも考慮したいところである。

【2. 学部・研究科に関わるもの】

- ・人文学部は一年次に履修できる専門科目が少なく、歯がゆい思いをしています。もう少し履修可能な専門的講義を増やすことを強く要望します。
- ・創生学部の独自の留学プログラムを検討してほしい
- ・教育学部のカリキュラムが不満である。ゼロ免課程の廃止により、全員が教員免許取得のための単位を取らなければならなくなった。大学は社会に出るまでにやりたいことを見つける場所だと私は考える。在学中に教員志望ではなくなることはよくあることだと思う。それなのに教員免許取得の単位を取らなければ卒業できないので、他にやりたいことがあっても集中できないというような事態が発生するのではないかと考えられる。また、大学側は卒業生がどのくらい教員になったかを把握しなければならぬので指導教員も将来は教員になるように必要以上に勧めてくる。大学はもっと自由であるべきだと思う。本当にやりたいことを見つけさせてくれるような授業をしてほしい。
- ・工学部工学科機械システム工学プログラム、機械システム工学科カリキュラムにおいて、CAD、CAM、CAE及び機械工作実習の単位数を増やしてほしい
- ・医学部、歯学部生徒は2年次から旭町キャンパスなのにとらなくてはいけないGコード科目の単位が多い。Gコード科目で追試がやってない
- ・医学科学務と五十嵐の教員の連携が全く取れていない。講義関係の手続きでたらい回しにされた。
- ・看護学、保健学それらが横で連携できておらず。無理なスケジュールで大量の課題が出て、睡眠不足が続き、ストレスも酷い為。

【コメント】

- ・学部・研究科では大学での授業や生活に関して、これまでもガイダンスやオリエンテーションを行ってきたが、学生のニーズは多様化しており、より幅広く詳細な説明が必要とされている。特に、各学部のカリキュラムが含意する目的意識を明示化し、人材育成の方向性を具体的に説明し、理解を求める必要がある。

【3. 教育・研究に関わるもの】

- ・ターム制が正直上手く機能出来ていないように見受けられる。周辺の意見も同様。
- ・ターム制だとどうしても時間がありません。精神的に追い詰められてしまうので改善してほしいです
- ・ターム制により授業の進みが速いので、復習や理解をする時間のないまま試験期間になってしまうように感じる。
- ・ターム制は意外にも自分にあっていたのでこのまま継続していただきたい。
- ・ターム制では余裕がなくなるので残念だった
- ・2学期制からターム制導入によって、授業が圧縮され、授業の課題にかけられる時間の減少ないし課題による多忙化など、学習の効率が落ちているように思われる。ターム制導入以前は講義で扱う論点の枝葉まで触れられていたのに対し、近年では根幹部分を取り扱うに留まっている傾向がある。このことは、特に2コマ連続になった授業に顕著に表れているように思う。教員の方にも授業進行に困惑している様子があった。そもそも、「ターム制導入」に関するパンフレットにおいて、メリットがやや強引気味に列挙されているのに対し、デメリットに関する記載が全くされていないのは客観性に欠けていると感じざるを得ない。ターム制に転換してからの負の側面に関して精査し、今一度見直しをするべきだと考える。
- ・昨年のカリキュラムよりも専門科目が始まるのが約半年遅いため、将来が不安でしょうがない。早い段階から専門教科を行った方がいい。(スタディ・スキルズやリーガルシステムを1タームの内に終わらせた方がいい。)
- ・学務情報システムのアンケートについて、授業のものでも、この学生調査でも必須の所は全て回答しないと確定保存も、一時保存もできない設定になっている。先日は、システムの不具合により、全て回答したにも関わらず、未回答のものがありますと出てきて、さらに保存もできず、改めて回答しなおすこととなった。こういったことを防ぐためにも、必須項目を全て回答しなくても一時保存はできるようにしていただきたい。
- ・文系の博士後期課程の人にとって、四年目から全額授業料の負担は、どう考えても不正常であること。全世界でも、文系の博士後期では三年修了する人はほとんどいません。その上、四年目の大切な時期に、重い負担（全額授業料）をかけるのは、非常に理不尽だと思います。文系博士後期課程の学生の生・死に関わる問題ですので、重視して頂きたいです。
- ・補講日にテストをするという禁止にしてほしい。あらかじめインターンや旅行を組んでいる場合、困る。補講の場合、講義に参加しても参加しなくてもどちらでもいいという点があるが、テストの場合、絶対に参加しなくてはならない。教員の体調不良で2度も補講日にテストを実施された。これは禁止してほしい。
- ・Gコード科目の抽選の倍率が高すぎます。抽選で決まる7講中5講落ちました。学費をちゃんと払っているのに、学校の授業があまりにも落とされて、不満です。対策があるのではないのでしょうか。どの講義も倍率が高いです。ランダムに取れるものを入れてみても落ちました。
- ・履修追加登録期間（早い者勝ち）の際に落ちるのは本当にやめて欲しい。学生はたださえ抽選落ちて困っているのだからそこで生徒に負担をかけるのは酷だと思う。

- ・基礎ゼミを金5以外にしてほしい
- ・大学院生への奨学金支援、経済的支援が極めて少ないという現状に意識していただきたい。
- ・授業評価アンケートがWebで出来るようになったので助かる。
- ・学部の履修のシステムが一部杜撰すぎて単位取得が辛い

【コメント】

- ・ターム制にせわしなさを感じる意見が見られた。制度の移行期に感じられる違和感ということもあるだろうが、制度を十全に機能させるために整備すべき点もあることを反映していよう。各学部の実態に即した調整が必要である。
- ・最近のカリキュラム改訂で開講された初年次の導入教育科目と、既存のGコード科目および専門科目とのバランスが妥当であるか、各学部で検証する必要があると感じられる。
- ・Gコード科目の履修登録には、よりよい方法がないのか、検討を要する。

【4. 事務職員の対応に関わるもの】

- ・農学部学務係の人に、自分の成績の順位を聞いても、答えてもらえなかった。工学部学務係の人は、自分の成績の順位を教えてくれるのに、不公平だと感じた。
- ・教養棟の事務の対応が、相手が学生であると理由で、表情が怖く、資料が不十分であったときの対応が不親切であると感じた。教養棟の事務の方全員ではないが、教養棟の事務の一部の方がそうだと思います。
- ・学務の人の対応が他学部に比べてもとても悪い。教育学部だけ、性格の悪い人が回されているのではと疑うほど。同じ学費を払っているのに、これだけ学務の人の対応が悪いとやるせない。せめて人を変えてほしい。
- ・教育学部学務係の対応が冷たい
- ・教育学部教務課の窓口対応に、不快感を覚える。
- ・保健学科の学務係は以前からずっと対応が悪い。五十嵐地区の担当の方にお電話で「保健学科学務係でも対応できます」と教えていただいても保健学科学務係の対応は悪くたらいまわしにしようとされました。奨学金に関する知識も少なすぎると感じます。

【コメント】

- ・前回の調査でも事務の窓口対応については同様の不満が見られた。教員を含め学生への対面対応については格段の配慮が求められる時代ゆえ、SDなどを通じてより意識を高める必要があると思われる。

【5. 施設の整備、利用に関わるもの】

- ・施設アンケート、苦情等を取りまとめ現在大学として認識している問題点、改善活動などを含め情報公開し全大学関係者で情報共有を図るべき。また生の声を取り上げ改善するリアクションのスピードを上げるようにすべき。アラート機能がなく学務情報システムは改善点が多い。また学生が取りたい授業が取れない抽選システムは特に問題であり早期解決をしなければ大学の意味さえもなくなってしまう。学びに来ているのに学べないのを放置してはならない。大学長へ早期改善を要請する。
- ・第1サッカーラグビー場の更衣室、シャワー室が汚く、下水が詰まりやすい。またグラウンドの状態が悪く、表面の凹凸がひどいため満足な練習ができなかったり、けがが多発する原因となっている。
- ・陸上競技場に照明が無く、特に冬は夕方になると暗くて何も見えず、実際に怪我人が出ており危険だから
- ・運動場にナイターが無かったり、地面がデコボコだったり整備されてないから

- ・フットサルゴールのネットが破れているから。
- ・トレーニング室の器具に錆がこびりついているので、定期的に手入れをしていただきたい。また、空いているスペースに、トレーニング器具の種類を増やしてもらえるとありがたい。
- ・第一食堂前の規制があったり、サークルで使える施設がほかのサークル等に比べるとほとんどない。いつも外で練習しているが、冬は寒くて辛すぎるので何とかしてほしいです。大学会館等の施設をもう少し遅くまで開放していただけるとありがたいと思います。
- ・教育学部棟が冬季寒い。冷暖房設備がない教室もあり、学業に支障をきたす。D棟の電波が悪い。教育学部学務係の対応が冷たい。講義を受ける人数に対して教室が狭かったり、広すぎたりする。
- ・教育G棟の空調設備が悪い
- ・私は、合唱団に所属していて、活動時に音楽練習棟を使用しているが、人数が多いため大変狭い、更に設備が古い。エアコンがついているが、フィルターの汚れがひどく、汚いため、交換をしていただきたい。吹奏楽部や音楽クラブなどの多団体が荷物をそのままにしていることも問題だ。合唱団に別の場所を提供してもらうことはできないのか？
- ・私は新潟大学合唱団に所属しています。私たちは通称「音練」とよばれる、教育学部棟方面の奥のほうにある施設を使用していますが、環境が劣悪すぎます。我々は約70名で活動していますが、活動人数に対する施設の広さがありません。自慢のようになってしまっていますが、我々の団は全国大会にも出場するなど、結果を残しているつもりです。他の大学合唱団では、ホールが使えるなど、うらやましい環境で活動できています。どうか我々にもよりよい環境で活動をさせていただきたいと思います。
- ・音楽棟の練習室のピアノの調律が悪いし、温湿度管理がされてないし、防音じゃないので、なんとかしてほしい。
- ・音楽練習室の設備を改善していただきたいです。
- ・音楽練習棟が狭く、空調も良くない
- ・人文社会科学研究棟のE160でマイクの調子が悪くなりやすい。改善した方がよいと思う。あと、空気の入替えをしてほしい。
- ・人文科学系棟のE160やE020、E019の空気が悪い。また、人社棟が全体に暗く感じる。
- ・法学部にも個人のロッカーを設置してほしい
- ・理学部A棟にある縦長の講義室は、板書が非常に見づらいので改善していただきたいと思います。
- ・理学部棟のエレベーターは遅すぎる。
- ・理学部棟の正面玄関もカードキーで入れるようにしてほしい。
- ・理学部棟の駐輪場側の入り口周辺の木や草が薄気味悪い。
- ・理学部棟のリフレッシュルームの熱湯に小さな黒い粒が混じっていることがあるが飲んでも問題ないのか。
- ・埃が多く、狭い教室がある。総合教育研究棟A棟など。教育学部のほぼすべての教室では、机がガタガタで講義に集中できない。高校以下の机椅子のレベル。
- ・学部ではないが、総合教育研究棟の、座面がバネで跳ね上がる椅子は、出欠用紙をまわす際や筆記用具を落としたときなど、座面があると勘違いして座ろうとし、背中や尾てい骨を打って痛める人が多く、危険である。
- ・五十嵐キャンパスの第3体育館にもトイレを設備して欲しい
- ・旭町図書館は夏は暑く、冬は寒いので、長時間の自習が困難です。
- ・旭町の図書館が五十嵐キャンパスのような施設なら行きたいが、行く気持ちが湧かない。青陵大学の図書館へ行っている。
- ・旭町の図書館は2階の会話OKのスペースが閲覧室に近いので声が響きやすい。
- ・旭町図書館も五十嵐図書館のように良い設備に整えてほしい

- ・旭町の図書館も新しく建て直していただきたい。
- ・旭町図書館の空調が効きにくい
- ・医歯学図書館の設備（特に空調）を充実させてほしい
- ・一階の窓際にある自習席の電気を昼間でもつけてほしい。節電しているのはわかるが、天気が悪い日は昼間でも薄暗く、目に悪いと感じる。わがままな意見かもしれないが、検討していただきたい。
- ・旭町キャンパスの自習室が狭い
- ・全体的に新潟大の図書館はすばらしいと思うのですが、欲を言うとロッカーがほしいです。また、B棟2・3階の消しカス入れ（ミニほうき、ちりとりセット）の数が少ないので増やしてほしいです。
- ・旭町体育館（医短）のトイレを新しくしてほしい
- ・医歯学部旭町キャンパスの第二体育館は新しく、設備も申し分ないのだが、ごみがたまりすぎている。部活で掃除はもちろんしているが、ごみ箱、ほうき、ちりとり、モップ、の供給くらいはしてほしい。特にごみ箱がないのは意味がわからない。ごみを捨てるシステムも確立してほしいし、掃除用具はあるにはあるが、どれもほこりだらけごみだらけで、使いたくない。新調すべき。
- ・ドアが大きな音をたてて閉まるときがあるので、学生に注意喚起や定期的なメンテナンスをおこなってほしい。
- ・節電はわかるが、せめてテスト期間など利用者が多い時には全箇所照明の点灯、冷暖房をつけてほしい。
- ・教室内の学内Wi-Fiを強くしてほしい。課題に取り組み辛い。
- ・工学部棟102CP室のPCが講義によっては全員分なくて困っているの以前あった数まで増やしてほしい。そもそも102CP室の席と席の間隔が狭く、息苦しくなる。
- ・西門から工学部棟への道が非常に暗いので切実に街灯を増やしてほしい。
- ・北門周辺に外灯があると良いと思う。
- ・中門のところの「自転車通行可」とかかれた柵は自転車を通る際に邪魔だから1つははずしてほしい。
- ・五十嵐キャンパス中門から総合教育研究棟F棟付近に通じる自動車進入禁止の道がありますが、中門側から入ってもF棟付近の駐輪場を利用しやすいように、途中にある黄色い柵を自転車が通りやすいように3本あるうちの1本を撤去するといった対応を希望します。中門から人文棟の方向へ向かう道も同様です。自転車を通すには少々不便に感じます。
- ・一部構内の道路標識が機能してないくらいに汚い。補修したらどうかと思う。

【コメント】

- ・実際の使用者としての学生からの意見は、福利厚生や課外活動などの施設整備を考える上で貴重である。学務情報システムなどを使い、施設の修繕や更新についてのものを含め、すみやかに必要な情報を大学側に上げられるようにすることが望ましい。
- ・同様に、学務情報システムでは、教員からは学生の見ている画面がわからないので、もしシステムのインターフェイスを改善する機会があるならば、是非学生からの情報も集めるべきである。

【6. 福利・厚生に関するもの】

- ・学食が高い
- ・食堂のメニューの値段が高い
- ・食堂の料理が美味しくない、高い。
- ・旭町キャンパスにも食堂が欲しい
- ・池原会館を学食にしてほしい
- ・寮生としては土日の昼頃に第三食堂が開いてれば助かるな、と思ったことがあります。
- ・食堂の営業時間を20時以降に延ばしてほしい。また夜の営業は第2食堂だけではなく他の残りの2食

堂も営業してもらえると立地的な不平等がなくどの学部の学生のニーズにも応えられると思う。

- ・第二食堂の機械音がうるさすぎる
- ・教育学部棟内に飲み物の自販機が欲しい。

【コメント】

- ・学生生活における食堂の重要性がわかる意見が多かった。直接食堂に伝えたら改善できそうなものもあるが、大学としても福利・厚生に欠かせぬ存在として食堂のあり方には注意を払っていきたい。

【7. 本アンケートに関わるもの】

- ・教員からは日々、教員から声を挙げても大学は変わらないから学生から声を挙げてくれと言われます。一人のこのアンケートでどれだけ影響があるかわかりませんが、検討して頂けますと幸いです。
- ・アンケートが長すぎて大変でした。任意とはいえ、もう少し簡潔にした方が協力を得られると思います。また、必須項目が多いせいで何か見落としがあった時に、提出できなくなります。長々と☑ミスを見つけるのは大変なのでやめようかと思いましたが、この要望を届けたいために提出します。
- ・今回のアンケートだがスマートフォンのPC版で回答しようとしたが文字を打つとページ全体の段落が下がっていき確定保存などができなくて不便だった。
- ・アンケートが長い割に全く学生に得がない。
- ・形だけのアンケートにならず確実に改善してもらえるようお願いしたい。
- ・アンケート多すぎて答える気になる人はなかなかいないと思う。
- ・選択肢2つ以内は厳しかったです。

【コメント】

- ・前回調査までのこの項目では、アンケートに答える際の利便性の低さが指摘されており、調査方法がWEB入力に切り替わる契機の一つともなった。WEB入力になったことで多くの問題は解決されたが、逆にアンケートの長大さ、という問題を浮き彫りにする結果にもなった。質問項目については部門会議などで検討してはいるが、さらに精選し、学生生活の改善につながる実践的な調査となるよう心がけたい。
- ・今回WEB入力の画面について操作性に難があるという指摘があったことも、次回の調査にむけての改善点としてあげられる。

以上の点を含め、今回の調査における回答率が高いとは言えなかったことに対し、必要な対応策を施すことに努めたい。専門部会では、アンケートに答えた学生への何らかの報奨が必要ではないかという意見や、各学部で行われている授業評価アンケートやカリキュラム満足度調査などとの設問の重なりを指摘し、それらの調査結果を利用することとし、その部分についてアンケートの質問項目を削減するという案も出た。

【8. その他】

- ・1つ目、喫煙について。校内は全面禁煙であるが、音楽練習棟の前で音楽クラブの学生が喫煙している。私たちは練習の後に煙にされされているので、禁煙を徹底していただきたい。特に音楽クラブの活動がある日は、音楽練習棟で指導を行っていただきたい。
- ・駐車場の有料化には反対である。学生の無断駐車が問題となっているのは重々承知だが、学生の実態としてはそれにより成り立っているサークルや活動等が存在することも否めない。有料化によりココカラファイン等近隣の駐車場にしわ寄せが行き苦情が増えるのではないだろうか。職員に対しても有料化することも疑問である。有料化は避けられないにせよ、大学の都合だけでなく実態も鑑みた上で

より良い解決策はないだろうか。

- ・大学構内で常軌を逸したスピードで走る車をよく見かけ、非常に危険である（教職員・学生問わず）。
- ・大学構内や周辺の交通マナーが悪すぎる。特に乗用車の無灯火や一旦停止無視、自転車の無灯火、逆走、学生の道路横断時の飛び出し、歩道を横一列で歩く等理解できない行動がみられる。正直品性を疑う。大学周辺を運転するのにためらいが生じる程である。
- ・コピーできなくする等の前に、トイレのウォッシュレット、手を乾かす機械とか医学科の玄関の内装を変えるとかよりも経費削減できるところがあると思った。大学生が魅力を感じて、入りたいと思うような大学になったら良いと思う。同じ学部でもあまり関りが無いのももったいない。
- ・男女という選択肢しかないのは良くないと思います。新潟大学はLGBTの学生に向けて支援をしっかりとしていくというようなことをこの前の講演会で言っていたので、言っていることとやっていることが違うと思いました。
- ・人社棟前の自転車置き場に自転車が煩雑におかれているので、改善してほしい。
- ・関係のない学務メールが多すぎる
- ・他学部のメールがたまに送られてくるが、必要ないと感じる。
- ・学生が無料で印刷できる枚数を復活してほしい。学内パソコンから直接印刷できるように戻してほしい。
- ・学生証をSuicaみたいにスマートフォンに入れて欲しい。
- ・なかなか部活との両立がうまくできず、でも、部活はやめたくない。同じ学科の周りの人たちは、は進路に向けて準備を始めているのに、自分はやっていないことで、友達とコミュニケーションが取りにくいと感じている。そのあたりの相談や、配慮をお願いしたい。

【コメント】

- ・自転車を含めた構内の交通事情についての意見が目についた。また事務メールの対象になる基準について、学生に許可されるコピーの枚数についてなど、多様なテーマにわたる意見があった。これらがただちに取り入れられる訳ではないにしても、こうした問題意識が、それぞれの分野の担当部局、担当者に共有されることが望ましい。

【おわりに】

この調査の目的は、「本学学生の勉学・研究、日常生活上の意識及び生活実態を把握することにより、本学学生に対する福利厚生、修学援助、授業・研究環境、課外活動等の施策立案及び改善を行うための基礎資料を得ること」である。したがって、この調査結果が有効に活用され、教職員の資質向上、施設設備の充実、学生マナーの向上などが達成されてはじめて、この調査は意味をもつことになる。学生からの意見を真摯に受けとめ、経費やマンパワーなどさまざまな制約はあるが、学生、教職員にとって少しでも居心地のよい新潟大学になるよう、できる限りの努力が求められる。

最後に、本調査の実施にご協力いただいた学生諸君に感謝いたします。

平成30年度 学生生活実態調査調査票

★印は平成30年度新設の設問

回答対象	設問	回答の選択肢
1. 所属学部・研究科等について		
【全員】	問1	どの学部・研究科に所属していますか。
		1 人文学部 2 教育学部 3 法学部 4 経済学部 5 理学部 6 医学部医学科 7 医学部保健学科 8 歯学部 9 工学部 10 農学部 11 創生学部 12 教育学研究科 13 現代社会文化研究科（前期課程） 14 現代社会文化研究科（後期課程） 15 自然科学研究科（前期課程） 16 自然科学研究科（後期課程） 17 保健学研究科（前期課程） 18 保健学研究科（後期課程） 19 医歯学総合研究科（医・修士課程） 20 医歯学総合研究科（医・博士課程） 21 医歯学総合研究科（歯・前期課程） 22 医歯学総合研究科（歯・後期課程） 23 医歯学総合研究科（歯・博士課程） 24 技術経営研究科
【全員】	問2	現在、何年生ですか。
		1 1年生 4 4年生 2 2年生 5 5年生 3 3年生 6 6年生
【全員】	問3	性別は。
		1 男 2 女
2. 家庭状況等について		
【全員】	問4	実家のあるところはどこですか。
		県内 1 新潟市 2 上越地方 3 中越地方 4 下越地方（新潟市を除く） 5 佐渡市 県外 6 北海道 7 青森県 8 岩手県 9 宮城県 10 秋田県 11 山形県 12 福島県 13 茨城県 14 栃木県 15 群馬県 16 埼玉県 17 千葉県 18 東京都 19 神奈川県 20 富山県 21 石川県 22 福井県 23 山梨県 24 長野県 25 岐阜県 26 静岡県 27 愛知県 28 三重県 29 滋賀県 30 京都府 31 大阪府 32 兵庫県 33 奈良県 34 和歌山県 35 鳥取県 36 島根県 37 岡山県 38 広島県 39 山口県 40 徳島県 41 香川県 42 愛媛県 43 高知県 44 福岡県 45 佐賀県 46 長崎県 47 熊本県 48 大分県 49 宮崎県 50 鹿児島県 51 沖縄県 52 外国
【該当者】	（問4）	（【問4】で「52 外国」と答えた人） 具体的な国名を記入ください。
【全員】	問5	家族は何人ですか（ただし、就職し、かつ別居している兄弟姉妹は除く）。
		1 1人 6 6人 2 2人 7 7人 3 3人 8 8人 4 4人 9 9人以上 5 5人
【全員】	問6	授業料を負担している人は誰ですか。
		1 本人 2 家計支持者（あなたの保護者） 3 家計支持者以外の家族 4 その他
【全員】	問7	主な家計支持者の年間（1から12月まで）総収入（税込）はどのくらいですか。
		1 200万円未満 2 200万円～400万円未満 3 400万円～600万円未満 4 600万円～800万円未満 5 800万円～1000万円未満 6 1000万円以上
3. 住居・通学・食事について		
【全員】	問8	現在の住居所在地はどこですか。
		1 五十嵐、大学南、内野地区 2 大野、新通、横尾地区 3 坂井、坂井輪、寺尾地区 4 旭町地区 5 公共交通機関（バス・電車）を利用した場合、片道の通学時間が1時間以内 6 その他
【全員】	問9	現在の住居はどれですか。
		1 自宅 2 台所・バス・トイレ付アパート/マンション 3 バスなしアパート 4 一戸建て借家 5 下宿・貸間 6 学生寮 7 親戚・知人宅 8 その他
【全員】	問10	通学方法は主にどれですか。
		1 徒歩のみ 4 バス 2 自転車 5 自動車 3 鉄道 6 オートバイ・スクーター
【全員】	問11	通学に要する片道時間はどのくらいですか。
		1 30分未満 2 30分～1時間未満 3 1時間～1時間30分未満 4 1時間30分～2時間未満 5 2時間以上
【全員】	問12	主に自分が使用できる自動車を所有していますか。
		1 所有している 2 所有していない
【全員】	問13-1	朝食はどのように食べていますか。 （主なものを1つ選んでください）
		1 自宅（家族等が用意した物を食べる） 2 自炊 3 コンビニ等で購入 4 生協で購入 5 学生食堂を利用 6 学外の食堂等を利用 7 その他 8 食べない

回答対象		設問	回答の選択肢
【全員】	問13-2	昼食はどのように食べていますか。 (主なものを1つ選んでください)	1 自宅（家族等が用意した物を食べる） 2 自炊 3 コンビニ等で購入 4 生協で購入 5 学生食堂を利用 6 学外の食堂等を利用 7 その他 8 食べない
【全員】	問13-3	夕食はどのように食べていますか。 (主なものを1つ選んでください)	1 自宅（家族等が用意した物を食べる） 2 自炊 3 コンビニ等で購入 4 生協で購入 5 学生食堂を利用 6 学外の食堂等を利用 7 その他 8 食べない
4. 収入・支出について			
【全員】	問14-1	奨学金の貸与（給与）は月額どのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問14-2	家計支持者から援助を受けている金額は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問14-3	家計支持者以外から援助を受けている金額は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問14-4	家庭教師によるアルバイト収入は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問14-5	家庭教師以外のアルバイトによる収入は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問14-6	その他（【問14-1】～【問14-5】以外）の収入は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【該当者】	問15	（【問14-1】で奨学金による収入について記入した人） 奨学金はどこから受けていますか。該当するものをすべてを選んでください。	1 日本学生支援機構（第一種） 2 日本学生支援機構（第二種） 3 地方公共団体 4 民間団体 5 その他
【全員】	問16-1	住居費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問16-2	食費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問16-3	勉強費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問16-4	娯楽費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問16-5	被服費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問16-6	通学費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問16-7	その他雑費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
【全員】	問16-8	預貯金のための1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。	
5. アルバイトについて			
【全員】	問17	大学入学後アルバイトをしたことがありますか。該当するものをすべてを選んでください。	1 長期のアルバイトをしたことがある（している） → 【問18】へ 2 短期のアルバイトをしたことがある（している） → 【問18】へ 3 休業期間中に限ってアルバイトをしたことがある → 【問18】へ 4 全くしたことがない → 【問24】へ
【該当者】	問18	（【問17】でアルバイトをしたことがある（している）と答えた人） アルバイトをした理由はどれですか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 家庭の経済的負担を軽減するため 2 学業を継続するため 3 こつかい・臨時の支出のため 4 家族からできるだけ自立したいため 5 社会経験のため 6 特別な理由はない 7 その他
【該当者】	問19	（【問17】でアルバイトをしたことがある（している）と答えた人） アルバイトの職種はどれですか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 家庭教師 2 学習塾講師 3 一般事務 4 調査・技術 5 販売サービス 6 肉体労働 7 飲食業（ファミレス・居酒屋） 8 その他
【該当者】	問20	（【問17】でアルバイトをしたことがある（している）と答えた人） アルバイトの1週間の平均就労日数は何日くらいですか。	1 1日～2日 2 3日～4日 3 5日～7日
【該当者】	問21	（【問17】でアルバイトをしたことがある（している）と答えた人） アルバイトの1週間平均就労時間は何時間くらいですか。	

回答対象		設問	回答の選択肢
【該当者】	問22	(【問17】でアルバイトをしたことがある(している)と答えた人) アルバイトの収入は何に使いますか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 衣食住の費用 2 授業料 3 勉学費 4 娯楽レジャー費 5 課外活動費 6 耐久消費財購入費 7 旅行費 8 資格等取得費 9 預貯金 10 特別な目的はない 11 その他
【該当者】	問23	(【問17】でアルバイトをしたことがある(している)と答えた人) 学業との関係はどうでしたか。	1 学業に役立った 2 ほとんど支障がなかった 3 少しは支障があった 4 授業への出席が悪くなった 5 成績が悪くなった 6 その他
6. 課外活動について			
【全員】	問24	現在、サークル(部)に加入していますか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 学友会所属の文化系サークルに加入している → 【問25】へ 2 学友会所属の体育系サークルに加入している → 【問25】へ 3 学友会以外の学内文化系サークルに加入している → 【問25】へ 4 学友会以外の学内体育系サークルに加入している → 【問25】へ 5 学外の文化系サークルに加入している → 【問25】へ 6 学外の体育系サークルに加入している → 【問25】へ 7 学内外のいずれのサークルにも加入していない → 【問30】へ
【該当者】	問25	(【問24】でサークルに加入していると答えた人) サークルに加入した理由はどれですか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 団体活動に興味がある 2 活動内容が好きだから、または興味があるから 3 知識・教養を得るため 4 免許等の資格を得るため 5 健康増進のため 6 友人を得るため 7 就職のことを考えて 8 レクリエーションとして 9 特技向上のため 10 社会のため 11 特別な理由はない 12 その他
【該当者】	問26	(【問24】でサークルに加入していると答えた人) サークル活動と学業との関係はどうですか。	1 学業をかなり犠牲にする 2 学業を少し犠牲にする 3 学業に影響ない 4 学業にプラスになる 5 学業にかなりプラスになる
【該当者】	問27	(【問24】でサークルに加入していると答えた人) サークルの1週間の平均活動日数は何日くらいですか	1 1日-2日 2 3日-4日 3 5日-7日
【該当者】	問28	(【問24】でサークルに加入していると答えた人) サークル活動している時間は、1週間当たり平均何時間ですか。	
【該当者】	問29	(【問24】でサークルに加入していると答えた人) 課外活動施設の満足度はどうですか。	1 満足している → 【問31】へ 2 どちらかといえば満足している → 【問31】へ 3 どちらともいえない → 【問31】へ 4 どちらかといえば満足していない → (【問29】)へ 5 満足していない → (【問29】)へ
【該当者】	(問29)	(【問29】で「4 どちらかといえば満足していない」もしくは「5 満足していない」と答えた人) 具体的な理由を記入してください。	
【該当者】	問30	(【問24】でサークルに加入していないと答えた人) サークルに加入していない理由はどれですか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 学業の妨げとなる 2 練習が苦痛 3 健康上の理由 4 興味のあるサークルがない 5 拘束されたくない 6 対人関係が面倒 7 経済的な理由 8 時間がない 9 特別な理由はない 10 その他
7. 健康・悩み事について			
★	【全員】	問31 紙タバコや加熱式タバコ・電子タバコを喫煙していますか？	1 喫煙していない 2 紙タバコのみ喫煙 3 加熱式タバコ・電子タバコのみ使用 4 紙タバコと加熱式タバコ・電子タバコを併用
★	【全員】	問32 1年以内に大学の敷地内で受動喫煙を受けたことがありますか？	1 建物外である 2 建物内である 3 ない (複数選択可)
★	【全員】	問33 どのくらいの頻度でお酒を飲みますか？	1 ほぼ毎日 2 週に3～5日 3 週に1～2日 4 月に2～3日 5 月に1日以下 6 それ以下の頻度 7 お酒は飲まない
【全員】	問34	アルコールの一気飲みを強要(アルコールを飲めない場合を含む)されたことがありますか？	1 ある 2 ない 3 どちらともいえない
【全員】	問35	現在、悩んでいることはありますか。	1 ある → 【問36】へ 2 ない → 【問38】へ

回答対象	設問		回答の選択肢
【該当者】	問36	(【問35】で「1 ある」と答えた人) 悩みの原因は主にどれですか。悩みの多い順に3つ以内で選んでください。	1 勉学上のこと 2 家庭のこと 3 異性関係のこと 4 友人のこと 5 指導教員との関係 6 将来の進路のこと 7 健康上のこと 8 経済的なこと 9 自分の性格のこと 10 セクシャル・ハラスメント 11 アカデミック・ハラスメント 12 その他
【該当者】	問37	(【問35】で「1 ある」と答えた人) 悩みが生じたら主にどのような方法で解消しますか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 学生なんでも相談窓口に行く 2 学生相談ルームに行く 3 保健管理センターに行く 4 教員に相談する 5 先輩・友人に相談する 6 家族に相談する 7 学外の機関に相談する 8 自分ひとりで解決するよう努力する 9 解消方法がわからない 10 その他
【全員】	問38	セクシャル・ハラスメント又はアカデミックハラスメントを受けたことはありますか。	1 ある → 【問39】へ 2 ない → 【問40】へ
【該当者】	問39	(【問37】で「1 ある」と答えた人) 誰から受けましたか。2つ以内で選んでください。	1 教員 2 事務職員 3 研究室仲間 4 サークル仲間 5 同級生・先輩 6 友人 7 家族・親戚 8 その他
★【全員】	問40	学生なんでも相談窓口でハラスメントの相談ができることを知っていますか？	1 はい 2 いいえ
【全員】	問41	悪徳商法、詐欺等の被害に遭ったことがありますか。	1 ある → 【問42】へ 2 ない → 【問43】へ
【該当者】	問42	(【問37】または【問41】で「1 ある」と答えた人) その後の対応はどのようにしましたか。2つ以内で選んでください。	1 家族に相談した 2 友人・先輩に相談した 3 教員・事務職員に相談した 4 学内の相談窓口相談した 5 学外の相談窓口相談した 6 誰にも相談しなかった 7 解消方法がわからない 8 その他
8. 大学生活について			
【全員】	問43	新潟大学の教育理念・教育目標を知っていますか。	1 知っている 2 知らない
【全員】	問44	所属する学部・研究科の教育理念・教育目標を知っていますか。	1 知っている 2 知らない
【全員】	問45	大学に登校するのは、現在、1週間に平均何日ですか。	
【全員】	問46	授業以外の自習時間は1日平均どのくらいですか(授業で出された課題に取り組む時間やゼミ等の発表準備時間を含む)。	1 30分未満 2 30分-1時間未満 3 1時間-2時間未満 4 2時間-3時間未満 5 3時間-4時間未満 6 4時間-5時間未満 7 5時間以上 8 ほとんどしない
【全員】	問47	学業以外(サークル活動、アルバイトを除く)の過ごし方はどれですか。主なものを3つ以内で選んでください。	1 スポーツ 2 旅行 3 音楽を聴く 4 カラオケで歌う 5 楽器をひく 6 読書 7 新聞を読む 8 娯楽雑誌を読む 9 映画を見る 10 テレビ・ビデオを見る 11 芝居・演劇をみる 12 ゲームをする 13 室内娯楽(マージャン等) 14 散歩・ショッピング 15 パソコン 16 ドライブ・ツーリング 17 釣り 18 ぼんやり過ごす 19 友人とおしゃべり 20 ボランティア活動 21 その他
【全員】	問48	大学入学後にボランティア活動に参加したことがありますか。	1 ある → 【問49】へ 2 ない → 【問50】へ
【該当者】	問49	(【問48】で「1 ある」と答えた人) どのような活動分野ですか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 社会福祉関係 2 教育・文化・学術関係 3 国際交流関係 4 環境保護関係 5 保健・衛生関係 6 地域振興関係 7 災害復興(支援)関係 8 その他
【全員】	問50	本学に入学後、外国旅行をしたことがありますか。	1 ある → 【問51】へ 2 ない → 【問53】へ
【該当者】	問51	(【問49】で「1 ある」と答えた人) 外国旅行の目的はどれでしたか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 語学研修 2 留学(6か月以上) 3 学術調査 4 課外活動 5 観光 6 社会活動 7 学会参加 8 特別な目的はない 9 その他
【該当者】	問52	(【問49】で「1 ある」と答えた人) 外国旅行の費用は主にどこから工面しましたか。	1 アルバイトによる収入 2 父母からの援助 3 父母以外からの援助 4 旅行ローン 5 その他のための貯金 6 その他
【全員】	問53	読書について、1か月に何冊程度読みますか(マンガ、雑誌を除く)。	1 1冊-4冊 2 5冊-9冊 3 10冊以上 4 その他

回答対象	設問		回答の選択肢
【全員】	問54	本学に入学した主な理由はどれですか。主なものを3つ以内で選んでください。	1 大学の特色・学風 2 新潟の風土にひかれた 3 自分の好む専攻分野がある 4 実力相応と思った 5 入試センター試験の結果をみて 6 浪人しなかった 7 将来の進路を考えて 8 親・教師・先輩のすすめ 9 友人が入学したから 10 経済的理由から 11 地元である 12 特別な理由はない 13 その他
【全員】	問55	大学生活で重視していることはなんですか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 勉強や研究 2 クラブ・サークルの活動 3 自分の趣味 4 良き友を得たり、豊かな人間関係を結ぶこと 5 将来就きたい仕事の資格を取得すること 6 アルバイトや貯金 7 特になし 8 その他
【全員】	問56	全体として新潟大学での大学生活に満足していますか。	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
【全員】	問57	新潟大学のどんなところに魅力を感じますか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 大学の特色・学風 2 大学の風土 3 キャンパスが広い 4 キャンパスに緑が多い 5 充実した設備 6 充実したスタッフ 7 その他 → (【問57】)へ
【該当者】	(問57)	(【問57】で「7 その他」と答えた人) 具体的な内容を記入してください。	
9. 大学の施設・設備について			
【全員】	問58	所属する学部・研究科の教育・研究施設(研究室、実験室、講義室等)の広さや機能(質)についてどのように感じますか。	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
【自由記述】	(問58)	(所属する学部・研究科の教育・研究施設(研究室、実験室、講義室等)の広さや機能(質)について) 意見があれば、記入してください。	
【全員】	問59	図書館をどの程度利用しますか。	1 週に6日以上 2 週に4-5日 3 週に1-3日 4 月に3-4日 5 月に1-2日 6 ほとんど利用しない
【全員】	問60	図書館の利用目的は何ですか。主なものを3つ以内で選んでください。	1 図書の貸出、閲覧 2 CD・ビデオの貸出、閲覧 3 雑誌・新聞の閲覧 4 文献複写 5 文献検索 6 パソコンの利用(文献複写目的以外) 7 自習 8 グループ学習 9 FL-SALC(外国語学習支援スペース) 10 授業関連(ICT講義室、ライブラリーホール、プレゼンエリア等) 11 休憩等(カフェ、気分転換、待ち合わせ) 12 その他
【全員】	問61	図書館についてどのように感じますか。	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
【自由記述】	(問61)	(図書館について) 意見があれば、記入してください。	
【全員】	問62	普段利用する福利厚生・共通施設(食堂、体育施設等)の広さや機能(質)についてどのように感じますか。	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
【自由記述】	(問62)	(普段利用する福利厚生・共通施設(食堂、体育施設等)の広さや機能(質)について) 意見があれば、記入してください。	
【全員】	問63	普段利用する屋外環境施設(駐輪場、広場等)の広さや機能(質)についてどのように感じますか。	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
【自由記述】	(問63)	(普段利用する屋外環境施設(駐輪場、広場等)の広さや機能(質)について) 意見があれば、記入してください。	

回答対象		設問	回答の選択肢
【全員】	問64	新潟大学のICT (Information and Communication Technology) 環境 (インターネット、メール等) についてどのように感じますか。	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
【自由記述】	(問64)	(新潟大学のICT (Information and Communication Technology) 環境 (インターネット、メール等) について) 意見があれば、記入してください。	
【全員】	問65	新潟大学全体の施設等についてどんな不満を持っていますか。主なものを3つ以内で選んでください。	1 休憩の場所がない 2 食堂が利用しにくい 3 体育施設が利用しにくい 4 駐車場が狭い 5 駐輪場が狭い 6 厚生施設が不十分 7 校舎が汚い 8 事務室の窓口が不親切 9 学生の横のつながりが少ない 10 授業以外に教員に接する機会が少ない 11 昼の休憩時間が短い 12 校舎の利用時間が制限されている 13 その他 14 特別な不満はない
【該当者】	(問65)	(【問65】で「13 その他」と答えた人) 具体的な内容を記入してください。	
10. 授業等について			
【全員】	問66	カリキュラムに対する満足度はどうですか。	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
【全員】	問67	授業にはどれぐらい出席していますか。	1 100% 2 90%以上100%未満 3 75%以上90%未満 4 50%以上75%未満 5 25%以上50%未満 6 25%未満
【全員】	問68	授業をどれぐらい理解できていますか。	1 100% 2 90%以上100%未満 3 75%以上90%未満 4 50%以上75%未満 5 25%以上50%未満 6 25%未満
【全員】	問69	授業内容にわからないことがあった場合、どのようにしていますか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 授業中に質問する 2 教員に個人的に質問する 3 先輩・友人等に教わる 4 友人同士で議論する 5 参考書などで調べる 6 何もしない 7 その他
【全員】	問70	受けている授業にどれぐらい満足していますか。	1 100% 2 90%以上100%未満 3 75%以上90%未満 4 50%以上75%未満 5 25%以上50%未満 6 25%未満
【全員】	問71	授業に不満がある場合、その理由は何ですか。主なものを2つ以内で選んでください。	1 授業内容がむずかしくて理解できない 2 授業内容がつまらない 3 高校の授業内容とあまり変わらない 4 教員の教え方に工夫が足りない 5 受講者数が多すぎて集中できない 6 休講が多い 7 試験・レポートなどが多い 8 単位認定が厳しすぎる 9 その他
【該当者】	(問71)	(【問71】で「9 その他」と答えた人) 具体的な内容を記入してください。	
【大学院生】	問72	教育研究指導について満足度はどの程度ですか。	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
【大学院生】	問73	教育研究環境 (施設・設備等) について満足度はどの程度ですか。	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない
【大学院生 該当者】	問74	(【問72】または【問73】で「4 どちらかといえば満足していない」または「5 満足していない」と答えた人) 具体的な理由を記入してください。	
11. その他			
【自由記述】		上記で回答した以外に、意見・要望があれば、以下に記入してください。	

問1 どの学部・研究科に所属していますか。

1. 人文 2. 教育・教育人間 3. 法 4. 経済 5. 理 6. 医医 7. 医保 8. 歯 9. 工 10. 農
 11. 創生学部 12. 教育研 13. 現社研（前） 14. 現社研（後） 15. 自然研（前） 16. 自然研（後） 17. 保健研（前）
 18. 保健研（後） 19. 医歯研（医修） 20. 医歯研（医博） 21. 医歯研（歯前） 22. 医歯研（歯後） 23. 医歯研（歯博） 24. 技術経営研究科

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
110	69	72	115	99	63	104	14	183	67	42	0	11	6	47
(10.6)	(6.7)	(7.0)	(11.1)	(9.6)	(6.1)	(10.1)	(1.4)	(17.7)	(6.5)	(4.1)	(0.0)	(1.1)	(0.6)	(4.5)
16	17	18	19	20	21	22	23	24	計					
11	3	3	3	5	0	1	5	0	1033					
(1.1)	(0.3)	(0.3)	(0.3)	(0.5)	(0.0)	(0.1)	(0.5)	(0.0)	(100.0)					

問2 現在何年生ですか。

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生 5. 5年生 6. 6年生

1	2	3	4	5	6	計
473	251	184	117	6	2	1033
(45.8)	(24.3)	(17.8)	(11.3)	(0.6)	(0.2)	(100.0)

問3 性別

1. 男 2. 女

1	2	計
563	470	1033
(54.5)	(45.5)	(100.0)

問4 実家のあるところはどこですか。

- | | | | | | | | | |
|----------|---------|---------|---------|----------|---------|----------|---------|---------|
| 1. 新潟市 | 2. 上越地方 | 3. 中越地方 | 4. 下越地方 | 5. 佐渡市 | 6. 北海道 | 7. 青森県 | 8. 岩手県 | 9. 宮城県 |
| 10. 秋田県 | 11. 山形県 | 12. 福島県 | 13. 茨城県 | 14. 栃木県 | 15. 群馬県 | 16. 埼玉県 | 17. 千葉県 | 18. 東京都 |
| 19. 神奈川県 | 20. 富山県 | 21. 石川県 | 22. 福井県 | 23. 山梨県 | 24. 長野県 | 25. 岐阜県 | 26. 静岡県 | 27. 愛知県 |
| 28. 三重県 | 29. 滋賀県 | 30. 京都府 | 31. 大阪府 | 32. 兵庫県 | 33. 奈良県 | 34. 和歌山県 | 35. 鳥取県 | 36. 島根県 |
| 37. 岡山県 | 38. 広島県 | 39. 山口県 | 40. 徳島県 | 41. 香川県 | 42. 愛媛県 | 43. 高知県 | 44. 福岡県 | 45. 佐賀県 |
| 46. 長崎県 | 47. 熊本県 | 48. 大分県 | 49. 宮崎県 | 50. 鹿児島県 | 51. 沖縄県 | 52. 外国 | | |

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
170 (16.5)	29 (2.8)	120 (11.6)	65 (6.3)	12 (1.2)	25 (2.4)	17 (1.6)	10 (1.0)	14 (1.4)	53 (5.1)	66 (6.4)	69 (6.7)	12 (1.2)	38 (3.7)	56 (5.4)
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
20 (1.9)	7 (0.7)	17 (1.6)	15 (1.5)	41 (4.0)	14 (1.4)	16 (1.5)	8 (0.8)	36 (3.5)	6 (0.6)	12 (1.2)	5 (0.5)	1 (0.1)	2 (0.2)	7 (0.7)
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
8 (0.8)	4 (0.4)	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	2 (0.2)	0 (0.0)	4 (0.4)	3 (0.3)
46	47	48	49	50	51	52	計							
2 (0.2)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (0.5)	35 (3.4)	1033 (100.0)							

(【問4】で「52 外国」と答えた人のみ)

具体的な国名を記入ください。

1. 中国 2. 台湾 3. ミャンマー 4. マレーシア 5. モンゴル

1	2	3	4	5	計
28	3	1	2	1	35

問5 家族は何人ですか。(ただし、就職し、かつ別居している兄弟姉妹は除く。)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人 7. 7人 8. 8人 9. 9人以上

1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
35 (3.4)	63 (6.1)	238 (23.0)	346 (33.5)	197 (19.1)	114 (11.0)	31 (3.0)	5 (0.5)	4 (0.4)	1033 (100.0)

問6 授業料を負担している人は誰ですか。

1. 本人 2. 家計支持者（あなたの保護者） 3. 家計支持者以外の家族 4. その他

1	2	3	4	計
99	896	18	20	1033
(9.6)	(86.7)	(1.7)	(1.9)	(100.0)

問7 主な家計支持者の年間（1月から12月まで）総収入（税込）はどのくらいですか。

1. 200万円未満 2. 200～400万円未満 3. 400～600万円未満 4. 600～800万円未満 5. 800～1000万円未満 6. 1000万円以上

1	2	3	4	5	6	計
109	220	271	230	109	94	1033
(10.6)	(21.3)	(26.2)	(22.3)	(10.6)	(9.1)	(100.0)

問8 現在の住居所在地はどこですか。

1. 五十嵐，大学南，内野 2. 大野，新通，槇尾 3. 坂井，坂井輪，寺尾 4. 旭町地区 5. 公共交通機関で片道1時間以内
6. その他

1	2	3	4	5	6	計
715	4	23	104	90	97	1033
(69.2)	(0.4)	(2.2)	(10.1)	(8.7)	(9.4)	(100.0)

問9 現在の住居はどれですか。

1. 自宅 2. 台所・バス・トイレ付きアパート・マンション 3. バスなしアパート 4. 一戸建て借家 5. 下宿・借間 6. 学生寮
7. 親戚・知人宅 8. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	計
184	733	9	3	17	79	5	3	1033
(17.8)	(71.0)	(0.9)	(0.3)	(1.6)	(7.6)	(0.5)	(0.3)	(100.0)

問10 通学方法は主にどれですか。

1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 鉄道 4. バス 5. 自動車 6. オートバイ・スクーター

1	2	3	4	5	6	計
494	325	113	45	47	9	1033
(47.8)	(31.5)	(10.9)	(4.4)	(4.5)	(0.9)	(100.0)

問11 通学に要する片道時間はどのくらいですか。

1. 30分未満 2. 30分～1時間 3. 1～1.5時間 4. 1.5～2時間 5. 2時間以上

1	2	3	4	5	計
839	89	67	24	14	1033
(81.2)	(8.6)	(6.5)	(2.3)	(1.4)	(100.0)

問12 主に自分が使用できる自動車を所有していますか。

1. 所有している 2. 所有していない

1	2	計
295	738	1033
(28.6)	(71.4)	(100.0)

問13 朝食・昼食・夕食はどのようにして食べていますか。

1. 自宅（家族等が用意した物を食べる） 2. 自炊 3. コンビニで購入 4. 生協で購入 5. 学生食堂を利用
6. 学外の食堂等を利用 7. その他 8. 食べない

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
朝食	192	482	92	18	30	4	22	193	1033
	(18.6)	(46.7)	(8.9)	(1.7)	(2.9)	(0.4)	(2.1)	(18.7)	(100.0)
昼食	60	276	116	130	346	53	38	14	1033
	(5.8)	(26.7)	(11.2)	(12.6)	(33.5)	(5.1)	(3.7)	(1.4)	(100.0)
夕食	200	598	91	6	22	57	53	6	1033
	(19.4)	(57.9)	(8.8)	(0.6)	(2.1)	(5.5)	(5.1)	(0.6)	(100.0)

問14-1 奨学金の貸与（給与）月額はいくらですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1～9千円 3. 10～29千円 4. 30～49千円 5. 50～69千円 6. 70～84千円 7. 85～99千円
8. 100～119千円 9. 120～139千円 10. 140～159千円 11. 160～199千円 12. 200千円以上 13. 無回答

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	計
0	0	18	118	218	47	10	23	18	11	3	0	0	466
(0.0)	(0.0)	(3.9)	(25.3)	(46.8)	(10.1)	(2.1)	(4.9)	(3.9)	(2.4)	(0.6)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

問14-2 家計支持者から援助を受けている金額は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1～9千円 3. 10～29千円 4. 30～49千円 5. 50～69千円 6. 70～84千円 7. 85～99千円
8. 100～119千円 9. 120～139千円 10. 140～159千円 11. 160～199千円 12. 200千円以上

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
253	40	150	151	215	81	13	102	10	14	3	1	1033
(24.5)	(3.9)	(14.5)	(14.6)	(20.8)	(7.8)	(1.3)	(9.9)	(1.0)	(1.4)	(0.3)	(0.1)	(100.0)

問14-3 家計支持者以外から援助を受けている金額は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1～9千円 3. 10～29千円 4. 30～49千円 5. 50～69千円 6. 70～84千円 7. 85～99千円
8. 100～119千円 9. 120～139千円 10. 140～159千円 11. 160～199千円 12. 200千円以上

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
945	19	34	20	6	3	1	3	0	2	0	0	1033
(91.5)	(1.8)	(3.3)	(1.9)	(0.6)	(0.3)	(0.1)	(0.3)	(0.0)	(0.2)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

問14-4 家庭教師によるアルバイト収入は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1～9千円 3. 10～29千円 4. 30～49千円 5. 50～69千円 6. 70～84千円 7. 85～99千円
8. 100～119千円 9. 120～139千円 10. 140～159千円 11. 160～199千円 12. 200千円以上

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
946	12	52	12	9	0	0	1	1	0	0	0	1033
(91.6)	(1.2)	(5.0)	(1.2)	(0.9)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(221.7)

問14-5 家庭教師以外のアルバイトによる収入は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1～9千円 3. 10～29千円 4. 30～49千円 5. 50～69千円 6. 70～84千円 7. 85～99千円
8. 100～119千円 9. 120～139千円 10. 140～159千円 11. 160～199千円 12. 200千円以上

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
415	31	186	203	141	45	5	2	2	3	0	0	1033
(40.2)	(3.0)	(18.0)	(19.7)	(13.6)	(4.4)	(0.5)	(0.2)	(0.2)	(0.3)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

問14-6 その他（【問14-1】～【問14-5】以外）の収入は1か月平均でどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1～9千円 3. 10～29千円 4. 30～49千円 5. 50～69千円 6. 70～84千円 7. 85～99千円
8. 100～119千円 9. 120～139千円 10. 140～159千円 11. 160～199千円 12. 200千円以上

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
933	28	31	11	10	6	1	6	1	1	2	3	1033
(90.3)	(2.7)	(3.0)	(1.1)	(1.0)	(0.6)	(0.1)	(0.6)	(0.1)	(0.1)	(0.2)	(0.3)	(100.0)

問15 （問14-2で奨学金による収入について記入した人）奨学金はどこから受けていますか。（全て）

1. 日本学生支援機構（第一種） 2. 日本学生支援機構（第二種） 3. 地方公共団体 4. 民間団体 5. その他

1	2	3	4	5	対象者
297	168	40	27	32	564
(52.7)	(29.8)	(7.1)	(4.8)	(5.7)	

問16-1 住居費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1～9千円 3. 10～29千円 4. 30～49千円 5. 50～69千円 6. 70～99千円
7. 100～149千円 8. 150千円以上

1	2	3	4	5	6	7	8	計
172	31	147	489	154	27	10	3	1033
(16.7)	(3.0)	(14.2)	(47.3)	(14.9)	(2.6)	(1.0)	(0.3)	(100.0)

問16-2 食費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1～9千円 3. 10～29千円 4. 30～49千円 5. 50～69千円 6. 70～99千円
7. 100～149千円 8. 150千円以上

1	2	3	4	5	6	7	8	計
56	70	469	401	31	2	2	2	1033
(5.4)	(6.8)	(45.4)	(38.8)	(3.0)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(100.0)

問16-3 勉学費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1～9千円 3. 10～29千円 4. 30～49千円 5. 50～69千円 6. 70～99千円
7. 100～149千円 8. 150千円以上

1	2	3	4	5	6	7	8	計
175	505	318	18	9	3	3	2	1033
(16.9)	(48.9)	(30.8)	(1.7)	(0.9)	(0.3)	(0.3)	(0.2)	(100.0)

問16-4 娯楽費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1～9千円 3. 10～29千円 4. 30～49千円 5. 50～69千円 6. 70～99千円
7. 100～149千円 8. 150千円以上

1	2	3	4	5	6	7	8	計
72	289	571	81	17	3	0	0	1033
(7.0)	(28.0)	(55.3)	(7.8)	(1.6)	(0.3)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

問16-5 被服費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1～9千円 3. 10～29千円 4. 30～49千円 5. 50～69千円 6. 70～99千円
7. 100～149千円 8. 150千円以上

1	2	3	4	5	6	7	8	計
206	442	352	26	4	1	2	0	1033
(19.9)	(42.8)	(34.1)	(2.5)	(0.4)	(0.1)	(0.2)	(0.0)	(100.0)

問16-6 通学費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1～9千円 3. 10～29千円 4. 30～49千円 5. 50～69千円 6. 70～99千円
7. 100～149千円 8. 150千円以上

1	2	3	4	5	6	7	8	計
770	158	92	9	2	1	1	0	1033
(74.5)	(15.3)	(8.9)	(0.9)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(100.0)

問16-7 その他雑費の1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1～9千円 3. 10～29千円 4. 30～49千円 5. 50～69千円 6. 70～99千円
7. 100～149千円 8. 150千円以上

1	2	3	4	5	6	7	8	計
173	364	438	39	11	4	3	1	1033
(16.7)	(35.2)	(42.4)	(3.8)	(1.1)	(0.4)	(0.3)	(0.1)	(100.0)

問16-8 預貯金のための1か月の平均支出額はどのくらいですか。千円単位で記入してください。

1. 0円 2. 1～9千円 3. 10～29千円 4. 30～49千円 5. 50～69千円 6. 70～99千円
7. 100～149千円 8. 150千円以上

1	2	3	4	5	6	7	8	計
461	145	308	70	32	7	8	2	1033
(44.6)	(14.0)	(29.8)	(6.8)	(3.1)	(0.7)	(0.8)	(0.2)	(100.0)

問17 大学入学後アルバイトをしたことがありますか。(全て)

1. 長期 2. 短期 3. 休業期間に限って 4. 全くしたことがない

1	2	3	4	計
676	277	61	207	1221
(55.4)	(22.7)	(5.0)	(17.0)	(100.0)

問18 (問17でアルバイトをしたことがあると答えた人) アルバイトをした理由はどれですか。(2つ以内)

1. 家庭の経済的負担を軽減 2. 学業を継続 3. こづかい・臨時の支出 4. 家族からできるだけ自立 5. 社会経験 6. 特別な理由なし
7. その他

1	2	3	4	5	6	7	対象者
239	77	548	108	324	41	23	1360
(17.6)	(5.7)	(40.3)	(7.9)	(23.8)	(3.0)	(1.7)	

問19 (問17でアルバイトをしたことがあると答えた人) アルバイトの職種はどれですか。(2つ以内)

1. 家庭教師 2. 学習塾講師 3. 一般事務 4. 調査・技術 5. 販売・サービス 6. 肉体労働 7. 飲食業(ファミレス・居酒屋)
8. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	対象者
57	174	36	11	287	94	332	104	1095
(5.2)	(15.9)	(3.3)	(1.0)	(26.2)	(8.6)	(30.3)	(9.5)	

問20 (問17でアルバイトをしたことがあると答えた人) アルバイトの1週間の平均就労日数は何日くらいですか。

1. 1日～2日 2. 3日～4日 3. 5日～7日

1	2	3	対象者
372	389	49	810
(45.9)	(48.0)	(6.0)	

問21 (問17でアルバイトをしたことがあると答えた人) アルバイトの1週間の平均就労時間は何時間くらいですか。

1. 5時間未満 2. 5～9時間 3. 10～19時間 4. 20～29時間 5. 30～39時間 6. 40～49時間 7. 50時間以上

1	2	3	4	5	6	7	対象者
201	338	172	49	7	3	3	773
(26.0)	(43.7)	(22.3)	(6.3)	(0.9)	(0.4)	(0.4)	

問22 (問17でアルバイトをしたことがあると答えた人) アルバイトの収入は何に使いましたか。(2つ以内)

1. 衣食住 2. 授業料 3. 勉学 4. 娯楽レジャー 5. 課外活動 6. 耐久消費財 7. 旅行 8. 資格等取得 9. 預貯金 10. 特別な目的
11. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	対象者
360	30	77	391	69	16	128	11	175	72	21	1350
(26.7)	(2.2)	(5.7)	(29.0)	(5.1)	(1.2)	(9.5)	(0.8)	(13.0)	(5.3)	(1.6)	

問23 (問17でアルバイトをしたことがあると答えた人) 学業との関係はどうでしたか。

1. 学業に役立つ 2. ほとんど支障なし 3. 少し支障あり 4. 授業への出席が悪くなった 5. 成績が悪くなった 6. その他

1	2	3	4	5	6	対象者
114	444	248	32	19	12	869
(13.1)	(51.1)	(28.5)	(3.7)	(2.2)	(1.4)	

問24 現在、サークル(部)に加入していますか。(2つ以内)

1. 学友会所属の文科系 2. 学友会所属の体育系 3. 学友会以外の学内文科系 4. 学友会以外の学内体育系
5. 学外の文化系 6. 学外の体育系 7. 学内外のいずれにも加入していない

1	2	3	4	5	6	7	対象者
283	294	103	97	22	19	317	1135
(24.9)	(25.9)	(9.1)	(8.5)	(1.9)	(1.7)	(27.9)	

問25 (問24でサークルに加入していると答えた人) サークルに加入した理由はどれですか。(2つ以内)

1. 団体生活に興味 2. 活動内容が好き 3. 知識・教養を得る 4. 免許等の資格を得る 5. 健康増進 6. 友人を得る
7. 就職のことを考えて 8. レクリエーション 9. 特技の向上 10. 社会のため 11. 特別な理由はない 12. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	対象者
115	479	51	4	51	255	23	45	60	6	30	14	1133
(10.2)	(42.3)	(4.5)	(0.4)	(4.5)	(22.5)	(2.0)	(4.0)	(5.3)	(0.5)	(2.6)	(1.2)	

問26 (問24でサークルに加入していると答えた人) サークル活動と学業との関係はどうですか。

1. 学業をかなり犠牲 2. 学業を少し犠牲 3. 学業に影響ない 4. 学業にプラス 5. 学業にはかなりプラス

1	2	3	4	5	対象者
22	181	431	57	19	710
(3.1)	(25.5)	(60.7)	(8.0)	(2.7)	

問27 (問24でサークルに加入していると答えた人) サークルの1週間の平均活動日数は何日くらいですか。

1. 1～2日 2. 3～4日 3. 5～7日

1	2	3	対象者
401 (56.9)	249 (35.3)	55 (7.8)	705

問28 (問24でサークルに加入していると答えた人) サークル活動している時間は1週間当たり平均何時間ですか。

1. 1時間未満 2. 1～2時間 3. 3～4時間 4. 5～7時間 5. 8～10時間 6. 11～14時間 7. 15～19時間
8. 20～29時間 9. 30時間以上

1	2	3	4	5	6	7	8	9	対象者
15 (2.3)	201 (30.3)	216 (32.5)	108 (16.3)	68 (10.2)	15 (2.3)	19 (2.9)	12 (1.8)	10 (1.5)	664

問29 (問24でサークルに加入していると答えた人) 課外活動施設の満足度は、どうですか。

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない 5. 満足していない

1	2	3	4	5	対象者
319 (46.2)	201 (29.1)	109 (15.8)	37 (5.4)	24 (3.5)	690

問30 (問24でサークルに加入していると答えた人) サークルに加入していない理由はどれですか, (2つ以内)

1. 学業の妨げ 2. 練習が苦痛 3. 健康上の理由 4. 興味のあるサークルがない 5. 拘束されたくない 6. 対人関係が面倒
7. 経済的な理由 8. 時間がない 9. 特別な理由はない 10. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	対象者
40 (9.2)	9 (2.1)	4 (0.9)	61 (14.1)	67 (15.5)	43 (9.9)	17 (3.9)	58 (13.4)	85 (19.6)	49 (11.3)	433

問31 紙タバコや加熱式タバコ・電子タバコを喫煙していますか

1. 喫煙していない 2. 紙タバコのみ喫煙 3. 加熱式タバコ・電子タバコのみ使用 4. 紙タバコと加熱式タバコ・電子タバコを併用

1	2	3	4	対象者
988	27	8	10	1033
(95.6)	(2.6)	(0.8)	(1.0)	

問32 1年以内に大学の敷地内で受動喫煙を受けたことがありますか

1. 建物外である 2. 建物内である 3. ない

1	2	3	対象者
332	72	669	1073
(30.9)	(7.0)	(64.8)	

問33 どのくらいの頻度でお酒を飲みますか？

1. ほぼ毎日 2. 週に3～5日 3. 週に1～2日 4. 月に2～3日 5. 月に1日以下 6. それ以下の頻度 7. お酒は飲まない

1	2	3	4	5	6	7	対象者
13	34	118	216	106	114	432	1033
(1.3)	(3.3)	(11.4)	(20.9)	(10.3)	(11.0)	(41.8)	

問34 アルコールの一気に飲みを強要（アルコールを飲めない場合を含む）されたことがありますか

1. ある 2. ない 3. どちらともいえない

1	2	3	対象者
73	878	82	1033
(7.1)	(85.0)	(7.9)	

問35 現在悩んでいることはありますか。

1. ある 2. ない

1	2	計
425	608	1033
(41.1)	(58.9)	(100.0)

問36 (問35で悩みがあると答えた人) 悩みの原因は主にどれですか。(3つ以内)

1. 勉学 2. 家庭 3. 異性関係 4. 友人 5. 指導教員との関係 6. 将来の進路 7. 健康 8. 経済的なこと 9. 自分の性格
10. セクシャル・ハラスメント 11. アカデミック・ハラスメント 12. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	対象者
233	44	69	52	14	251	60	114	101	3	6	30	977
(23.8)	(4.5)	(7.1)	(5.3)	(1.4)	(25.7)	(6.1)	(11.7)	(10.3)	(0.3)	(0.6)	(3.1)	

問37 (問35で悩みがあると答えた人) 悩みが生じたらどのような方法で解消しますか。(2つ以内)

1. 学生なんでも相談窓口に行く 2. 学生相談ルームに行く 3. 保健管理センターに行く 4. 教員に相談 5. 先輩・友人に相談
6. 家族に相談 7. 学外機関に相談 8. 自分ひとりで解決するよう努力 9. 解消方法がわからない 10. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	対象者
3	7	3	15	223	139	7	204	65	17	683
(0.4)	(1.0)	(0.4)	(2.2)	(32.7)	(20.4)	(1.0)	(29.9)	(9.5)	(2.5)	

問38 セクシャル・ハラスメントまたはアカデミックハラスメントを受けたことはありますか。

1. ある 2. ない

1	2	計
42	991	1033
(4.1)	(95.9)	(100.0)

問39 (問38で「ある」と答えた人) 誰から受けましたか。(2つ以内)

1. 教員 2. 事務職員 3. 研究室仲間 4. サークル仲間 5. 同級生・先輩 6. 友人 7. 家族・親戚 8 その他

1	2	3	4	5	6	7	8	対象者
22 (36.1)	3 (4.9)	0 (0.0)	4 (6.6)	3 (4.9)	3 (4.9)	4 (6.6)	22 (36.1)	61

問40 学生なんでも相談窓口でハラスメントの相談ができることを知っていますか

1. はい 2. いいえ

1	2	計
467 (45.2)	566 (54.8)	1033 (100.0)

問41 悪徳商法, 詐欺等の被害に遭ったことはありますか。

1. ある 2. ない

1	2	計
36 (3.5)	997 (96.5)	1033 (100.0)

問42 (問37または問41で「ある」と答えた人) その後の対応はどのようにしましたか。(2つ以内)

1. 家族に相談 2. 友人・先輩に相談 3. 教員・事務職員に相談 4. 学内の相談窓口相談 5. 学外の相談窓口相談
6. 誰にも相談しなかった 7. 解消方法がわからない 8. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	計
23 (32.9)	18 (25.7)	1 (1.4)	0 (0.0)	1 (1.4)	11 (15.7)	6 (8.6)	10 (14.3)	70

問43 新潟大学の教育理念・教育目標を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

1	2	計
343	690	1033
(33.2)	(66.8)	(100.0)

問44 所属する学部・研究科の教育理念・教育目標を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

1	2	計
413	620	1033
(40.0)	(60.0)	(100.0)

問45 大学に登校するのは、現在、1週間に平均何日ですか。

1. 0日 2. 1日 3. 2日 4. 3日 5. 4日 6. 5日 7. 6日 8. 7日

1	2	3	4	5	6	7	8	計
8	15	33	56	176	663	57	23	1031
(0.8)	(1.5)	(3.2)	(5.4)	(17.1)	(64.3)	(5.5)	(2.2)	(100.0)

問46 授業以外の自習時間は1日平均どのくらいですか。

1. 30分未満 2. 30分～1時間 3. 1～2時間未満 4. 2～3時間未満 5. 3～4時間未満 6. 4～5時間未満
7. 5時間以上 8. ほとんどなし

1	2	3	4	5	6	7	8	計
102	198	304	179	82	44	79	45	1033
(9.9)	(19.2)	(29.4)	(17.3)	(7.9)	(4.3)	(7.6)	(4.4)	(100.0)

問47 学業以外（サークル活動、アルバイトを除く）の過ごし方はどれですか。（3つ以内）

1. スポーツ 2. 旅行 3. 音楽を聴く 4. カラオケで歌う 5. 楽器を弾く 6. 読書 7. 新聞を読む 8. 娯楽雑誌を読む
 9. 映画を見る 10. テレビ・ビデオを見る 11. 芝居・演劇を観る 12. ゲームをする 13. 室内娯楽（麻雀等） 14. 散歩・ショッピング
 15. パソコン 16. ドライブ・ツーリング 17. 釣り 18. ぼんやり過ごす 19. 友人とおしゃべり 20. ボランティア活動 21. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
127	114	383	67	55	195	14	13	124	414	7	327	19	108	195
(4.7)	(4.2)	(14.1)	(2.5)	(2.0)	(7.2)	(0.5)	(0.5)	(4.6)	(15.3)	(0.3)	(12.0)	(0.7)	(4.0)	(7.2)
16	17	18	19	20	21	対象者								
34	10	236	190	13	69	2714								
(1.3)	(0.4)	(8.7)	(7.0)	(0.5)	(2.5)									

問48 大学入学後にボランティア活動に参加したことがありますか。

1. ある 2. ない

1	2	計
236	797	1033
(22.8)	(77.2)	(100.0)

問49 （問48で「1」と答えた人）どのような活動分野ですか（2つ以内）

1. 社会福祉関係 2. 教育・文化・学術関係 3. 国際交流・協力関係 4. 環境保護関係 5. 保険・衛生関係 6. 地域振興関係
 7. 災害復興（支援）関係 8. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	対象者
44	101	20	40	19	44	12	16	296
(14.9)	(34.1)	(6.8)	(13.5)	(6.4)	(14.9)	(4.1)	(5.4)	

問50 本学に入学後、外国旅行をしたことがありますか。

1. ある 2. ない

1	2	計
171	862	1033
(16.6)	(83.4)	(100.0)

問51 (問50で「1」と答えた人) 外国旅行の目的はどれでしたか。

1. 語学研修 2. 留学(6か月以上) 3. 学術調査 4. 課外活動 5. 観光 6. 社会活動 7. 学会参加 8. 特別な目的はない
9. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	対象者
55 (24.8)	8 (3.6)	6 (2.7)	14 (6.3)	109 (49.1)	1 (0.5)	12 (5.4)	3 (1.4)	14 (6.3)	222

問52 (問50で「1」と答えた人) 外国旅行の費用は主にどこから工面しましたか。

1. アルバイトによる収入 2. 父母からの援助 3. 父母以外からの援助 4. 旅行ローン 5. そのための貯金 6. その他

1	2	3	4	5	6	対象者
62 (35.8)	68 (39.3)	9 (5.2)	1 (0.6)	14 (8.1)	19 (11.0)	173

問53 読書について 1か月に何冊程度読みますか。(マンガ, 雑誌を除く)

1. 1~4冊 2. 5~9冊 3. 10冊以上 4. その他

1	2	3	4	計
646 (62.5)	66 (6.4)	15 (1.5)	306 (29.6)	1033 (100.0)

問54 本学に入学した主な理由はどれですか。(3つ以内)

1. 大学の特色・学風 2. 新潟の風土にひかれた 3. 自分の好む専攻がある 4. 実力相応と思った 5. 入試センター試験の結果を見て
6. 浪人しなくなかった 7. 将来を考えて 8. 親・教師・先輩のすすめ 9. 友人が入学したから 10. 経済的理由 11. 地元だから
12. 特別な理由はない 13. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	対象者
157 (7.1)	85 (3.8)	312 (14.0)	244 (11.0)	350 (15.8)	179 (8.1)	211 (9.5)	159 (7.2)	12 (0.5)	149 (6.7)	250 (11.3)	71 (3.2)	42 (1.9)	2221

問55 学生生活で重視していることは次のうちどれですか。(2つ以内)

1. 勉強や研究 2. クラブ・サークル活動 3. 自分の趣味 4. 良き友を得たり, 豊かな人間関係を結ぶこと 5. 将来就きたい仕事の資格を得たり
6. アルバイトや貯金 7. 特になし 8. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	対象者
645	245	195	388	182	65	59	15	1794
(36.0)	(13.7)	(10.9)	(21.6)	(10.1)	(3.6)	(3.3)	(0.8)	

問56 全体として新潟大学に満足していますか。

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない 5. 満足していない

1	2	3	4	5	計
309	469	169	54	32	1033
(29.9)	(45.4)	(16.4)	(5.2)	(3.1)	(100.0)

問57 新潟大学のどんなところに魅力を感じますか。(2つ以内)

1. 特色・学風 2. 風土 3. キャンパスが広い 4. 緑が多い 5. 充実した設備 6. 充実したスタッフ 7. その他

1	2	3	4	5	6	7	対象者
337	202	294	233	124	65	110	1365
(24.7)	(14.8)	(21.5)	(17.1)	(9.1)	(4.8)	(8.1)	(100.0)

問58 所属する学部・研究科の教育施設(研究室, 実験室, 講義室など)の広さや機能(質)についてどのように感じますか。

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない 5. 満足していない

1	2	3	4	5	計
214	407	229	113	70	1033
(20.7)	(39.4)	(22.2)	(10.9)	(6.8)	(100.0)

問59 図書館をどの程度利用しますか。

1. 週に6日以上 2. 週に4～5日 3. 週に1～3日 4. 月に3～4日 5. 月に1～2日 6. ほとんど利用しない

1	2	3	4	5	6	計
33	104	306	183	200	207	1033
(3.2)	(10.1)	(29.6)	(17.7)	(19.4)	(20.0)	(100.0)

問60 図書館の利用目的は何ですか。(3つ以内)

1. 図書 2. CD・ビデオ 3. 雑誌・新聞 4. 文献複写 5. 文献検索 6. パソコンの利用 7. 自習 8. グループ学習
9. F L - S A L C (外国語学習支援スペース) 10. 授業関連 11. 休憩 12. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	対象者
503	15	49	42	161	148	691	117	14	21	152	43	1956
(25.7)	(0.8)	(2.5)	(2.1)	(8.2)	(7.6)	(35.3)	(6.0)	(0.7)	(1.1)	(7.8)	(2.2)	

問61 図書館についてどのように感じますか。

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない 5. 満足していない

1	2	3	4	5	計
492	364	116	36	25	1033
(47.6)	(35.2)	(11.2)	(3.5)	(2.4)	(100.0)

問62 普段利用する福利厚生・共通施設(食堂, 体育施設等)の広さや機能(質)についてどのように感じますか。

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない 5. 満足していない

1	2	3	4	5	計
297	370	252	71	43	1033
(28.8)	(35.8)	(24.4)	(6.9)	(4.2)	(100.0)

問63 普段利用する屋外環境施設（駐車場，広場など）の広さや機能（質）についてどのように感じますか。

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない 5. 満足していない

1	2	3	4	5	計
283	330	347	40	330	1330
(21.3)	(24.8)	(26.1)	(3.0)	(24.8)	(100.0)

問64 新潟大学のICT環境（インターネット，メール等）についてどのように感じますか。

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない 5. 満足していない

1	2	3	4	5	計
277	394	255	68	39	1033
(26.8)	(38.1)	(24.7)	(6.6)	(3.8)	(100.0)

問65 新潟大学全体の施設，その他についてどんな不満を持っていますか。（3つ以内）

1. 休憩場所がない 2. 食堂が利用しにくい 3. 体育施設が利用しにくい 4. 駐車場が狭い 5. 駐輪場が狭い
6. 厚生施設が不十分 7. 校舎が汚い 8. 事務室の窓口が不親切 9. 学生の横のつながりがいい
10. 授業以外に教員に接する機会が少ない 11. 昼の休憩時間が短い 12. 校舎の利用が制限されている 13. その他 14. 特別な不満はない

11

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
279	189	77	70	50	53	192	136	157	123
(14.8)	(10.0)	(4.1)	(3.7)	(2.7)	(2.8)	(10.2)	(7.2)	(8.3)	(6.5)
11	12	13	14	対象者					
75	168	84	229	1882					
(4.0)	(8.9)	(4.5)	(12.2)						

問66 カリキュラムに対する満足度はどうですか。

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない 5. 満足していない

1	2	3	4	4	計
237	426	258	84	28	1033
(22.9)	(41.2)	(25.0)	(8.1)	(2.7)	(100.0)

問67 授業にはどれぐらい出席していますか。

1. 100% 2. 90%以上100%未満 3. 75%以上90%未満 4. 50%以上75%未満 5. 25%以上50%未満 6. 25%未満

1	2	3	4	5	6	計
381	486	135	22	2	7	1033
(36.9)	(47.0)	(13.1)	(2.1)	(0.2)	(0.7)	(100.0)

問68 授業がよく理解できますか。

1. 100% 2. 90%以上100%未満 3. 75%以上90%未満 4. 50%以上75%未満 5. 25%以上50%未満 6. 25%未満

1	2	3	4	5	6	計
45	219	523	204	28	14	1033
(4.4)	(21.2)	(50.6)	(19.7)	(2.7)	(1.4)	(100.0)

問69 授業内容にわからないことがあった場合、どのようにしていますか。(2つ以内)

1. 授業中に質問 2. 教員に個人的に質問 3. 先輩・友人等に教わる 4. 友人同士で議論 5. 参考書 6. 何もしない 7. その他

1	2	3	4	5	6	7	対象者
54	244	391	433	484	65	20	1691
(3.2)	(14.4)	(23.1)	(25.6)	(28.6)	(3.8)	(1.2)	

問70 受けている授業に満足していますか。

1. 100% 2. 90%以上100%未満 3. 75%以上90%未満 4. 50%以上75%未満 5. 25%以上50%未満 6. 25%未満

1	2	3	4	5	6	計
62	288	436	196	36	15	1033
(6.0)	(27.9)	(42.2)	(19.0)	(3.5)	(1.5)	(100.0)

問71 授業に不満がある場合、その理由はどれですか。(2つ以内)

1. 理解できない 2. つまらない 3. 高校とあまり変わらない 4. 工夫が足りない 5. 受講者数が多い 6. 休講が多い
7. 試験・レポートなどが多い 8. 単位認定が厳しすぎる 9. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	対象者
341	431	50	320	88	14	164	97	75	1580
(21.6)	(27.3)	(3.2)	(20.3)	(5.6)	(0.9)	(10.4)	(6.1)	(4.7)	

問72 (大学院生のみ) 教育研究指導について満足度はどの程度ですか。

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない 5. 満足していない

1	2	3	4	5	計
65	51	54	9	3	182
(35.7)	(28.0)	(29.7)	(4.9)	(1.6)	(100.0)

問73 (大学院生のみ) 教育研究環境(施設・設備等)について満足度はどの程度ですか。

1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば満足していない 5. 満足していない

1	2	3	4	5	計
45	40	35	9	4	133
(33.8)	(30.1)	(26.3)	(6.8)	+	(100.0)

学生生活実態調査報告書（平成30年度）における自由記述「大学に対する意見・要望について」の検討結果について

大学教育委員会学生支援専門委員会

	1.【大学全般に関わるもの】	担当部局	中・長期的対応	検討結果	学生支援専門委員会学生生活実態調査専門部会委員によるコメント
(1)	新潟大学に入学できて幸せです。大好きな大学です。				【コメント】 ・ 学生に対する情報提供のありかたについて、どのような場合にどのような方法で伝達を行うのか、常に検討を加え、改善を心がける必要があると思われる。 ・ 時間割、とくに第1限の開始時間に関して、より遅くすべきとの複数意見がある。これは前回の調査時にも見られた。講義の開始時刻は、多くの要因に基づいて決定されるものであり、単純に学生からの要望のみで動くものではないが、時間割の変更が検討される場合には、こうした学生の希望があったことも考慮したいところである。
(2)	いつもお世話になり、大変感謝しています。学生のことを第一に考えた運営をしてくだされば、ありがたいです。よろしくお願いいたします。				
(3)	交通機関が止まる様な天気の日でも休講にならないのはなぜなのですか？電車が計画運休を行うと前日にわかっているにもかかわらず、そのような措置を取らないのは、自宅から通う自宅生にとっては、授業を受けることができないので、大学全体で休講措置をとってほしいです。	学務部教務課		・ 公共交通機関の計画運休の際の授業実施に関しましては、今後検討を行います。ご意見、ありがとうございます。	
(4)	地域からのクレームへの対応についてメールが来るが改善されてる気配がない。わざわざクレームの連絡までしている人がいるのにそれは適当過ぎるのではないのでしょうか。				
(5)	五十嵐キャンパスと旭町キャンパスをつなげてほしい、物理的に				
(6)	1限目の始業時間が早い。	学務部教務課		・ 本学の特色として11時55分から12時45分の50分間をオナース・タイムとして、主に副専攻プログラムの入門科目の実施時間帯として設定しています。各授業前後の移動時間、夜間主コースの授業時間帯等も考慮し、現在の1限開始時間となっていますので、ご理解いただけますよう、よろしくお願いいたします。	
(7)	1限の時間を30分遅くしてほしい	学務部教務課			

	2.【学部・研究科に関わるもの】	担当部局	中・長期 の対応	検討結果	学生支援専門委員会学生生活実態調査専門部会委員によるコメント
(1)	人文学部は一年次に履修できる専門科目が少なく、歯がゆい思いをしています。もう少し履修可能な専門的講義を増やすことを強く要望します。	人文学部		・人文学部では、各専門分野に分かれるのは二年次からとしていることから、1年次に履修できる専門科目が少なくなっています。1年次学生においては、入門系講義を通して、人文学の幅広い専門分野について広く学ばせることを重視しております。 - 履修やカリキュラムに関して不明な点や相談したいことがある場合は、学務係又は学務委員に気軽にご連絡下さい。	【コメント】 ・学部・研究科では大学での授業や生活に関して、これまでもガイダンスやオリエンテーションを行ってきたが、学生のニーズは多様化しており、より幅広く詳細な説明が必要とされている。特に、各学部のカリキュラムが含意する目的意識を明示化し、人材育成の方向性を具体的に説明し、理解を求める必要がある。
(2)	創生学部の独自の留学プログラムを検討してほしい	創生学部		・創生学部では、交換留学の制度はありませんが、創生学部開設科目の「地域・国際交流B」において、中国の大学（北京師範大学珠海校外国語学部・教育学部）へ訪問し、交流活動を行うプログラムを実施しています。	
(3)	教育学部のカリキュラムが不満である。ゼロ免課程の廃止により、全員が教員免許取得のための単位を取らなければならなくなった。大学は社会に出るまでにやりたいことを見つけた場所だと私は考える。在学中に教員志望ではなくなることはよくあることだと思う。それなのに教員免許取得の単位を取らなければ卒業できないので、他にやりたいことがあっても集中できないというような事態が発生するのではないかと考えられる。また、大学側は卒業生がどのくらい教員になったかを把握しなければならないので指導教員も将来は教員になるように必要以上に勧めてくる。大学はもっと自由であるべきだと思う。本当にやりたいことを見つけてくれるような授業をしてほしい。	教育学部		・教育学部は、教員養成に特化した学部です。そのため、アドミッション・ポリシーにおいて、そのことを明示して入学者選抜を行っています。	
(4)	（工学部工学科機械システム工学プログラム、機械システム工学科）カリキュラムにおいて、CAD、CAM、CAE及び機械工作実習の単位数を増やしてほしい	工学部		・機械システム工学プログラムでは、三次元CAD実習および機械工作実習を行なっています。CAMについては、機械工学実習の中で、マシンニングセンタのプログラミングを行なっています。CAEについては、各研究室での卒業研修の中で卒業研究に必要なものを行なっています。このような授業の体制が組まれており、CAD/CAM/CAEの基本的な操作技術を習得できるように十分な時間をとっていますので、ご理解ください。 - その他履修やカリキュラムに関して不明な点や相談したいことがある場合は、学務係又は学務委員に気軽にご連絡下さい。	
(5)	医学部、歯学部の実生は2年次から旭町キャンパスなのにとらなくてはいけないうGコード科目の単位が多い。Gコード科目で追試がやらない	医学部 歯学部		【医学部医学科】 医学部のGコード科目の単位数については、決して多い単位数とは考えておりません。学習習慣をしっかりとつけて2年生以上の専門科目に臨むために必要な要件と考えております。 【歯学部】 歯学部では決して履修が困難になるような単位数は要件としていません。2年次以上の専門科目に臨む基礎を身につけるほか、歯科医師・歯科衛生士・社会福祉士として求められる基本的な素養・能力を養成することを踏まえて、必要十分な単位数を要件としています。 Gコード科目の追試験・再試験については、「新潟大学における授業科目の追試験及び再試験の実施に関する規程」及び各学部規程等を実施について規定されています。	
(6)	医学科学務と五十嵐の教員の連携が全く取れていない。講義関係の手続きでたらい回しにされた。	医学科学務係		・講義関係の手続きをスムーズにできるように、必要な情報を教員や学生の皆様へ周知するなどして、しっかりと対応できるように努めたいと思います。	
(7)	看護学、保健学それらが横で連携できておらず。無理なスケジュールで大量の課題が出て、睡眠不足が続き、ストレスも酷い。	保健学科学務係		・教授方法につきましては、教員も日ごろから学生の学習意欲を高めるような授業の工夫や研鑽を行っているところですが、今後も学生の皆さんの評価や意見を参考にしながら、充実した授業ができるように教員研修などを継続していきたいと考えております。学生の皆さんも、本学の教育理念にもとづき、主体的に学び、自己開発を目指す優れた医療人となるよう日々、研鑽を積んでいただきたいと願っております。	

	3.【教育・研究に関わるもの】	担当部局			学生支援専門委員会学生生活実態調査専門部会委員によるコメント
(1)	ターム制が正直上手く機能出来ていないように見受けられる。周辺の意見も同様。	学務部教務課	○	・平成29年度から導入したターム制については、短期間で集中的に学ぶことで学修効果が高められること、柔軟な学修計画を立てられる等のメリットがある反面、いただいたご意見のとおり、制度の移行期ということ踏まえても、今後、検討する必要があると感じています。 授業時間割の配置、ターム毎の履修単位数等、ターム制のメリットが活かされるような改善に向け、検討させていただきます。	【コメント】 ・ターム制にせわしなさを感じる意見が見られた。制度の移行期に感じられる違和感ということであろうが、制度を十分に機能させるために整備すべき点もあることを反映していよう。各学部の実態に即した調整が必要である。 ・最近のカリキュラム改訂で開講された初年次の導入教育科目と、既存のGコード科目および専門科目とのバランスが妥当であるか、各学部で検証する必要があると感じられる。 ・Gコード科目の履修登録には、よりよい方法がないのか、検討を要する。
(2)	ターム制だとどうしても時間がありません。精神的に追い詰められてしまうので改善してほしいです	学務部教務課			
(3)	ターム制により授業の進みが速いので、復習や理解をする時間のないまま試験期間になってしまうように感じる。	学務部教務課			
(4)	ターム制は以外にも自分にあったのでこのまま継続していただきたい。	学務部教務課			
(5)	ターム制では余裕がなくなるので残念だった	学務部教務課			
(6)	2学期制からターム制導入によって、授業が圧縮され、授業の課題にかけられる時間の減少ないし課題による多忙化など、学習の効率が落ちているように思われる。ターム制導入以前は講義で扱う論点の枝葉まで触れられていたのに対し、近年では根幹部分を取り扱うに留まっている傾向がある。このことは、特に2コマ連続になった授業に顕著に表れているように思う。教員の方にも授業進行に困惑している様子があった。そもそも、「ターム制導入」に関するパンフレットにおいて、メリットがやや強引気味に列挙されているのに対し、デメリットに関する記載が全くされていないのは客観性に欠けていると感じざるを得ない。ターム制に転換してからの負の側面に関して精査し、今一度見直しをするべきだと考える。	学務部教務課			
(7)	昨年のカリキュラムよりも専門科目が始まるのが約半年遅いため、将来が不安でしょうがない。早い段階から専門教科を行った方がいい。（スタディ・スキルズやリーガルシステムを1タームの内に終わらせた方がいい。）	学務部教務課		・専門科目の履修については、在学中に無理なく修得可能なカリキュラムとなっていますので、ターム制も有効に活用し、計画的に履修を行ってください。	
(8)	学務情報システムのアンケートについて、授業のものでも、この学生調査でも必須の所は全て回答しないと確定保存も、一時保存もできない設定になっている。先日、システムの不具合により、全て回答したにも関わらず、未回答のものがありますと出てきて、さらに保存もできず、改めて回答しなおすことになった。こういったことを防ぐためにも、必須項目を全て回答しなくても一時保存はできるようにしていただきたい。	学務部教務課		・必須項目が未回答であっても一時保存は可能となっています。使用する端末個々の問題の可能性もありますので、そのような事象が発生しましたら教務課に連絡をお願いします。	
(9)	文系の博士後期課程の人にとって、四年目から全額授業料の負担は、どう考えても不正常であること。全世界でも、文系の博士後期では三年修了する人はほとんどいません。その上、四年目の大切な時期に、重い負担（全額授業料）をかけるのは、非常に理不尽だと思います。文系博士後期課程の学生の生・死に関わる問題ですので、重視して頂きたいです。	学務部学生支援課		・授業料免除等審査専門部会で、最短修業年限を超えて在学している者の授業料免除について、検討した結果、最短修業年限を超えた理由が、客観的に判断出来ないこと、及び、授業料免除は、限られた予算で行っており学力基準を満たしている者に対して十分な支援が行えていない状況にあることから、最短修業年限を超えて在学している者への授業料免除は、出来ないという判断にいたしました。何卒、ご理解をいただけますようよろしくお願いいたします。	
(10)	補講日にテストをするという禁止にしてほしい。あらかじめインターンや旅行を組んでいる場合、困る。補講の場合、講義に参加しても参加しなくてもどちらでもいいという点があるが、テストの場合、絶対に参加しなくてはならない。教員の体調不良で2度も補講日にテストを実施された。これは禁止してほしい。	学務部教務課		・補講日は、自然災害等で休講となった場合や担当教員の体調不良等で授業が行われなかった場合の授業日（テスト日）として設定されています。補講日の位置づけをご理解いただき、授業終了直後等の補講日は、補講、テスト等が実施される可能性がありますので、旅行の計画等を立てる場合は、ご配慮ください。	

(11)	Gコード科目の抽選の倍率が高すぎます。抽選で決まる7講中5講落ちました。学費をちゃんと払っているのに、学校の授業があまりにも落とされて、不満です。対策があるのではないのでしょうか。どの講義も倍率が高いです。ランダムに取れるものを入れてみても落ちました。	学務部教務課		・教養教育に関する授業科目で大勢の聴講不許可者が出る問題については、これまでも継続的に検討を進めていますが、解決策を見出すのが難しい状況になっています。現在、授業科目に対するクラス指定制や不許可科目の多い人への救済措置、学務情報システムを利用した申請単位数の制限など、さまざまな側面から、対応策について総合的な検討を進めていますので、ご理解ください。
(12)	履修追加登録期間(早い者勝ち)の際に落ちるのは本当にやめて欲しい。学生はただでさえ抽選落ちて困っているのだからそこで生徒に負担をかけるのは酷だと思う。	学務部教務課		
(13)	基礎ゼミを金5以外にしてほしい	学務部教務課	○	・創生学部では、学生は2年次になると6学部が提供する領域学修科目パッケージの中から、自分の関心や課題に合わせて専門領域を一つ選択します。そのため、2年次以降は選択した専門領域によって時間割が異なりますが、創生学部必修科目と専門領域の科目の開講曜限を極力重ならないよう検討した結果、基礎ゼミを金曜5限開講としたものです。現状では他の科目の開講曜限の関係で、変更は難しいのですが、今後、カリキュラム変更を行う場合などに、可能な範囲で開講曜限についても検討を行いたいと考えています。
(14)	大学院生への奨学金支援、経済的支援が極めて少ないという現状に意識していただきたい。	学務部学生支援課		・令和元年度から博士課程奨学金を創設し、支援を行っています。また、大学院生に対する支援については、更に拡充できるよう引き続き給付を行っていきます。
(15)	授業評価アンケートがWebで出来るようになったので助かる。	学務部教務課		・今後も、学生サービスの向上に努めてまいります。
(16)	学部の履修のシステムが一部杜撰すぎて単位取得が辛い	学務部教務課		・いただいたご意見だけでは、具体的にどのような所が杜撰なのか不明ですが、時間割、カリキュラム等、学生のみなさまが履修しやすい環境作りに努めてまいります。

	4.【事務職員の対応に関わるもの】	担当部局	中・長期的対応	検討結果	学生支援専門委員会学生生活実態調査専門部会委員によるコメント
(1)	農学部 of 学務係の人に、自分の成績の順位を聞いても、答えてもらえなかった。工学部の学務係の人は、自分の成績の順位を教えてくれるのに、不公平だと感じた。	自然科学系事務部		・成績順位の取扱いは、学科、プログラムで異なるため学務係では個々に教えておりません。今後はこのことをガイダンス等で周知します。	【コメント】 ・前回の調査でも事務の窓口対応については同様の不満が見られた。教員を含め学生への対面対応については格段の配慮が求められる時代ゆえ、SDなどを通じてより意識を高める必要があると思われる。
(2)	教養棟の事務の対応が、相手が学生であると理由で、表情が怖く、資料が不十分であったときの対応が不親切であると感じた。教養棟の事務の方全員ではないが、教養棟の事務の一部の方がそうだと思います。	学務部学生支援課、教務課		・今後、改善に努めてまいります。ご指摘ありがとうございました。	
(3)	学務の人の対応が他学部比べてもとても悪い。教育学部だけ、性格の悪い人が回されているのではと疑うほど。同じ学費を払っているのに、これだけ学務の人の対応が悪いとやるせない。せめて人を変えてほしい。	人文社会科学系事務部			
(4)	教育学部学務係の対応が冷たい	人文社会科学系事務部			
(5)	教育学部教務課の窓口対応に、不快感を覚える。	人文社会科学系事務部			
(6)	保健学科の学務係は以前からずっと対応が悪いです。五十嵐地区の担当の方にお電話で「保健学科学務係でも対応できます」と教えていただいても保健学科学務係の対応は悪くならいまわしにしようとされました。奨学金に関する知識も少なすぎると感じます。	医歯学系事務部		・いただいたご意見だけでは具体的な照会内容が不明ですが、おそらく奨学金または授業料免除の手続きに係るご意見ではないかと思われます。 奨学金、授業料免除等に係る具体的な各種手続きは五十嵐地区（学生支援課）で行っており、部局（保健学科）の学務係は書類の受け渡しのみを行い、業務の分担を図っています。 対応した職員が、学生支援課の業務なのか部局の業務なのか、説明が足りなかったものと思われます。 学生から照会のあった内容について、どちらで回答すべき案件なのか判断し、丁寧に対応することに努めてまいります。	

	5.【施設の整備、利用に関わるもの】	担当部局	中・長期 の対応	検討結果	学生支援専門委員会学生生活実態調査専門部会委員によるコメント
(1)	施設アンケート、苦情等を取りまとめ現在大学として認識している問題点、改善活動などを含め情報公開し全大学関係者で情報共有を図るべき。また生の声を取り上げ改善するリアクションのスピードを上げるようにするべき。アラート機能がなく学務情報システムは改善点が多い。また学生が取りたい授業が取れない抽選システムは特に問題であり早期解決をしなければ大学の意味さえもなくなってしまう。学びに来ているのに学べないのを放置してはならない。大学長へ早期改善を要請する。				【コメント】 ・ 実際の使用者としての学生からの意見は、福利厚生や課外活動などの施設整備を考える上で貴重である。学務情報システムなどを使い、施設の修繕や更新についてのものを含め、すみやかに必要な情報を大学側に上げられるようにすることが望ましい。 ・ 同様に、学務情報システムでは、教員からは学生のしている画面がわからないので、もしシステムのインターフェイスを改善する機会があるならば、是非学生からの情報も集めるべきである。
(2)	第1サッカーラグビー場の更衣室、シャワー室が汚く、下水が詰まりやすい。またグラウンドの状態が悪く、表面の凹凸がひどいため満足な練習ができなかったり、けがが多発する原因となっている。	課外活動施設	○	・ 事故等の危険があることから、今後、施設整備事業経費の確保に努めてまいります。また、サッカー・ラグビー場は、災害時の新潟市避難場所に指定されていることから、優先的に対応します。	
(3)	陸上競技場に照明が無く、特に冬は夕方になると暗くて何も見えず、実際に怪我人が出ており危険だから	課外活動施設	○	・ 事故等の危険があることから、今後、施設整備事業経費の確保に努めてまいります。また、陸上競技場は、災害時の新潟市避難場所に指定されていることから、優先的に対応します。	
(4)	運動場にナイターが無かったり、地面がデコボコだったり整備されてないから	課外活動施設	○	・ 事故等の危険があることから、今後、施設整備事業経費の確保に努めてまいります。	
(5)	フットサルゴールのネットが破れているから。	課外活動施設		・ 平成30年度中に新品を購入済です。	
(6)	トレーニング室の器具に錆がこびりついているので、定期的に手入れをしていただきたい。また、空いているスペースに、トレーニング器具の種類を増やしてもらえるとありがたい。	課外活動施設		・ 今後、業者による定期的なメンテナンスを行うことを検討します。また、トレーニング機器の増設については、引き続き、学内事業計画に要望を行います。	
(7)	第一食堂前の規制があったり、サークルで使える施設がほかのサークル等に比べるとほとんどない。いつも外で練習しているが、冬は寒くて辛すぎるので何とかしてほしいです。大学会館等の施設をもう少し遅くまで開放していただくとありがたいなと思います。	課外活動施設		・ サークルが使用できる施設は以下のとおりです。 https://www.niigata-u.ac.jp/campus/activity/facility/ 使用希望の多い施設は、空いていないことも多くなりますが、時間帯を変えたり、別の施設の状況を確認すると空いている場合もあります。サークル活動でお困りのことがありましたら、学生支援課学生係へご相談下さい。	
(8)	教育学部棟が冬季寒い。冷暖房設備がない教室もあり、学業に支障をきたす。D棟の電波が悪い。教育学部学務係の対応が冷たい。講義を受ける人数に対して教室が狭かったり、広すぎたりする。	教育学部		・ 教育学部では、全ての講義室に冷暖房設備が設置されています。なお、F棟・G棟・H棟は、現在、冷暖房設備の設置の要望を行っています。D棟にはWiFi設備がありますが、アクセス数や接続する場所等により電波がつながりにくい状態が発生する場合があります。	
(9)	教育G棟の空調設備が悪い	教育学部	○	・ 教育学部G棟で冷暖房設備の設置要望のある部屋については、現在、冷暖房設備の設置の要望を行っています。	
(10)	私は、合唱団に所属していて、活動時に音楽練習棟を使用しているが、人数が多いため大変狭い、更に設備が古い。エアコンがついているが、フィルターの汚れがひどく、汚いため、交換をしていただきたい。吹奏楽部や音楽クラブなどの多団体荷物をそのままにしていることも問題だ。合唱団に別の場所を提供してもらうことはできないのか？	課外活動施設	○	・ エアコンについては、平成30年度中に新品の物に交換済です。 ・ 荷物の管理については、張り紙により注意喚起を行います。 ・ 合唱団の別練習場所の確保については、音の問題もあり、課題を整理し、検討いたします。	
(11)	私は新潟大学合唱団に所属しています。私たちは通称「音練」とよばれる、教育学部棟方面の奥のほうにある施設を使用していますが、環境が劣悪すぎます。我々は約70名で活動していますが、活動人数に対する施設の広さがあっていません。自慢のようになってしましますが、我々の団は全国大会にも出場するなど、結果を残しているつもりです。他の大学合唱団では、ホールが使えるなど、うらやましい環境で活動できています。どうか我々にもよりよい環境で活動をさせていただきたいと思います。	課外活動施設	○	・ サークル活動施設の整備を進めるために、予算確保に努めます。	

(12)	音楽棟の練習室のピアノの調律が悪いし、温湿度管理がされてないし、防音じゃないので、なんとかしてほしい。	課外活動施設	○	・調律については、年2回行っております。また、湿度管理については、湿度計を設置し管理を行います。防音対策については、防音のための整備を進めるためにも予算確保に努めます。
(13)	音楽練習室の設備を改善していただきたいです。	課外活動施設		・具体的にどのような設備改善を要求されているのか、分かりかねますが、音楽練習室のほか、サークル活動施設の整備を進めるために、予算確保に努めます。
(14)	音楽練習棟が狭く、空調も良くない	課外活動施設	○	・音楽練習棟の狭さについては、例えば、楽器類の収納倉庫を別に設置することで解決を図ることができるかと思います。収納倉庫を設置するための予算確保に努めます。なお、空調については、(10)の回答と同じです。
(15)	人文社会科学系棟のE160でマイクの調子が悪くなりやすい。改善した方がよいと思う。あと、空気の入替えをしてほしい。	人文社会科学系事務部		・マイクについて、点検及び調整を行いました。また、換気空清機を設置し、換気を行っています。
(16)	人文科学系棟のE160やEO20、EO19の空気が悪い。また、人社棟が全体に暗く感じる。	人文社会科学系事務部		・換気空清機を設置し、換気を行っています。また、省エネ対策として人感センサー照明としています。
(17)	法学部にも個人のロッカーを設置してほしい	法学部	○	・設置スペースと予算の都合上、現状対応は難しいですが、引き続き検討いたします。
(18)	理学部 A 棟にある縦長の講義室は、板書が非常に見づらいので改善していただきたいと思います。	理学部		・この部屋については、受講者数が収容可能な人数の3分の2以下になるように、授業の時間割を組むことを検討します。
(19)	理学部棟のエレベーターは遅すぎる。	理学部		・エレベーターは平均的な速度になっています。エレベーターシャフトの構造上、これ以上の速度改修は困難です。
(20)	理学部棟の正面玄関もカードキーで入れるようにしてほしい。	理学部		・カードリーダーは建物の配置に合わせて適切な場所に設置しています。カードリーダーの交換時期に正面玄関の設置について検討します。
(21)	理学部棟の駐輪場側の入り口周辺の木や草が薄気味悪い。	理学部		・定期的に木や草の伐採と除草をしています。定期的エリア以外の伐採エリアの拡大についても検討します。
(22)	理学部棟のリフレッシュルームの熱湯に小さな黒い粒が混じっていることがあるが飲んで問題ないのか。	理学部		・小さな黒い粒は水栓の老朽化でしたので、水栓を取替えて、黒い粒が混ざらないようにしました。
(23)	埃が多く、狭い教室がある。総合教育研究棟A棟など。教育学部のほぼすべての教室では、机がガタガタで講義に集中できない。高校以下の机椅子のレベル。	教育学部		・講義室の掃除は、週2回(月・木)実施しています。また、講義室の机は、修理が必要なものは順次、修理又は交換を実施しています。
(24)	学部ではないが、総合教育研究棟の、座面がバネで跳ね上がる椅子は、出欠用紙をまわす際や筆記用具を落としたときなど、座面があると勘違いして座ろうとし、背中や尾てい骨を打って痛める人が多く、危険である。	学務部教務課		・総合教育研究棟の跳ね上げ式の講義室はE260講義室が該当しますが、講義室の形態等、移動する際の利便性から跳ね上げ式となっております。収容人員等の兼ね合いもありますので、ご理解いただき、座る際は、良く注意してから着席くださるよう、よろしくお願いします。
(25)	五十嵐キャンパスの第3体育館にもトイレを設備して欲しい	学務部学生支援課		・ご指摘のとおり第3体育館にトイレはありませんが、建物の構造上、トイレの設置は難しい状況です。第3体育館使用時のトイレは、建物が繋がっている第2体育館のトイレをご利用下さい。

(26)	旭町図書館は夏は暑く、冬は寒いため、長時間の自習が困難です。	学術情報部学術情報サービス課	○	・大学の節電方針に従って空調管理を行っておりますが、空調設備の老朽化のため、冷房暖房の効きが悪くなっているエリアがあります。館内各エリアの空調の効き具合について、マップの掲示を行っておりますのでご参照ください。また、全館の修繕が必要なため、図書館の改修を要求しています。
(27)	旭町の図書館は2回の会話OKのスペースが閲覧室に近いため声が響きやすい。	学術情報部学術情報サービス課	○	・館内が狭いため、現状では場所を変更することはできません。2階奥の閲覧室や3階閲覧室、マルチメディアホールの後半部分が比較的静かなエリアとなっておりますので、そちらをご利用くださるよう、ご協力をお願いします。 静かな個人学習スペースとグループ学習のためのスペースを適切に配置できるよう、図書館の改修を要求しています。
(28)	旭町の図書館が五十嵐キャンパスのような施設なら行きたいが、行く気持ちが湧かない。青陵大学の図書館へ行っている。	学術情報部学術情報サービス課	○	・ラーニング・コモンズなど機能強化を盛り込んだ図書館の改修を要求しています。
(29)	旭町図書館も五十嵐図書館のように良い設備に整えてほしい	学術情報部学術情報サービス課	○	
(30)	旭町の図書館も新しく建て直していただきたい。	学術情報部学術情報サービス課	○	
(31)	旭町図書館の空調が効きにくい	学術情報部学術情報サービス課	○	・大学の節電方針に従って空調管理を行っておりますが、空調設備の老朽化のため、冷房暖房の効きが悪くなっているエリアがあります。館内各エリアの空調の効き具合について、マップの掲示を行っておりますのでご参照ください。また、全館の修繕が必要なため、図書館の改修を要求しています。
(32)	医歯学図書館の設備(特に空調)を充実させてほしい	学術情報部学術情報サービス課	○	
(33)	一階の窓際にある自習席の電気を昼間でもつけてほしい。節電しているのはわかるが、天気が悪い日は昼間でも薄暗く、目に悪いと感じる。わがままな意見かもしれないが、検討していただきたい。	学術情報部学術情報サービス課		・図書館は大学の節電方針に従って、一部窓際の座席等を節電エリアに設定していますが、A棟1階など窓側の閲覧座席について、試験期間中は節電エリアから解除し、点灯するよう見直しています。館内には、照明のついた明るい座席も多数ありますので、状況に応じて適した座席での利用についてご協力をお願いします。
(34)	旭町キャンパスの自習室が狭い	学術情報部学術情報サービス課	○	・館内が狭いため、現状では部屋を拡充することは難しいです。改善のため、図書館の改修を要求しています。
(35)	全体的に新潟大の図書館はすばらしいと思うのですが、欲を言うとロッカーがほしいです。また、B棟2・3階の消しカス入れ(ミニほうき、ちりとりセット)の数が少ないので増やしてほしいです。	学術情報部学術情報サービス課		・館内にロッカーを置く十分なスペースがないため、設置は難しいです。 消しカス入れについては、館内に設置されているものに加え、使用時に座席に持ち運びできる消しカス入れを用意します。
(36)	旭町体育館(医短)のトイレを新しくしてほしい	学務部学生支援課	○	・現在、和式トイレであり、使用に際してご不便をおかけしているかと思います。トイレの改修を要求していきます。

(37)	医歯学部旭町キャンパスの第二体育館は新しく、設備も申し分ないのだが、ごみがたまりすぎている。部活で掃除はもちろんしているが、ごみ箱、ほうき、ちりとり、モップ、の供給くらいはしてほしい。特にごみ箱がないのは意味がわからない。ごみを捨てるシステムも確立してほしいし、掃除用具はあるにはあるが、どれもほこりだらけごみだらけで、使いたくない。新調するべき。	学務部学生支援課		・ゴミ箱については、体育館入口に設置済です。 ・掃除用具については、新調します。
(38)	ドアが大きな音をたてて閉まるときがあるので、学生に注意喚起や定期的なメンテナンスをおこなってほしい。	施設管理部施設管理課		・対象室が不明ですが、そのような場合は管理部局にご連絡いただくことにより、施設管理課もしくは故障対応の外注業者で対処いたします。
(39)	節電はわかるが、せめてテスト期間など利用者が多い時には全箇所照明の点灯、冷暖房をつけてほしい。	施設管理部施設管理課		・省エネについて日頃よりご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。無理のない範囲での節電にご協力をお願いしているところですが、必要に応じて管理部局をお願いいただければと思います。
(40)	教室内の学内Wi-Fiを強くしてほしい。課題に取り組み辛い。	情報基盤センター		・本学の多くの教室には、無線LANルータを設備しておらず、廊下の無線LANから電波が届く範囲で利用いただいています。同様のご要望があることは承知しており、総合教育研究棟では無線通信環境改善のため、教室内にアンテナを増設することを計画しています。
(41)	工学部棟102CP室のPCが講義によっては全員分なくて困っているので以前あった数まで増やしてほしい。そもそも102CP室の席と席の間隔が狭く、息苦しくなる。	工学部		・PCの台数については、システム更新時に予算的に台数の維持が厳しかったため、台数を減らしました。次回更新時に向けて台数の増加を検討します。102CP室の席と席の間隔が狭いとのことでご心労をお掛けし申し訳ありません。今後、座席数と配置について検討します。
(42)	西門から工学部棟への道が非常に暗いので切実に街灯を増やしてほしい。	施設管理部施設管理課		・樹木により灯りが遮られている外灯が見受けられたため、8月上旬に剪定作業を実施し、解消したのと思われますが、それでも暗いと感じられる場合は、施設管理課までご連絡ください。
(43)	北門周辺に外灯があると良いと思う。	施設管理部施設管理課		・北門から構内に入ったところに、11月末までに外灯を1基追加します。
(44)	中門のところの「自転車通行可」とかかれた柵は自転車を通る際に邪魔だから1つははずしてほしい。	施設管理部施設管理課		・道路柵についてはバイクの進入防止の目的もあります。要望に添って柵を外した場合、バイクの乗り入れなどが考えられますので、バイクの侵入防止及び自転車通行の利便性を勘案の上、配置の見直しについて検討します。
(45)	五十嵐キャンパス中門から総合教育研究棟F棟付近に通じる自動車進入禁止の道がありますが、中門側から入ってもF棟付近の駐輪場を利用しやすいように、途中にある黄色い柵を自転車が通りやすいように3本あるうちの1本を撤去するといった対応を希望します。中門から人文棟の方向へ向かう道も同様です。自転車を通すには少々不便に感じます。	施設管理部施設管理課		
(46)	一部構内の道路標識が機能してないくらいに汚い。補修したらどうかと思う。	施設管理部施設管理課		・構内道路を確認しました。汚れや経年による退色や一部認識しづらい標識もあるため、順次、清掃または更新をしていきます。

	6.【福利・厚生に関するもの】	担当部局	中・長期 の対応	検討結果	学生支援専門委員会学生生活実態調査専門部会委員によるコメント
(1)	学食が高い	学生食堂		・メニューの価格についてですが、大学生協は安さだけではなく、「安心安全な食材の使用」を心がけております。安心して食事をとれるよう材料から製造工程までの検査基準を設け、北海道・東北・関東・東海まで統一のメニュー・食材を使用することで、現在の価格と品質での提供をしております。	【コメント】 ・学生生活における食堂の重要性がわかる意見が多かった。直接食堂に伝えたら改善できそうなものもあるが、大学としても福利・厚生に欠かせぬ存在として食堂のあり方には注意を払っていきたい。
(2)	食堂のメニューの値段が高い	学生食堂		食材価格の高騰や最低賃金の上昇による人件費増など、食を取り巻く環境は非常に厳しい状況ではありますが、組合員の皆様が満足していただけるような価格・味・品質で食事の提供ができるよう、これからも精進してまいります。	
(3)	食堂の料理が美味しくない、高い。	学生食堂			
(4)	旭町キャンパスにも食堂が欲しい	学生食堂		・池原・旭町への食堂出店ですが、旭町キャンパスには、現在学生食堂施設がないため、新たに新店となると多額の費用が発生することが見込まれます。そのため、現状では生協単独での出店は難しいと考えております。	
(5)	池原会館を学食にしてほしい	学生食堂			
(6)	寮生としては土日の昼頃に第三食堂が開いてれば助かるな、と思ったことがあります。	学生食堂	○	・第三食堂土日営業ですが、現状の第二学生食堂の利用状況を考慮すると難しいかと思います。一定数ご利用が見込め、採算が見込める用であれば今後検討したいと思います。	
(7)	食堂の営業時間を20時以降に延ばしてほしい。また夜の営業は第2食堂だけではなく他の残りの2食堂も営業してもらえると立地的な不平等がなくどの学部 の学生のニーズにも応えられると思う。	学生食堂	○	・第二食堂のみ20時まで営業しておりますが、この間のご利用状況を考慮した営業時間となっております。営業時間延長のご要望が多くあり、ご利用がある程度見込めるようでしたら実験的に営業時間延長も検討したいと思います。第一・第三食堂の夜営業についてですが、現状の第二食堂の夜の利用状況を考慮すると難しいかと思います。第二食堂で対応しきれない程ご利用があるようでしたら、今後検討したいと思います。	
(8)	第二食堂の機械音がうるさすぎる	学生食堂		・空調機械の不調によりご迷惑をおかけいたしました。現在修理が完了し、異音はしておりません。	
(9)	教育学部棟内に飲み物の自販機が欲しい。	教育学部		・自動販売機(飲料)はD棟1階の学生集会室に3台設置されていますので、このことを学生の皆さんに周知します。	

	7.【その他】	担当部局	中・長期的対応	検討結果	学生支援専門委員会学生生活実態調査専門部会委員によるコメント
(1)	1つ目、喫煙について。校内は全面禁煙であるが、音楽練習棟の前で音楽クラブの学生が喫煙している。私たちは練習の後に煙にさらされているので、禁煙を徹底していただきたい。特に音楽クラブの活動がある日は、音楽練習棟で指導を行っていただきたい。	学務部学生支援課		・喫煙・受動喫煙の健康障害、喫煙マナーについての教育啓発活動を行っていきます。	【コメント】 この調査の目的は、「本学学生の勉学・研究、日常生活上の意識及び生活実態を把握することにより、本学学生に対する福利厚生、修学援助、授業・研究環境、課外活動等の施策立案及び改善を行うための基礎資料を得ること」である。したがって、この調査結果が有効に活用され、教職員の資質向上、施設設備の充実、学生マナーの向上などが達成されてはじめて、この調査は意味をもつことになる。学生からの意見を真摯に受けとめ、経費やマンパワーなどさまざまな制約はあるが、学生、教職員にとって少しでも居心地 のよい新潟大学になるよう、できる限りの努力が求められる。 最後に、本調査の実施にご協力いただいた学生諸君に感謝いたします。
(2)	駐車場の有料化には反対である。学生の無断駐車が問題となっているのは重々承知だが、学生の実態としてはそれにより成り立っているサークルや活動等が存在することも否めない。有料化によりココカラファイン等近隣の駐車場にしわ寄せが行き苦情が増えるのではないだろうか。職員に対して也有料化することも疑問である。有料化は避けられないにせよ、大学の都合だけでなく実態も鑑みた上でより良い解決策はないだろうか。	施設管理部施設管理課		・有料化及び入構方法等については教職員向けの説明会及び学生向けの説明会を開催し、大学の諸事情を丁寧に説明した上で、寄せられた意見等を踏まえ決定されたものです。学生支援課により駐車許可された学生については無料駐車カードが配布されており駐車に関して問題ないと思われる。また、構内における違法駐車も少なくなりました。周辺施設への無断駐車については、近隣からの苦情が発生した場合、教職員・学生に、大学のHP等で注意喚起していきます。	
(3)	大学構内で常軌を逸したスピードで走る車をよく見かけ、非常に危険である(教職員・学生問わず)。	施設管理部施設管理課		・自動車等の制限速度や、必要な標識を設置するなどハード面については構内の安全を確保しています。交通マナーについては教職員・学生に注意喚起の通知をしています。	
(4)	大学構内や周辺の交通マナーが悪すぎる。特に乗用車の無灯火や一旦停止無視、自転車の無灯火、逆走、学生の道路横断時の飛び出し、歩道を横一列で歩く等理解できない行動がみられる。正直品性を疑う。大学周辺を運転するのにためらいが生じる程である。	学務部学生支援課		・学生の交通マナーについては、年度当初及び7月に職員が車道において警察署との連携により指導を行っておりますが、これに加えて、学務情報システム等により注意喚起を行います。	
(5)	コピーできなくする等の前に、トイレのウォッシュレット、手を乾かす機械とか医学科の玄関の内装を変えとかよりも経費削減できるところがあると思った。大学生が魅力を感じて、入りたいと思うような大学になったら良いと思う。同じ学部でもあまり関りが無いのももったいない。	医歯学系事務部		・経費節減につきましては、節減できるところはしっかりと検討して実施していきたいと思います。	
(6)	男女という選択肢しかないのは良くないと思います。新潟大学はLGBTの学生に向けて支援をしっかりとしていくというようなことをこの前の講演会で言っていたので、言っていることとやっていることが違うと思いました。	学務部学生支援課		・LGBTは尊重されるべき個性のひとつですので、今後、対応については検討いたします。	
(7)	人社棟前の自転車置き場に自転車が煩雑におかれているので、改善してほしい。	人文社会科学系事務部		・2年前に駐輪禁止区域にロープを張り、明確化したことにより、以前と比較し改善されていますが、引き続き、改善について検討いたします。	
(8)	関係のない学務メールが多すぎる	学務部教務課		・本学では、学生への通知は、情報を迅速・的確に伝達するため、掲示板への掲示及びメールにより行っています。特に、緊急度・重要度の高いものについては、メールを利用しています。 また、送信する際は、該当学生を限定するなどして、関係のない学生には行かないよう設定しています。 今後、受信するメールで全く関係のないものがありましたら、お手数ですが送信元に申し出てください。 メールの重要度は個人により異なる場合があります。分かりやすいメールのタイトルを付けるよう心がけていますが、面倒でも各自で内容を見て判断してください。	
(9)	他学部のメールがたまに送られてくるが、必要ないと感じる。	学務部教務課			

(10)	学生が無料で印刷できる枚数を復活してほしい。学内パソコンから直接印刷できるように戻してほしい。	学術情報部情報企画課		・情報基盤センターでは、平成29年2月まで教育用パソコンと連携した印刷システムを運用していましたが、印刷枚数の増加、運用コストの上昇により、印刷経費が赤字となっていたため、情報基盤センター運営委員会で慎重に議論を重ね、印刷システムの廃止に至りました。頂いたご意見を真摯に受け止め、教育用システムの更新を行う際（令和4年3月予定）に印刷システムの検討は行いますが、依然として厳しい予算状況は続いているため、導入のお約束はできないことをご理解いただければと思います。 教育用パソコンから直接の印刷はできませんが、大学生協設置の複合機（有料。USBメモリからの印刷も可能）、またはコンビニ各社が提供しているオンデマンドプリントサービス（有料）等をご利用いただければと思います。 利用者の皆さまに相應の負担をお願いすることとなり、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。
(11)	学生証をスマートフォンに入れて欲しい。Suicaみたいに	学務部教務課		・既存の学生証アプリの機能に不十分なところも多く、早急な導入は難しい状況です。引き続き検討を進めてまいります。
(12)	なかなか部活との両立がうまくできず、でも、部活はやめたくない。同じ学科の周りの人たちは、進路に向けて準備を始めているのに、自分はやっていないことで、友達とコミュニケーションが取りにくいと感じている。そのあたりの相談や、配慮をお願いしたい。	学務部学生支援課		・どこに相談に行ったらいいのかわからないといった場合、学務部学生支援課に「学生なんでも相談窓口」がありますので、お気軽に相談して下さい。